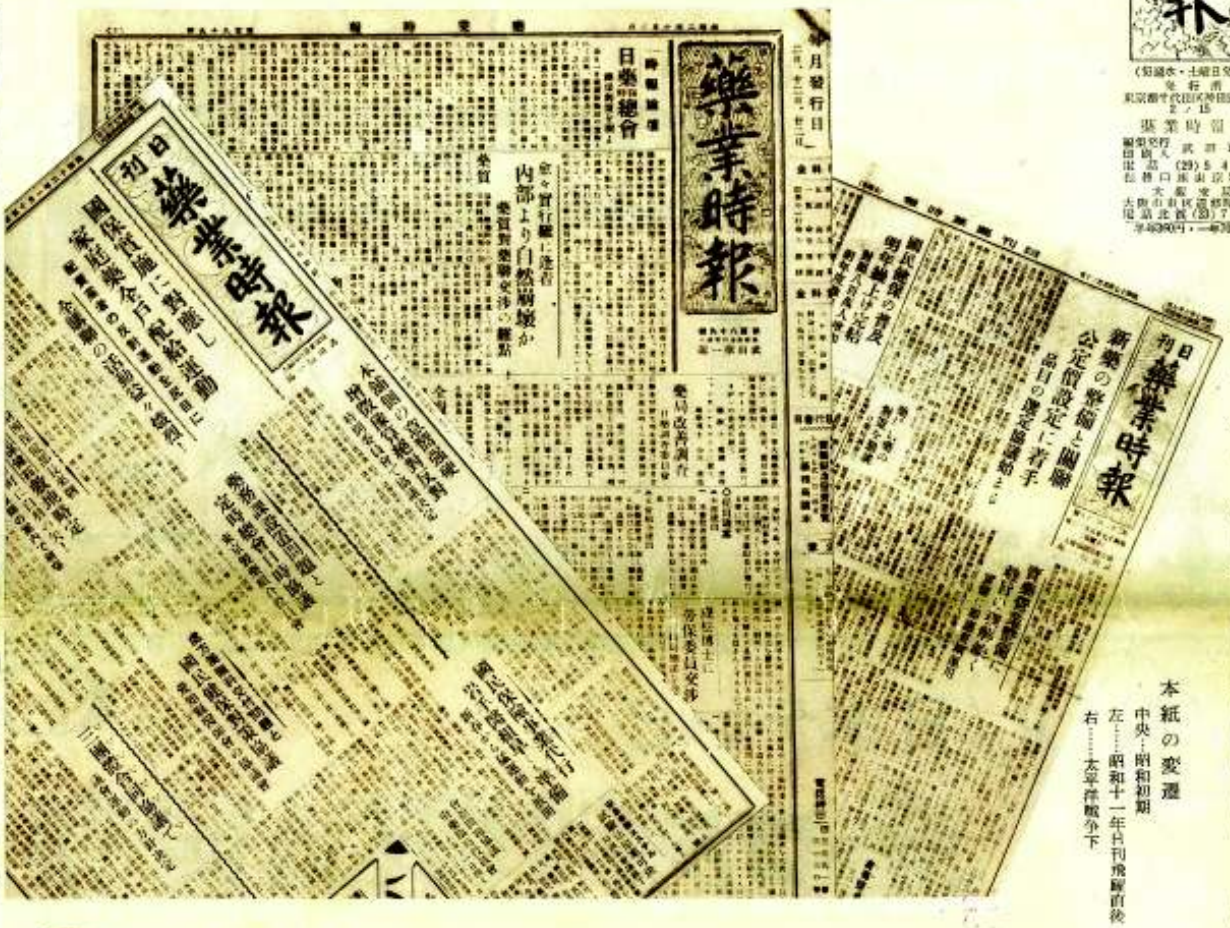
藥業時報
(毎週水・土曜日発行)
発行所
東京都千代田区神田須田町2/15
藥業時報社
編集発行人　武田正三
出版局　(29)5483
振替口座東京5187
大阪支局
大阪市北区堂島3/19
電話北浜(23)7162
年4300円・一部100円

創刊35周年記念号

紙令3600号



本紙の変遷
中央…昭和初期
左…昭和十一年日刊飛躍直後
右…太平洋戦争下

御挨拶

わが"藥業時報"は大正十一年創刊され、本年玆に三十五周年を迎えました。

創刊は旬刊紙として発足いたしましたが、昭和十二年には一挙に日刊に飛躍、その後太平洋戦争下の昭和十八年、新聞統制による統合まで、順調な発展をいたしました。爾後三年間の空白がありましたが、終戦後二十一年十二月、種々困条件を克服して、いち早く週刊紙として復刊、のち週二回発行に成長、今日に至っております。この間関東大震災、太平洋戦争により潰滅的打撃を蒙りながらも、苦難を乗り越え、今日まで三十五年間、三千六百号の紙令を数えることが出来ました。これ偏えに先人の努力と、藥界各位の深厚なる御眷顧の賜ものと衷心より感謝、御礼申上げます。

藥界益々多難の折柄、今後とも報道公器としての、使命の重大さを一層自覚し、挙社一致斯界に貢献いたす所存であります。

玆に三十五周年を記念するため、特集号を刊行いたしましたが、何分再度にわたる災禍により、資料を欠き、不充分のものとなりましたことを、お詫び申上げます。

終りに臨み本特集に対し、江湖各位から御懇切なる御祝辞、玉稿、また貴重なる資料を頂きましたことを、厚く御礼申上げますとともに、今後一層の御愛顧、御鞭撻を賜りますよう、伏して御願いいたします。

昭和三十二年十月十九日

株式会社　藥業時報社
取締役社長　武田正三

精神安静剤は

眠くならない…
習慣性の心配もない

強肝・疲労回復・宿酔に

トランザー錠

グロンサン錠・粉注射液・末剤

（2－エチルクロトニール尿素 150mg 含有）

新製品トランザーは、従来のメプロバメート系の薬物とは全く種類を異にする精神・神経安静剤「2－エチルクロトニール尿素」です。その主な特質は…

★眠くならないこと…鎮静作用のみが強く、催眠作用が殆ど無いので、仕事のんでも眠くなったり、ボンヤリして事故を起すような心配がなく、お仕事の能率もあがります。

★習慣性が無いこと…長期間服用しても、習慣性や耐性が生じませんから、効かなくなって服用量が増大するような恐れもありません。

★苦くないトランザー…苦味がないこともトランザーの特長で、神経質な方にも大へん喜ばれます。また胃腸を害するような副作用がない点でも御安心です。

（15錠￥200、50錠￥600、100錠￥1000
トランザー末：25g 入￥1200）

中外製薬

中外製薬株式会社
東京都中央区日本橋本町3－3

NTV（日本テレビ）に…

Eisai エーザイ

チョコラ劇場を提供

毎週月曜八時半―九時

一〇月七日（月）からNTV（日本テレビ）で
チョコラ劇場　中野実アワー

第一回
「すいれん夫人とバラ娘」

すいれんのように美しいママと
ドライなバラ娘との恋の二重奏
恋あり、捕物あり、素人探偵の大奮斗

出演
朝丘雪路
高杉早苗
佐野周二
宇津井健　他

バラ娘

すいれん夫人

東京都文京区竹早町
エーザイ株式會社
大阪・札幌・名古屋・福岡

増血ビタミン剤
チョコラB鉄
錠　100錠（約1週間分）500円
　　200錠（約1ヶ月分）800円
　　1000錠……2000円
液　100cc（幼小児用）450円

若肌をつくるビタミンクリーム
チョコラ・ザーネ
30瓦……200円
10瓦……100円

尿に御好評頂いておりますチョコラB鉄は、ことに最近思春期女性、妊婦、病臥中の方、御老人の増血ビタミンとして他の綜合剤にみられぬ独自の効果を発揮して汎用され、御勉売を願って参りました。

またチョコラザーネは、あれ肌、ヒビ、アカギレのビタミンクリームとして、これから冬を迎えます〳〵需要の多い時期に入りました。このたび左記の如く、特に御婦人層に向けてテレビ宣伝を開始し、一層の需要を喚起し御勉売に役立たせたくこゝに発表申上げる次第です。

創刊35周年を祝して

活かせ 伝統の所産

厚生省薬務局長　森本 潔

薬業時報創刊三十五周年に際しまして、一言お祝いの言葉を申し上げます。

貴紙が大正十一年に創刊されて以来、今相をもうすこしで三十五年の歳月が流れたのでありますが、この期間は、わが国にとりまして、誠に変転の激しい時代であり、ことに戦時中並びに戦後の未曾有の事態に処し、貴社の経験された苦難は筆舌に尽し難いものがあったことと思われます。しかしながら、これらのあらゆる試錬を乗り越え、戦後いち早く復刊してその偉在を示し、今日まで薬業界に貢献された功績は、深く賞讃されべきものであり、ここに深甚な敬意を表する次第であります。

今日の社会において、報道機関の果す役割が極めて重要なものでありますことは、今更申すまでもありませんが、業界の健全な活動も、行政の円滑な運営も、ともに報道機関の活躍にさつとこころが大きいのでありますことに戦後科学の驚異的な進歩によって、新しい研究、発明の発表が相次いで行われ、さらに経済の高度成長により企業が飛躍的な発展を示し、それに伴い行政面でも複雑多岐に亘っている今日、これらを迅速かつ適確に伝える報道機関の使命と責任は愈々大となりつつあります。

薬業時報も今日の薬業界にとりまして、重要な公器として日頃その機能を十分に発揮されているのでありますが、貴紙の今日の御活躍は、過去三十五年の古い伝統と永い経験の所産であり、その結果、関係者各位の並々ならぬ御尽力があったものと存ずるのであります。

戦後十年余を経過し、貴紙もいよ／＼壮年期に達した今日、この記念すべき機会に過去を省みてその発達の跡をたどり、さらにその将来に思いをいたされますことは、まことに意義深いことと存じます。

今後貴紙が一層の御発展をとげられるとともに報道公器としての使命と責務を十分に果され、もって薬業界はもとより汎く関係業界に多大の貢献をされるよう心から期待いたします。

常に重責を念頭に

東京都事務局長　山崎 友久

薬業時報社が三十五週年を迎え、更に紙今も三千六百号を数えられ、益々健全な発展を遂げられておられますことは、誠に慶びにたえません。と同時に、平常貴社職員一同の協力一致の活動と、武田社長の適切な指導に負うところのものと、謹んで祝意と敬意を表します。

新聞が社会人心に及ぼす指導的な働きは、すこぶる重大であることは申すまでもないことであります。特に信用ある新聞の記事は、社会に変革を与えたる程その影響するところが大きいものであります。

前年における「ベニシリン」ショックの到来を、新聞がキッカケとして取上げたゝめに、過大に人心を恐怖におとし入れ、業界に大打撃をあたえ、一時はペニシリンの生産も停止の状態を呈しましたが、ベニシリン生産業者は健実な業者であったので、相互のうきめを見ずに済んだのであります。

楽しんで読める新聞たれ

東京都議会委員長　緒方 章

三十五年といえば宇宙の悠久からすれば短い時間ではあっても、我々の人生では決して短い年月とはいえない。

大正十一年薬業時報の発刊から今日までの三十五年間には、「薬人の生活」も、すべての事業も、戦争遂行計画の下に、全く犠牲にされた時代があったのであります。

薬業時報の創刊者武田信一郎君がその間にあって、経済統制の犠牲者の一人となり、熱湯を飲む思いをされたことは、当時の薬事委公会の一員であった私の記憶に今もまざまざと残っている。しかし継承者が戦後の困難な時代に創立者の遺業を復興され、立派にここに創業三十五周年記念号を発行されることは慶賀の至りであり、創立者の霊に対しても深甚を捧げざるを得ない。

日本語と国字との連関は、考えれば考えるほどむつかしくなる。そこへ科学の設定などがあるから、読みよき新聞の編集は多業を誇とする以上、はなはだむつかしい筈である。特に薬事に関する新聞は興味がせまいので、どの新聞も記事が大同小異になりやすい。独り方もないことではあるとしても、薬業時報が創業三十五年をエポックとして、他に先んじて益々内容を充実し、楽しんで読める新聞となり、業界紙中に一段と光を放つものとなることを念願する。

十五年後に創業五十周年記念特集号が発行される日には、三十五周年記念特集号をみて、「あの時代はこんなものであったのか」と、今日の特集号を見かえすほど進展のあとの大きくなっているであろうことを信じて疑わない。

敬意を表します。

新聞が社会人心に及ぼす指導的な働きは、すこぶる重大であることは申すまでもないことであります。特に信用ある新聞の記事は、社会に変革を与えたる程その影響するところが大きいものであります。

前年における「ベニシリン」ショックの到来を、新聞がキッカケとして取上げたゝめに、過大に人心を恐怖におとし入れ、業界に大打撃をあたえ、一時はペニシリンの生産も停止の状態を呈しましたが、ベニシリン生産業者は健実な業者であったので、相互のうきめを見ずに済んだのであります。

貴社の三十五年の歩みは、丁度東京都における戦災から、また戦災の破壊から建設への一週期の歴史と同様でありまして、其の間の御苦労も従って並大抵のことではなかったと思いますが、其の間において得られた経験と識見とは、偉大なものであったと思うのであります。今や何れの業界も同様でありますが、戦後の一転期を創そうとしていることは、見逃せない事実であります。薬業界のみ一人超然としていることは許されないでありましょう。斯る時期において経験と識見にもとずいて、時と所を誤まらず、厳正に正しい批判と、厳実にして公正な報道こそ業界の啓蒙と発展育成に興味深い結果となるものであると確信するものであります。此の微力社の一段の御努力を御願いいたす次第であります。

業界愈々多端なる時、益々御自重と御発展を祈り御祝の言葉とさせて頂きます。

短転にあって不幸な事態も起らず、平常に復しました。誠に当時を思い起す度に、今もなお冷汗が眼を流る思いがするのであります。また本年初夏に催行した「ケンフル」エンヤには早春の頃において流行していたのでありますが、社会的にも変動面にもあり影響がなかったのであります。しかるに一応新聞に採り上げられると、数時間を出ずしてラジオは明日続け、社会は騒然となり人心は恐怖のどん底に落ふみ、数日ならずして全都休校するといふ始末でありました。業界においても風邪薬が売れつくされ、時期はずれの風邪薬生産に追随をかけたなどゝ思います。私等もリッチン不足で各方面から非難を受けたものであります。以上はたゞ新聞の可否は別として社会人心にあたえる影響が如何に大きいものであるかを述べて見たのであります。

貴社の三十五年の歩み、丁度東京都における戦災から、また戦災の破壊から建設への一週期の歴史と同様でありまして其の間の御苦労も従って並大抵のことではなかったと思いますが、其の間において得られた経験と識見とは、偉大なものであったと思うのであります。今や何れの業界も同様でありますが、戦後の一転期を創そうとしていることは、見逃せない事実であります。薬業界のみ一人超然としていることは許されないでありましょう。斯る時期において経験と識見にもとずいて、時と所を誤まらず、厳正に正しい批判と、厳実にして公正な報道こそ業界の啓蒙と発展育成に興味深い結果となるものであると確信するものであります。此の微力社の一段の御努力を御願いいたす次第であります。

業界愈々多端なる時、益々御自重と御発展を祈り御祝の言葉とさせて頂きます。

クシャミ3回…
ルル3錠！

お蔭様で今年もかぜにはルルが断然好評です！

ルルの合理的で効果的な処法が優れた治療効果を発揮するからでもありますが―クシャミのうちにルルをのむ―と云う風邪の早期治療が皆さまのご協力で徹底したからでもあります。何卒一層ご拡売願います。

強力ルル　25錠（150円）　60錠（300円）
・アレルギン（2mg）・アミノピリン（15mg）・フェナセチン（10mg）・カフェイン（7mg）・dl-塩酸メチルエフェドリン（3mg）・臭酸ヒドロコデイン（1.2mg）・セダロン（20mg）・ビタミンB_1硝酸塩（1mg）・ビタミンB_2（0.5mg）・ビタミンC（7mg）

綜合かぜ薬
強力ルル
独に4種配合ルル（アレルギン・アミノピリン・フェナセチン・カフェイン）20錠（100円）50錠（220円）

咳にブロコデ
ブロチンコデイン
ブロチンに臭酸コデインを配合、咳を止め痰をとる優れた作用があります。
のみよく、お子さま、ご老人にも安心です。
感冒、気管支炎、喘息、結核などの咳に
錠（30入…150円）液（50cc…180円）

SANKYO
東京銀座
三共株式会社

創刊35周年を祝して

絶対の信頼と尊敬

日本製薬団体連合会々長　塩野孝太郎

業界新聞が報道という輝い領域を通じて業界を指導啓蒙される力は実に偉大なものがあり、業界関係者は日常業務活動の指針を業界紙に求めていると云っても過言でないと思います。

薬業時報紙が本年をもつて創立三十五周年を迎えられるということは、わが業界紙として最も古い紙歴を有するということであり、無疑に並ずと共に誠にお喜びに堪えないところであります。

この永い歳月の間には幾多の障害と御苦心が伴つたことは蔭し想像に難くないところでありますが、よくこれを克服今日の輝しい事績を打立てられ編集首脳の絶大な御努力と功績に対しては、心から敬意を表するものであります。

貴紙が今日わが業界において最も優れた新聞の一つとして声望を集めている所以のものは、絶えず適確な報道と新鮮なニュースの提供によつて業界関係者の絶対の信頼と尊敬を獲ち得られている結果に外ならないと想ずるものであります。

現下わが国の医療制度が画期的な変革期に遭遇している秋に際し、報道公器としての貴紙の責務は今後一層重要性が加わることは必定でありますから、その責務の重大さを自覚し社特の本領を発揮されて業界のよい羅針盤としての任務の完遂を希うものであります。

こゝに創刊三十五周年を迎えるゝに当り、およろこびのことばを申上げると共に御来益々御発展されんことを衷心より止まぬ次第であります。

製薬業界勃興と出発を同じうして

東京医薬品工業協会々長　鈴木万平

貴薬業時報紙が創刊されてから、今年を以つて満三十五周年を迎えられ記念の特集号を刊行せられますことは、海に慶賀して、誠に東京医薬品工業協会を代表して、一言お慶びのことばを申述べます。

今から三十五年前と申しますと、わが医薬品業界が第一次世界大戦の影響を受けて、医薬品の国産化が叫ばれ出した頃であります。それまで日本は絶対四欧先進国の輸入に依存していたために、一たび輸入杜絶ということが起ると、日本の治療界は急ち大混乱を来し、医師会からは政府に向つて重要医薬品の廉価供給を要望し、製薬業界は懸命国産化に邁進する一方、関税改革、企業の育成に政府機関の活動を要請するなど国を挙げて所要医薬品の自給自足の必要を痛感したのであります。

かくして逐次製薬企業の基盤が培われ、技術も進んで、サルバルサンを始め、幾多の新薬類が次々と国産化されるに至り国内需要を充たすに足りるのみならず、相当量の海外輸出も進んで来たとき、不幸にも第二次世界大戦に際会して、大転換を来した訳であります。

後十余年間の平穏な復興から増産へ、そして諸種の新しい抗生物質製剤や、優秀な新薬類も国産化するまで進み、統計上では国民の平均寿命が十数年も延びるに至つたことは、誇しい業績と申さねばなりません。

これは医療関係者挙げての研究協力の賜ものでありますが、わが業界の枢軸である報道機関の補翼誘導が、大きな役割を演じていることを忘れてはならないと思います。

そして貴紙は恰度、わが製薬業界興隆と時を同じうして出発され、幾多の受難期を共にされつゝ終始、迅速公正な報道の使命を果して今日を迎えられたことは、頼みて海に欣快であり、御同慶の至りに堪えません。

茲に三十五周年の意義ある記念号を通じて、永年に亘る業界への御貢献に対し、深甚の謝意を表して祝辞といたします。

いよ〳〵発展を祈る

日本ペニシリン協会長　原安三郎

薬業時報紙が今回創刊三十五周年を迎えられたことは、この種の新聞としては快しく容易なことでなく、先ず心から御慶びを申し上げる次第である。

ところで、世の中はこの次代にみたぬ人間の体軀が生かわり死にかわりしている状態、これを健康、愉快に保持しながら、天寿を完うするには医療、薬剤の助けによることが大切である。病薬病薬が日に日に複雑多岐になれば、これに対抗して薬も日進月歩、科学的に進歩しても、非常に高く進歩しているから、表裏一体にある医薬品も負けず劣らず両々相俟つて進むべきである。

ただ最近の医薬品業界は、新薬につ〻薬剤が続出し、そのため製造業者としては設備更新のための短期償却を必要とし且つ多大の宣伝費を要するため、自然諸費は高い薬価を払わざるを得ないわけである。

こうした事情のもとに日本の薬業界は将来に幾多の問題を包蔵しており この業界の木鐸たる「薬業時報」の責任たるや重大であるから、この三十五年の記念日に際して、将来益一層の発会達成を祈うものである。

業界への協力感謝

大阪医薬品協会々長　藤沢友吉

今般薬業時報社が、創刊三十五周年記念特集号を発行せられるに当り、謹んで御祝詞を申上げる機会を得まして誠に光栄に存じます。

戦後我医薬品工業は医学、薬学の長足なる進歩に伴い、画期的な発展を遂げ、よく今日の隆昌を見たことは誠に御同慶に堪えません。それは業界人自身の努力もさることながら、業界の雄であり耳であり、口でもある業界紙の啓発力に負う所極めて大きいと信ずるものであります。

今回この期かしい歴史ある創刊三十五周年の記念に際し、永く業界の発展に協力されたことに対し深謝致します。同時に今後益々御自重あつて更に絶段の御協力御援助賜わるよう切望して祝辞と致します。

成人病は誰彼なしに襲ってくる

大切な健康管理には、ユーボンのおすゝめを…

原因：過労・喫煙・飲酒・美食・妊娠中毒等

結果：肝臓機能減退・血管の硬化

成人病：肝臓病・心臓病・動脈硬化・高血圧等

内部の故障：神経・体液・血管の変化

老化現象：疲労・肩こり・肥満・腰痛・無理がこたえる・お酒が弱くなる・眼が遠くなる等

★おすすめの要点

成人病、老化現象の関係は図のようになります

30代～50代にかけて、何かの成人病が起つているのが当り前だというお医者さんもあります。

多忙に紛れ、又お酒の機会もふえ　ツイ無理をかさねますから病気を育てゝしまいます。気魂持ちの若さと肉体のそれとを混同してはいけません。それでは、気づいた時にはもう大抵治療が困難になつています。適切な健康管理が長生きをし、元気に働く方法です

疲れやすい方、肩のこる方、ふとりすぎの方は特に注意が必要です。

肝臓と血管を丈夫にするユーボンは、その手軽な方法として、お家で出来る人間ドック入りと云われています。

成分

メチオニン、イノシクト、ルチン、ビタミンC　ビタミンB1、B2、B6、タニン酸カルシウム

中年は二十六才から始まる

お家で出来る人間ドック入り U-VON ユーボン

25錠 270円・50錠 480円・100錠 850円

予防に 1日 1錠・治療に 1日 3錠

大阪市東区北浜五　住友化学工業株式会社

販売元　稲畑産業株式会社

すでに血圧の高い方には レセル・ユーボン 30錠－600円　100錠－1600円

有難い批判記事

＝35年の功績を讃える＝

日本薬剤師協会長　高野　一夫

薬業時報が発刊三十五周年を迎えるとのことであるが、長年に亘り薬業界の報道機関としての役目を果してきたその功績は大きい。

前社長の故武田信一郎氏とは、私が日本薬剤師会を主宰していた頃から親交を結んだ古い間柄であつて、薬界のこと、その裏表を経験となくよくきかせてもらつたものである。その頃は藤本、吉川、菱田、西脇、三浦、和田という薬業誌の先達がいて、武田氏と共に極めて賑やかな存在であつた。これらの人々の内で今日なお健在なのは和田氏ひとりのみとなつて、いずれも已に故人となつてしまい寂しくなつたが、信一郎氏のあとが正三氏によつて引継がれ、時報の名が遺憾として絶えないで今日に及んでいることは嬉しい。

日薬にしても、業界各方面でも、それぞれの機関誌をもつてはいるが、回覧も少く、その上どういうものか会誌と名のついたものは面白くないのか、兎角読まれない傾向にある。それで我々としては出来るだけ一般の業界紙に経過なり、問題点なりを発表して、正確にそして迅速に報道してもらいたい訳である。薬業時報は正確、迅速な報道と共に、批判が書かれることが多いが、この批判は特に我々が読まされるものとして楽んで拝見している。

今後とも時報の雄斗を新つてやまないが、ともあれ創刊三十五周年を心から祝福し、社内各位の御健康をも併せて御祝びしたい。

最も尊敬する業界紙

＝指導的社説に敬意＝

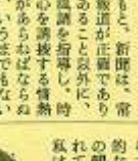
全国薬剤師連合会長　沖　勘六

今回、薬業時報社が創刊三十五周年記念特集号を発行されるに至つた事は、誠に大慶に堪えません。第一次世界大戦後の好景気に世界の経済舞台に、日本として初めて進出の時代より、第二次大戦の敗戦の痛手から蘇く立ち直つた今日に至る三十余五年といえば、世界歴史の二世紀にも三世紀にも相当する大変動の時期に、よく毅然として今日の隆々たる社運を築き得られた、精進苦心というは一通りの事ではありますまい。薬業時報は数多い全国の業界紙の中で、最も尊敬し信頼する中の一つであります。日刊紙でいうならば、朝日新聞、読売、産経、日経等々の中で、外観、内容共朝日の風格に似ているように思われます。私見を述べることを許されますならば、

第一に、今日の新聞は時流で止むを得ないとはいえ、記事が非常にセンセーショナルに取扱われる傾向にあつて、その裏表を結んだ古い間柄であつて、薬界のこと、その裏表を経験となくよくきかせてもらつたものである。その頃は藤本、吉川、菱田、西脇、三浦、和田という薬業誌の先達がいて、武田氏と共に極めて賑やかな存在であつた。これらの人々の内で今日なお健在なのは和田氏ひとりのみとなつて、いずれも已に故人となつてしまい

木鐸の責を果す

東京都薬剤師協会長　竹中　稲美



私達は活字になつたものを特に信頼するようである。新聞や雑誌に書かれた些細な記事が、意想外に大きな反響を起している事は無くばかりである。報道記事の一寸した筆の扱い方で、事実が歪曲され、多くの被害者を出し、甚はだしきに至つては、財産は勿論一生を台なしにするような事も

専門の業態の研究に日も浅い、若い記者の主観を多く交えた文章が見られて来て、これが業界の動きに敏感な読者層に、如何なる影響を与えるかという点には、無関心のようにも思われる。新聞は報道公器であるからには現実の有の儘を、所ず偏り歪曲に知らされることが望ましく、社会の木鐸としての指導的主潮があれば、社説において堂々と見解を表明することが正しい在り方ではなかろうか。薬業時報がこの考えに基つた、最も信頼し得る新聞であると考えます。

第二にスペースの大半が業界の進歩に、安定に資蒙に指導的社説により また時の重要問題の真実を尽せる報道記事によつてギッチリ満たされていることは、全く好ましい新聞の在り方であります。

第三に業界紙として、週二回発行は非常に至難なことであるのに、遅滞なく定日発行されることは、記事の新らしいことは、百里先きの事情が翌日手に取る如く判り、業務の上に、関心事の上に、益せらるる事多く、また嬉しき限りであります。

これらの事は一朝一夕にして成るものでなく、長年に渉る、社長を始めとして、全社員の和親協力を基とした、勇気と、努力と、才能の結果に外ならず、深い敬意を表します。

業界愛々多事の折、一層の御精進を重ねられ、益々発展、業界のため御貢献あらんことを祈つて敬意と御祝の詞といたします。

剤界風調を指導

大阪府薬剤師協会長　浦野清五郎

薬業時報が創刊以来幾多の苦難を克服し、創刊三十五年、紙齢また三千六百号を重ね、業界紙最古の輝しい歴史をうちたてられた偉大な業績に対して、私は衷心敬意と祝意を表するものであります。

もともと、新聞は、常にその報道が正確であり敏速であること以外に、社会の風潮を指導し、時代の人心を誘掖する情熱と気魄があらねばならぬことは、いうまでもないところであります。

私は、かなり古くから

に剤界に反響し、正しくこれを指導育成するか、或は却つて、困難に直面せしかる結果となるか、筆者の良識に俟つところ洵に大と云わねばならない。

＊薬業時報＊が創刊されたのは、協の関東大震災前の年であつた。神々鋭い筆鋒で、剤界諸問題を批判指導されたが、常に正義と業界を愛する社

長に立脚されていたので立派に本紙の責を果し、遂に創立三十五周年を迎えられた事は誠に慶賀の至りである。今や東西を通じて、第一流の体裁内容を備えられた紙が時局益々多事多難なる剤界の、良き指標となり、先導者となつて、益々繁栄される事を祈つて止まぬ次第である。

の薬業時報の愛読者でありますが、新聞の所説というものが、いつの時代でも、社会人心の上に大きな作用と影響を及ぼすものであることに深く思いを致されて、その記事の取扱いを非常に慎重になされ、その所説も大局的な観点から公正な世論の動向に少からず努力されている様がうかがわれ私はひそかに感服している次第であります。薬業時報今日の隆盛は、関係者諸氏が、新聞のもつ重大使命の完遂に精進されたところに上るものと思います。

ひるがえつて、わが薬剤関界、薬業界は、国民健保問題の問題、医薬品流通過程合理化の問題、薬事法改正の問題等々、早急に処理決を はからねばならぬ数多くの重大問題をひかえて、今や文字通り多忙多端の秋であります。

薬業時報が、この重大時機において、従来以上に良識に基く独自の風格を堅持し、薬剤師界、薬業界の好伴侶の社として、わしい活躍を遂げ、発展せられることを海　　て、お祝いのことばとします。

創刊35周年を祝う

常に話題の中心

日本医薬品卸業連合会長　鳥居孝一郎

薬業時報が大正十一年創刊以来、世に三十五周年を迎えられて記念の特集号を企てられた事を聞いて、私は心から祝出度いとう、と御祝い申上げると共に、公器、業界の木鐸として業界に尽された功績と、その間、その衝に当られた薬業時報社の方々に対して深く感謝と敬意を表するものである。

私が鳥居の社長になつたのも、薬業時報の発刊と同じ大正十一年であるから、特に親しみを覚える訳であるが、その頃働にも業界紙はいくつかあつたが、薬業時報は常に清新な記事で信紙を後驚していたのを記憶している。

私が社長となつて震災、戦災と苦難を経たように薬業時報も同じ苦難の中で、業界の指導に当られて、幼にして新聞の香を備えた薬業時報は今や齢三十五歳、心身共に充実した壮年にも喩うべきである、而して読者、同も今や全国の隅々迄に及んでいることと優秀な内容を盛られていることは、我が日本医薬品卸業連合会の諸会合において、常に薬業時報の報道記事が話題の中心問題になることによつても明かな証拠だと思うのである。

私は熱烈な編集陣の下、堅実な経営によつて益々基盤を強固にし、業界本然の使命である薬業界の指導啓発に当られる薬業時報に対し、国際の敬意を表すと共に、益々発展されるよう祈念して祝辞とする次第である。

よき業界への助力を

東京都医薬品卸協同組合理事長　大木卓

薬業時報が創刊三十五周年記念の特集号を発行されると聞き、衷心よりお慶びを申上げる。

大正十一年に旬刊紙として発足されたとのことで相当な紙令を数えたことになる。業界紙の中で殆絶なる存在前かもあらゆる問題に対して常に指導的社説をかゝげ、報道公器としての責務を果されている。業界が業界紙に望むものは、よき業界を辿るためのよき助力にある。徒らにニュースの走りのみを必要とするのではなく、正しい報道、誤らぬ指針をこそ得たいのである。

今我が薬業界は全く未だ曾てなき変換期に来ているし、重大な時代に遭遇している。此の時期に薬業時報がいよいよ健在にして発展をされることは業界にとつて力強いことであり、新聞の使命に当つて、一層の努力を払われることは業界人の等く期待するところである。と信ずる。

協同組合組織の強化を以つて卸、小売業界の安定を図ろうとしている今、本紙の活躍を望むことや切、従来の方針を堅持されて、今後の発展する御栄を衷心より祈る次第である。

啓蒙に一層の努力を

大阪府医薬品卸協同組合理事長　東代清次郎

薬業時報誌創刊三十五周年を慶賀致します。

顧みれば、大正の中期は戦争のあとをうけて、日本経済の起伏も厳く国復した時でありましたが薬業界は製造業発達の初期に当り、その基礎が厳く築立して前途に光明を感ずるの時期でありました。

この際薬業時報は、薬業界の公正なる報道機関として旬刊紙の発刊を企画し、その使命に邁進せられたのでありますが、創業時の御辛労はさこそと偲えられるものがあります。

大正後期から昭和時代は、日本国家として大発展を遂げた時期であり、薬業界もまたその道程に応じて発展の一途を辿り製造業者、販売業者の提携活躍によつて国民保健の向上に多大の貢献をもたらしたのであります。その発展拡大の間に際して、報道公器として中正なる機論を喚起し、薬業紙の使命に躍進せられた時報社の功績また大なるものがあり、と思います。

終戦後の混乱期から現在に至る十余年は、まことに波瀾の時期であり、薬業界も大きな変革を来し、企画に経営に各種の問題を提起しました。殊に税制解除後の諸業者の復興はことに夜の道であり、製造業者の援助と知自身の奮起によつて、漸く現状に復活するに至つたのでありますが、卸業者の団結が協同組合組織となり、相互提携の精神を確立し、自立経営を確立せんとするに至つたことは、世道の然らしむる処であると共に、薬業界の推移のよつて来る結果を感ずるのであります。

薬業界は未曾有の千億円を突破する生産を示して参りますが、販売面に於ては国内需要の飽和増進に努力する反面、激烈なる販売競争を惹起し、価格面に混乱を来していることは周知の事実であります。

世相の安定は流通機構の整備の必要性を痛感する時代になつて来ました。同時に医薬品に対する大衆の信頼性を確立するためには、産業道徳の高揚こそ大きな目標でなければなりませぬ。

製薬業の発達と共に、発展の歩を進めて来られた薬業時報社の使命また重大なるものがあると思います。

三十五周年を期として企画に啓蒙に一層の御努力を期待して止まない次第であり、社業の益々隆運ならんことを祈つて祝辞と致します。

日絆薬品工業社長　歌橋薫一氏筆

祝創刊35週年

特売中……

テープ絆

ネオバン（粘着紙テープ）

ビニールバン

精々御拡売の程切にお願い申上げます

ニチバン

日絆薬品工業株式会社

発展は業界と共に

東京都薬品商業協同組合理事長　湯浅　巖

本紙の紙令三十五年を迎えられたことを衷心よりお慶び申上げる次第である。業界新聞発行の如何に多難なる事業であるかということは、私も偶々ある業界紙に関係するところから、深く御同情申上げることが出来るとともに、本紙が数多の困難を克服して、今日三十五周年記念を迎えられた一事は真に偉大なる事柄であり、その間わが業界に対しては警鐘に忘せぬ貢献をして頂いたのであつて、今日お慶びと共に深甚の謝意を表したい。

さてわが業界も今日当面する幾多の難問題を控えているのであるが、就中薬事法の改正とか、薬価基準の問題、さては、曾つても人委員会によつて投ぜられた一石の波紋による諸般の問題が、今や前途に累々として横たわつており、加えて昭和三十五年を目標とした国民皆保険の推進等々、われ〳〵誠しくその努力を傾注しなければ、その一事として完遂し難きものの連続であることを今さら身ち痛感するのである。

本紙が茲に創刊三十五年を期しこれらの諸問題についての業界紙としての使命を遂行せられ、われら業界に携わる者の一環として、大いなる役割を果されんことを、この機にこそ御願い申上げたいのである。

すべて業界紙の発展は業界の発展と共に存り、今日業界の発展を見るに至つたこと、即ちこの紙の発展を観照するものに他ならぬのであつて、今後永久なる業界への御尽力を願つて止まない。

大いなる期待寄せる

大阪家庭薬協会長　三田良蔵

薬業時報が創刊三十五周年をお迎えになると聞きました。何はともあれ御目出度いことで、心から慶祝の意を表します。大正十一年の発足と云いますから、間もなく関東大震災、昭和初年の不況時代、支那事変から第二次世界戦争、戦争末期から終戦後にかけての混乱時代を経て今日まで、世相の移り変りの中に、新聞を育てられた御苦労は筆舌に尽せぬものがあつたことと拝察します。三十五年と一口に申しますが、其の間幾多の困難を乗り越えて、無道公務を死守された功績は、全く偉大という外はありません。重ねて衷心から敬意を表します。

最近十年の我が国の薬業は、学問的にも、技術的にも飛躍的な進歩を遂げ、既に世界的水準にあり立ます。而も今なお日進月歩、その進展は止るところを知りません。然るに一方業界に渦巻く経済問題は茲だ深刻なものがあり、我が国医薬品の生産販売非に輸出に関する企業は、国力の変転と共に決して楽観や許さない現況に立ります。曰く設備資金の問題、曰く流通機構と価格の問題、曰く広告宣伝の問題、曰く海外市場における外国製品との競合問題、更に大きく医薬分業制度の実施問題は国民皆保険の実施と山積する諸問題は枚挙にいとまのない今日此の頃であります。斯かる時に当つて、報道公器としての業界紙の使命は洵に重大なものがあると言わなければなりません。

報令数えて茲に三十五業界紙の第一人者として君臨される薬業時報が、我々の期待するところは茲だ大きいのであります。

終りに一言、国民の保健衛生に直結する我が家庭薬は、近来日覚ましい質的進歩を遂げ、今後も益々其の伸張が予想されます。薬業時報は今日まで家庭薬については、特別の関心を寄せられ、常にこれに関する重要課題をとり上げては迅速正確な報道と鳥瞰に紙面を割愛するに吝かではありませんでした。

どうか今後共、大局に最も近く、最も深いつながりを持つわが家庭薬とその企業に対し絶大なる御理解を以つて御支援あらんことを希願して止まないものであります。

御創刊三十五周年に当り、些か蛇言を呈して祝詞といたします。

一層の協力を期待

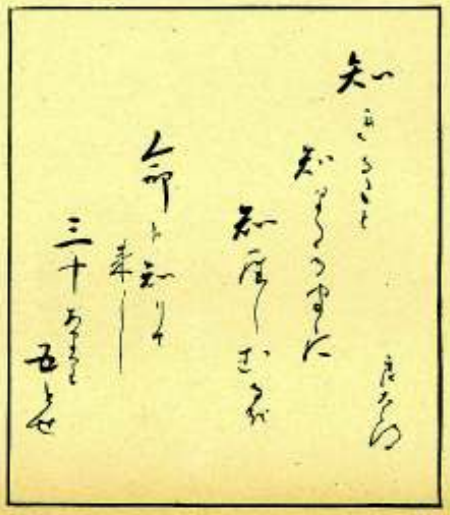
日本試薬業組合会長　守随彦太郎

このたび薬業時報紙が創刊三十五周年を迎えられ、記念特集号を発刊されるという御報に接しました。

薬業時報の初代社長武田信一郎氏とは、長い間の親友でありまして、目頃私は同氏の慧眼と不屈の信念には特に敬服しておりました一人であります。一口に三十五年と申しますがこの間の日本の動きには、御承知の通りの大きな変遷が幾たびもありましたが、よくこれらの困難を乗り越えて報道公器としてその使命を完遂されつつ、業界最古の輝かしい伝統を遺された初代社長の偉業と、その誠志を継承されて、今日の隆盛発展に導された現薬業時報社々員各位の御奮闘に、深く敬意を表します。

報道機関が業界の発展に寄与する使命の重要さと、またその偉味を業態において、些等試薬業界と共通したところもあるように思うのであります。試薬は、あらゆる産業の基礎となる重要的重要薬品で、また文化の向上に寄与するところが非常に多く、また最近では当連合会会員中には、JIS のマークの表示工場を申請するものも続出し、一層品質の向上が期待されるのでありますが、何分にも最終製品として市場に現われるものでないので、一般の認識が浅く業者も研究や実験や検査に専念しているので、殆んど政治力にもとしい感みがあり、この点については今後とも各位の恩寵御指導一層の御協力を期わしたいのであります。

常に公正な社説と、報道の迅速確実な業界専門報が、最古の伝統を力強に生かして、益々隆盛発展せられることを祈りも記念の辞といたします。



筆　小宮良太郎氏　鳥居薬品監査役

祝創刊35周年

壊死組織融解剤
ナガーゼ
1管中　10.000 P.U.N 5管入　（稀釈用液 5c.c. 5管添付）

2種混合　静脈麻酔剤（鎮痛剤混和）
ネオ・チクロパン・ナトリウム
0.35瓦 5管入・50管入　（溶解液 12c.c. 各添付）

（鎮咳・気管支喘息薬）
塩酸エフェドリン　末 500瓦・25瓦・5瓦　錠 20錠

（緩下剤）
ビサチン　末 1瓩・500瓦・25瓦　散 100瓦　錠 100錠・20錠

（局所麻痺薬）
ペルカミン　末 500瓦・50瓦・5瓦　注 高比重・低比重

（鎮痛薬）
フェニールアセチール尿素「テイサン」　末 500瓦・100瓦・25瓦

（静脈用短時間麻酔剤）
チクロパンナトリウム　0.5瓦入　5管（注射用蒸留水5管付）

（強力就眠薬）
チクロパン　末 25瓦・5瓦　錠 20錠

（解毒・強壮剤）
タウリン「テイサン」　末 10瓩・1瓩・500瓦・25瓦

（新局所麻痺薬）
テーカイン　末 500瓦・50瓦・5瓦

製造　帝国化学産業株式会社　大阪市西区立売堀南通一ノ七★販売　長瀬産業株式会社医薬部

創刊35周年を祝う

大正11年の感慨

東京薬業協同組合連合会長　松本恒一

人生僅か五十年という言葉は、昔から言い伝えられてきた言葉でしたが近年は異常な発達をした薬学、医学の進歩により統計の示すところによれば今では七十年以上寿命が延び、人生も六十年或は七十年と延長されてきたことは、人類にとって誠に喜ばしいことで、御慶に耐えないところであります。わが薬業界において最も信用のある報道機関として名声ある薬業時報は、本年をもって創刊三十五周年を迎えられたことに対しまして慶祝の辞を表する次第であります。

私として特に感慨深いことは創刊された大正十一年時代は、第一次欧州大戦のため染料不足に悩まされておりましたので、染料製造の会社を経営しておりました頃も華かで苦かしい頃であります。翌大正十二年の大震災で焼失し、再興不能になりました関係で、一大転換をなし、現在の処へ薬局を開設したのが大正十三年春でありました。これは創刊の翌年であります。これは創刊より二年後でありますが、それでも既に本年が創業三十三年になります自分の開業年数を顧みて創刊の創業三十五周年に対し重ねて創祝の言葉を申上げます。

吾々が最も渇望した医薬分業の法制化された暁の現況、及び来るべき国民皆保険の実施に対処すべき迄を将来に於ける施策、中小企業というよりも、むしろ零細企業の部類に入る今後の運営の在り方等々、わが薬業界は益々多事多難の事項に直面しなくてはならない秋、愈々薬道の公器として、重大なる使命達成に励まれんことを御願いして御挨拶といたします。

35年の歴史と伝統を

東京薬業協同組合長　岩城市太郎

貴紙創刊三十五周年記念に当り、いささか祝いの言葉を述べる機会を得ましたことを光栄に存じます。

今日の報道機関は、今世界の何処に何が行われ絶りつつあるかということまで、即刻知ることのできる程高度に発達しているにも拘らず、我々の日常は業務に追われ、身辺のことについては充分考察して事を処していながら、身近かでないと申すか、直接に影響を被らないと思うことには、甚だ無関心である場合が多いようであります。

これは甚だ遺憾なことでありますが、こうした考えが結局井の中の蛙的考えに固着してしまうのではないでしょうか。このことを民衆に業界に当はめて考えた時、特に今日の社会状勢に対処する業界の在り方から云つても決して無関心であつてはならないと思います。こう考える時、最も身近にあつて我々の羅針盤であるのは業界紙であります。従つて我々はもつと業界紙を熟読し、その補道を信じ、爾後の行動に対する参考として、これを生かさなければならないと思うのであります。出来得れば社員の一人々々にもこれを奨め、常識を培つて斯界発展の為の資とすることを常々望んでいるものであります。

保持せよ名声、信用

大阪府薬業務課長　井沢清篤

ここに創刊三十五周年を迎えられた貴紙に対し、祝辞を述べ得ることは、私のまことに欣快とする所であります。薬業時報社が薬業界における専門紙として、この年月の間に少んで来られた辞やきにろちた道を振り返りなす時、感慨の念を禁ずることが出来ません。

貴紙が創刊されて以来業界の発展と共に歩み、着々とその実績をあげ、最足の進歩を示されたことは誠に若月に値するものがあります。

多々ある業界紙のうちでも、特にそのニュースの明確さ、卓越した編集方針等をもつて、常に業界をリードすると共に、その進歩発展に尽力せられ、立派な成果を納められたその功績は誠に頑著なものがあり、遍く業界人に深くその存在を知らしめたゆえんであります。

過去三十五年の長き間に築き上げてきた名声と信用とを、ゆるぎなく保持せられ、或は一層高められ、以つて変転の激しき業界の諸般の要望に応えて、なお一層躍進せられん事を望んでやみません。

今後とも業界の進むべき正しい方向を指向し、興しまれ、信用される権威ある新聞として、所期の目的を貫徹せられん事を切望して私の祝辞の一端とす致します。

忘れ得ぬ終戦時の一灯

日本病院薬剤師協会々長　不破竜登代

すくすくと伸びゆく竹には、一定の間隔をおいて必ず節があります。それは一節から一節までの年長過程を永久に記念して、更にまた新しい一節をつくるべく目ざす姿がいたします。御紙が今年三十五周年を迎え、これを記念して特集号を発刊するのも、丁度三十五の歩を迎え、更に飛躍の一途へ進ひシンボルと見ていてもよいでしょう。おめでとうございます。心から御祝い申しあげます。

創刊三十五年紙令三千六百号は、正に激浪とした元気旺盛の青年期に相当します。ますます活躍の時を得て、いよいよ業界のために正確な、そして責任ある報道をして御紙の使命を全うするよう期待してやみません。わたくしは古いことは知りませんが、終戦直後御紙がいち早く不安な社会情勢下に、あらゆる困難を克服して速かに立ちなおつて、一灯を業界のために灯してくれた御苦心と、御努力とには今なお感謝しております。それも今は昔と言えましょうが、御紙三十五年史の一頁をものしていることでしょう。

日本病院薬剤師協会発足して三星霜ですが、種々方面いろいろと御面倒をかけ、お世話になっております。ことに最近における病院勤務薬剤師の医療保険給与適用問題に当つては、御紙の報道が全会員の待望を一瞬にして解除し安堵してくれたことでしょう。関係一同は深く感謝しております。なお業界にはとりあげるべき問題は目に山積しています。よりよい先達者として、また報道者としてわれらの日的貫徹のために、一層の御支援を下されん事を切望する次第であります。

舌下から吸収されすく苦痛をとり去ります

ぜん息・百日咳・気管支炎

クローバーサービスセール開始！

ぜん息発作の多い時期をひかえ「スーナー」の2割増付有利特売を開始いたしました。

クローバー・サービスセール　一口内容

品名	包装	数量	小売価格		貴店仕入価格	
			単価	金額	単価	金額
スーナー（舌下錠）	30錠	5個	250円	1,250円	175円	875円
		1個	250円	250円	値	付
	合計	6個		1,500円		875円

（贈呈）　説明書1枚・チラシ5枚・クローバー・シール（セット券）51点

・入荷ポスターを用意してありますから御取引先へ御請求下さい

製造元　科研化学株式会社・発売元　科研薬化工株式会社

今日の隆盛を祝す

武田薬品工業社長　武田長兵衛

今般業界時報社が創刊三十五周年を迎えられるにあたり、祝詞を述べて敬意を表し得ることは私の最も欣快とするところであります。

思えば三十五星霜、業界最古の伝統と歴史を有する貴社が、終始一貫記事の正確さと敏速、編集方針の卓越さをもつて業界紙の範となり、その隆されたる功績ははかり知れないものがあります。

貴社が大正十一年旬刊延として発足された頃は発行部数二千と聞いておりましたが、今やその数二万を超え、今日の隆盛を見ますことは、慶祝にたえないところであります。

新聞の発行というものは、常に並々ならぬ苦労を伴うものであり、発刊以来幾多の困難を乗り越えて来られたことに対して、敬意を表するとともに、今日のような複雑な社会状勢と、日進月歩の科学の歩みの中では、いよいよ貴紙の使命は重く且つ大となつてくるわけでありまして、今後ますますのゆまざる努力と、大いなる抱負をもつて、業界紙として一層指導的役割を果されるよう希望する次第であります。

以上簡単ではありますが、所懐の一端を申しあげて謹祝いの言葉といたします。

業界の指標として

第一製薬社長　篠田淳三

直木賞に名を残している直木三十五は、三十五才は人生の盛りであるとして、その名をとつたといいます。また、私の親しく頼っている西川義方老博士に、先生お年はと伺うと、いや三十五ですよといわれます。三十五は、正に人として知情意新く兼ね備つた働き盛りと申せましょう。貴社が三十五年を迎えられたことは、慶足をのばして、十二分の活躍をすべき時に際会された訳で、本当にお喜びに堪えません。

貴社の先代社長武田信一郎氏には、生前たびたびお目にかかりましたが実に気骨のある方で、私もいくどとなく警句をいただきました。しかし、業界の発展を祈る一途な情熱には、私も共感する所が多かったのを記憶しています。この業界を愛する気骨の強かったことが、創刊当初の震災の打撃や、昭和初頭の不況時を乗りこえさせて、社運を賞め、遂に四の巻石日報、東の業業時報と併称されるような業界日刊紙の地にまで発展させたものと思います。それと共に、当時貴社が業界人の必要とする多くの有用な出版物を続々と出されたことも忘れられません。

戦時中、惜しくも統制によつて休刊されましたが、戦後の混乱時に逸早く復刊、一年ならずして廃刊された後は、二代目の正三氏が社業を継ぎ、正確、迅速、公正な報道をもつて、業界の有力紙として、旧にも増す信用を得ておられますことに、衷心敬意を表します。小社の創常時であつた亀田通太良氏を通じて、貴社の発展にはいつも関心をもつておりましたが、今日三十五年を迎えられたに当り、今後ますます業界のためのよき指標となり、業界の進展と軌を一にして、一段と御発展せられますことを祈り、お祝いの言葉といたします。

心からの祝福を ペンに托して

中西武陽堂社長　中西武五郎

これから五年先、十年先などと将来のことを考える時、五年計画とか十年一昔とか耐当長期に感じますが、光陰矢の如く過ぎ去りし五年、十年は歴史として相当貴重なものと存じます。

貴社の三十五周年を慶祝するにあたり、思い出は我が業界の興隆に、そして敬力ながらもその中に、同じく約一世紀の三分の一を却世話さまになつて来たわたくし共の甲子会運動も振りかえり見て、戦争というものが影響したさまざまな関係世間並とはいえ、その世つい先頃のように思われるものです。

しかし三十五年ともなれば、一世紀の三分の一以上の歳月を経たわけで、どんな事業にしても、その長い間の起伏は、尊い歴史であるものです。

貴社にもそうした共感をおもちになるのではあるまいかとお察し申し上げているのです。

思い出は二十幾年前のこと、貴社創業の先輩が新潟の白十字で催した甲子会に、はじめて御臨席あり温い御心もちで、若い（当時）わたくし共を激励して下さいました印象は、まことに嬉しく肝に銘じて爾来口好意をいただき続けました。今なお貴紙の紙字の中に想念させられることであります。

さて経済界が熾烈の争いでなく、報恩のために共生きの相として、報恩経済が成り立つことを念願するとき三十五周年を迎えられた貴社の御挨拶の述べ、「我業界の報道公器として貢献」なるその公決意を、これから三十五年に実践あれば、七十五年に実践あれば、七十周年記念号の御発行の吉日がニコニコと待ちかねていることでしょう。

七十周年記念号から、更に七十年のお礼奉仕をなさる時は、百四十周年記念特集号が出るその頃月が宴手を挙げて待つているでしょう。かくて悠久えの弥栄、真生の相続は業界のために／古い思想から知れませんが、わたくし共はそうした心がまえで、今まで以上にこれからもお世話さまになりたいと念じています。

開並にもいろいろの凸凹はたしかに公平でなかつた半面が、余りにも露出していることを阿呆らしく思わせられるのです。

でも、長い月日の経過する間に、大きい小さいは別として、その歴史の香り高さにおいては別な世間の深点がありそうです。すなわち、それはそれとして、これはまたこれとしてよく受け入れられる阿呆らしくない平面をたしかに編とどけさせてもらい、やつぱりこれでありがたいのだ／と思わずも合掌させられ、新たなる修徳に接土金来の迫力をおいただきする現今のわたくし共であります。

貴社の三十五周年を迎えるに当り、今後ますます業界日刊紙の指標として、貴社の発展と共に、業界人の必要とする多くの有用な出版物を続々と出されたことも忘れられません。

戦時中、惜しくも統制によつて休刊されましたが、戦後の混乱時に逸早く復刊、一年ならずして廃刊された後は、二代目の正三氏が社業を継ぎ、正確、迅速、公正な報道をもつて、業界の有力紙として、旧にも増す信用を得ておられますことに、衷心敬意を表します。小社の創常時であつた亀田通太良氏を通じて、貴社の発展にはいつも関心をもつておりましたが、今日三十五年を迎えられたに当り、今後ますます業界のためのよき指標となり、業界の進展と軌を一にして、一段と御発展せられますことを祈り、お祝いの言葉といたします。

筆　岡田正二氏　中西武陽堂代表取締役

マルホの輸入医薬品

四十数年来の伝統ある独創的医薬品

神経痛　肩こり　しもやけ　うちみ　くじき　関節炎（痛）　筋肉炎（痛）　腱鞘炎　筋肉の疲労回復

高級常備薬

凝血阻止剤（健康保険適用）　ヒルドイド　軟膏　12g ¥ 500　36g ¥ 1,300

喘息治療剤　アストモリジン　注　100cc×3A ¥ 350　10A ¥ 1100

喘息治療剤　新発売　アストモリジンD　カプセル　赤色（速効性・小腸内可溶性）　5カプセル ¥200　20カプセル ¥750

喘息治療剤　新発売　アストモリジンM　カプセル　黄色（速効性・胃内可溶性）　5カプセル ¥200　20カプセル ¥750

痔疾治療剤（健康保険適用）　ポステリザン　軟膏　挿入器付　25g ¥ 300

アレルギー性疾患　ヒスタミン拮抗剤作用物質　パスパート　徐放錠　0.200×5A ¥ 3.000

強力止血剤　クラウデン　注　2.500×5 ¥ 400　10 cc×5 ¥ 700

輸入元　株式会社　マルホ商店
大阪市東区淡路町一丁目26　東京都中央区日本橋室町一の12

毎日の一粒づつで

みんなが元気 明るい家庭

毎日の一粒は・・・

皆様方の健康に必要な十二種類のビタミンと強肝剤メチオニンの作用に依って同時迄も変らぬ健康美を保ちます。

強力綜合ビタミン剤　100錠・1000錠

フナビタンパパ

健胃・整腸・殺菌

ストゲリン散

フナイ薬品工業株式会社

創刊35周年を祝う

更に光輝ある歴史を

田辺製薬株式会社長　田辺五兵衛

薬業時報が創刊以来三十五周年を迎えられるに当つて謹慶びを申上げたい。

一口に三十五年というが、大正十一年に始まるこの三十五年は、日本の歴史において最も多事多彩な時代であつたといえよう。その間にたどられた薬業時報の力強い在り方こそは、最も誇り高く思われてよいのではなかろうか。この三十五周年を迎える慶びを持たれるこれこそが原因を形成するものであろう。

戦時中の過れを直視した薬業界も今や多事な状況に直面している。業界は各分野に於て相団結し協力して夫々の戦域に於ける社会的責任を果さねばならない。この意味において、薬業時報もその使命に鑑みて、薬業界及びこれが関係各方面の羅針盤として我国薬業発達の重要なる推進力となつて頂きたいものである。その道程、その中正且つ指導的な意見が、関係者一同を益することを望んでやまない。従らに速報に走り、或は無責任なスクープを事とし、情の軽重を問われる事のないように望む次第である。

此の切磋ある業界紙価値の三十有五年の歴史の上に、更に光輝ある歴史を積み重ねて行かれる事を切望してやまない次第である。

常に指導的立場で

大日本製薬株式会社長　宮武德次郎

貴紙薬業時報が、大正十一年の創刊以来、本年で輝く三十五周年を迎えられ、秋涼の今十月十九日には第三千六百号として、「創刊三十五周年記念特集号」を発行されるに至りましたことは、まことに慶賀の至りであります。この間度くもまた記念すべき号の紙上に記録を述べるお許しを得ました事は、私の最も光栄に存ずるところであります。

まして、何よりも先ず第一に、心からお祝の言葉を申し上げる次第であります。

貴紙が、今を去る三十五年の昔、即ち大正十一年に貴社先代の社長武田信一郎氏によつて創刊されて以来、常に正確にして、而も敏速なる報道をモットーとされ、その卓越せる編集力針を貫くまでも歓待されて、数ある業界紙の中でも、常に指導的立場を守り続けて来られたことは、自他ともに認めるところであります。

一口に三十五年と申しますが、その間には幾多の困難なる障碍を克服しなければならなかつた事でしょう。特に今次の世界大戦中には新聞用紙の統制のために、貴紙に於てもその発行を一時中断するのやむなきに至られた事もありますが、終戦後逸早く復刊されて、その内容に於ても遠年充実を加えられ、今日の隆盛を見るに至られたのであります。

その間において貴紙が、正確なるニュースを而も時機を失せず、業界治療界は勿論広く一般に報道することによつて、直接間接にわが業界の発展に寄与し、国民保健衛生の向上に図られた功績は、これまたまことに大なるものがあるといわねばなりません。創刊以来三十五年間、我々として守り通して来られたこの光輝ある伝統を今後更に〈〈発展せしめられることを、私達が大いに期待しているところであり、今後の貴紙の一層の躍進を願つてやみません。

以上簡単ではございますが、貴紙が益々発展されんことを祈念して御祝のことばといたします。

愈々その真価を

中外製薬株式会社長　上野十蔵

此度、薬業時報が創刊三十五周年を迎えられるに至られましたことは、我が薬業界にとつても真に喜ばしいことと御同慶に堪えない次第であります。

今日までその発行に尽力せられた社長、並びに編集に当られた方々にはさぞかし御苦労のことと拝察致します。

周知のように、業界関係誌と言われるものは実に数多く、その中には発行数回にして姿を消すものもあつて、誠外にある我々も競争の剣呑に散熱なるかを推察しているところであります。

本誌が三十五年という永い間刊行されて来たことは、それが読まれる方々の要望に速かに、且つ正しく沿うニュースと社説を提供されるべく、常に努力されつゝあることの証左であつて、この方針の続く限り息々発展されるものと信じるのであります。

酌うに我が薬業界もこと数年来、新次内容の充実をみ、戦前に優る発展を示しつゝありますが、資金と課資力に限られた現状にあつては、今後の躍進は仲々困難と思われるのであります。幸にして所薬品工業は高度の技術をもつて忍耐の賞讃を最も有効に活用させる有力な手段であることからみて、今後は海外への進出に一段と努力することが、我が薬業界の大きな使命の一つであると考えるのであります。

常に業界に対して正しいニュースを提供され、その進路を誤ぶに多大の暗示を与えている業界紙の今後も、また新様な躍進的な立場において、一層の援助を業界に加えられるよう切に望む次第であります。

薬業時報が三十五年の高邁の上にたつて、愈々その真価を発揮されるであろうことは、我々業界もまた大いに期待しているところであります。

茲に一言お祝いの言葉と共に今後の発展を衷祈り致します。

満腔の敬意と賞讃

小野薬品工業株式会社長　小野雄造

貴紙には創刊三十五周年を迎えられた事を心から御祝い申し上げます。

顧りみますれば、貴紙が大正十一年、旬刊紙として発足されて以来、我が国民の厚生に直接関係ある医薬品界の発展の為に、報道公器として、その使命を自覚され、幾多の困難にもかかわらず、一貫として貢献されて来たつた事に対し、衷心の敬意と賞讃の言葉をお送り致します。

顧後十年の過程に於いて我が国医薬品工業界は正に飛躍的な発展を遂げ年総生産額は一千億に達んとし、重要医薬品は相次いで国産化され、その生産水準は国際的なレベルに達しました。

かかる段階に於いて、業界有数の地位にある貴紙に対する我が医薬業界の期待は益々大なりと考えます。

今後とも三十有余年の長きにわたる貴紙の輝かしき歴史の保持と発展を心から希望します。

始めて完成された
問題の新薬

効能
食欲不振
疲労倦怠
神経痛
二日酔
解毒（湿疹）
疾病予防
疾病の恢復促進

チスチン は含硫黄アミノ酸で人間の生理機能を完遂し、健康を保つのに必要不可欠なものです。この硫黄アミノ酸が欠乏すると病気に対する抵抗力がとみに衰え、上記のような疾病を併発するのです。即ちこの人体改造上絶対必要な チスチン 硫黄アミノ酸を補給することによつてあなたの病気治療日数を著しく短縮し、又あらゆる発病を未然に防止します。

☆こんな例もあります☆

あれも効かぬ、これも効かぬで薬を取替る事10何回、7年に亘つて持病の（ぢ）で苦しんで来たある患者が専門医のすゝめでチスゲン注射を始めたところ、数日で出血が止り、全治した例が報告されています（尚ビタミンCとの併用によつて効果を増強する）

チスゲン-エム錠は此の大切な チスチン に動物の成長に欠くことのできない（メチオニン・タウリン・ビタミンB1等）を必要量含めたまったく理想的の綜合薬です。

チスゲン注射液
チスゲン-エム錠

製造発売元　鶴原薬科学研究所
大阪市東区平野町二丁目三六　電話(23)3323
東京都千代田区神田美倉町一一の四　電話(25)6181
鶴原薬研
代理店　光栄商会　電話(23)3315・3316

浜理の主要製品

次硝酸ビスマス
サリチル酸フェニル
アクリノール
フェノバリン
バルビタール
ピラビタール
エチル炭酸キニーネ

大阪　浜理薬品工業株式会社　東京
大阪市東区道修町3～15
東京都中央区日本橋大伝馬町1～1

異色を発揮せよ

万有製薬社長 岩垂 亨

二十世紀の前半は苦難にとつて激浪に始まつて激浪に終つている。その間は震災、不況、統力戦といつたような国難の連続であつた。日本民族は試練であつた。

薬業時報社が創立されてから三十三年、其の間幾多の変転に遭遇されたことは、私はよく覚えている。雑誌にたとえることは甚だしく恐れでありますが、恰も雑誌の如く読まれても、圧されても絶することなく、堅実な発展を遂げられ、今日三十五周年の創立記念を祝賀せられたのは、誠に吾がことの上うに慶賀に堪えぬのであります。私も貴社創立より古八年前、昭和二十五六才の時に製薬界に身を投じ、雑来色々損と思いながらも、自分一個の信念の下に歩みを続けて来たものであります。

今、隆々たる貴社に望みたいことは、今後益々何等か貴紙の特色を打ち出して頂きたいことである。大分薬業紙もふえたようであり、競争激烈の姿は誠に目をみはらしむるものがある。貴社の如き多年の歴史と有力なるスタッフを擁せらるるところは、記事の迅速正確豊富なことは申す迄もなく、ここらで異色を発揮し、薬業時報ならアレかアレなら薬業時報を見よという位になつて頂き度い。欧米の業界紙も大体このような傾向にあると思う。

時手な希望を申上げて失礼ではありますが、これを以つて貴社三十五周年を創祝い申し上げ、来るべき十年三十年五十年の躍発展を祈る次第であります。

偉大な啓発功績

石津製薬社長 石津作次郎

薬業時報社が大正十一年創刊三十五周年を迎えるに当り、祝辞を申述べ心から御祝申上げます。

薬業時報は先代武田信一郎氏により始まり、現社長正三氏を中心として全社員御一同の熱意と協力に依り、常に正確迅速に綜覧紙面の充実をはかり戦前戦後の混迷した薬業界を指導啓発された功績は、誠に大なるものがあると存じます。

数ある薬業界紙の中でも、三十余年の歴史を有する有数なる薬業時報社が、いよいよ地歩を固め益々発展途上に邁進されつゝある事は、まことに慶賀にたえません。思うに戦後十余年の我国薬業界の発展は実に目ざましいものがあります日進月歩の現在、新聞の使命である本分を忘れる事なく、社会の耳目心の糧として、社会に奉仕する人達とならねばならぬと存じます。

御紙がここに輝く三十五周年を迎えた時を契機として、さらに飛躍発展をはかられるに当り、今日迄長年に亘り築かれた基盤の上に、益々社会性を強調、新聞としての使命達成に努力されんことを祈念して御祝の言葉と致します。

大いなる 稗益を謝す

ロート製薬社長 山田輝郎

薬業時報社がこの度発行記念日を迎えられましたことは、衷心より御祝い申上げます。

貴紙は大正十一年創刊以来、三十余年の長年月に亘り幾多の困難と苦い年月、常に優れた識眼と迅速正確な記事とを以つて、歩一歩着実な歩みを続け、遂に名実共に業界紙の重鎮として今日の確たる地歩を築かれたのでありまして、その業界に稗益する処極めて大なるものがあります。これは一重に社長以下優秀なる社員の方々が一致団結、よく精励努力された賜であり、我々は貴紙をして今日あらしめたその御努力に対して、益に感謝なる敬意を表する次第であります。

思うに現今、薬事制度の改正が叫ばれ、これに伴う幾多の困難な問題があり、また抗生物質並に醗の発酵は、実に顕著なものがあります。斯かる重要多端の秋に際して、その輿論を導き進ひべき指針を示さんとされる貴紙の責務は、愈々重大となりつゝ、我々業界にある者、等しく貴紙の一層の健活躍を期待して止みません。

終りに臨み、貴社益々盛益々御隆盛御発展遂げられん事を御祈り、私の祝辞と致します。

あの頃の本町

エーザイKK社長 内藤豊次

御社の創立は三十五年前というと、関東大震災の前年になります。当時の本町市場は、大阪の道修町と並んで、日本に於ける二大薬業市場であります。私は大正七年、即ち四十年前に東京に出て来ましたので、御社創業の頃の思い出を申し上げて、お祝いのことばにしたいと思います。

第一次の欧州大戦が終り、新く業界が安定しかけた頃にあの関東大震災で、本町市場が全滅に帰しました。当館は、店員はもちろん、在庫品もすべて焼えてしまいました。それでも私の勤めていた田辺など、金庫が助かつたので、その中にあつた帝国銀行をたよりに、地方から集金したものが唯一の焼残り財産でした。火災保険は一文もとれないので、大きな店でも廃業をやめて他に転業したり、店員たちも離散に迷い、営社事業の頃の思い出を申し上げて、お祝いのことばにしたいと思います。

のサルバルサンや、アスピリンなど数える位しかなく、殆んどが輸入品でした。

今日の本町は薬屋街としては、たいへんさびしくなつて居りますが、当時は道修町と対等で殆んど軒並が薬問屋でした。大震災で本町が全滅に近い打撃を受け、その頃に乗じてといつてはいささか言い過ぎかもしれませんが、道修町系が全国的に進出してそれまでの五対五のバランスがくずれてしまいました。私の店なども、第一次大戦のブーム時代から、相当な海外輸出の商売があつたのですが、震災が起して輸出するものも無くなり、市場も完全に失いました。それからの立上りは容易でなく、何やかやと長い苦難の時代が続きました。私の方では、いくらかメーカーらしい仕事に手をつけたので、どうにか復興することができましたが、それをやらなかつた多くの本町問屋は、復興もできずそのままになつてしまいました。それを道修町筋の古いお店の現在と較べてみると大きなちがいです。震災までは問屋の出資は「〇〇さん」と呼び名が与えられ、いずれも角帯前掛け姿で朝から晩まで、晩もまた夕食後から十時頃まで夜なべをするのが普通で、休暇といえば盆、正月ぐらいでした。

御社を創設された先代武田信一郎さんは、そんな時代に旗あげされ、羽織袴姿駆足で、私どもの方へも時々お見えになりました。当時は「仲間」の情報を早く知つたものがくすりの相場で儲けをしたので、仲買がいろいろの情報を持つて問屋筋をかけ歩いたものですが、武田さんはこれらとちがい、インテリで興味を放ち、私どもも先代の来られるのを待ち設けて新知識を得たものです。あれからも三十五年になるそうですが、当時の先代が東奔西走して足で記事を稼いで固られた活躍よりは未だに私どもの目にちらついているようです。薬業時報がますます繁昌しておられるのは現社長の時代をリードするすばらしい編集振りもさることながら、先代の薄かれた種子がいよいよ実つて来て国家ことを否定することは出来ないように思われます。

眼のつかれと衰えに……

「眼が悪い」と一口に言つても、その殆ど、七割以上は近視眼が問題だといわれます。眼が疲れると、充血したり涙が出たり、カスミ目、コリ目、頭重、頭痛、肩のコリなど種々の症状を呈します。この様に眼筋性眼病と考えられない新い眼病は大低疲労眼が原因です。こんな時にお使いになる目薬は抗生物質目薬よりも新大学目薬がよいと思われます。

新大学目薬は、眼組織に弾力を与えてその働きを活潑にするコンドロイチンを主成分として新しく採用しました。コンドロイチンの作用によつて眼の組織はいつも柔かく弾力を失わない、即ち疲れを知らぬ若々しい眼でいられます。

新大学目薬は副作用がなく、さし心地も爽かです。

眼細胞賦活剤

コンドロイチン配剤

新 大学目薬

¥100

大学スーパー目薬・ダーリンスーパー姉妹品

参天堂製薬

安産のために

発育期にも……

カルシウム+ビタミンミネラル剤

ワダカルシューム

姉妹品

ワダカル ビタM

◎御拡売を感謝致します。

正価二〇〇円三〇〇円

創刊35周年を祝して

伝統ある社説のもとに

西部衛生材料協同組合理事長　泉谷良喬

大正十一年創刊せられた薬業時報が本年盛に栄ある三十五周年を迎えられるに当り、一言祝辞を申上げます。

三十五年前貴社は先代社長武田信一郎氏を中心として、優秀なる人材が一致協力、東京を拠点として真に業界の為に努力せんとする高邁な理想のもとに、火の燃上る如き勢で発展し、正確迅速な報道、卓越した編集方針、社説等により、激変する社会経済状勢、進展する五代医薬品業界と共に、新聞紙として築された業績は実に大であり、歴史的にも、内容的にも我の業界紙の追随を許さなかつたことは、広く一般の認めるところであります。

場合は、どの世界においましても激烈な競争の時代であり、医薬品業界はもとより、業界紙としての貴社自身の世界においても然りでありますが、新聞紙としての使命を自覚し、常に新意工夫と時代感覚を身につけられ、大衆より愛され信頼されることが、最大の道であろうと思われます。

只今は新聞週間であり今年の代表標語は「報道には大胆、人権には小心」というのでありますが、その意は、正しいと信ずる主張は堂々と主張して千万人と雖も吾往かんの気概を示すことであり、反面基本的人権を侵害する

時代の歩みに即応して

大五栄養㈱社長　間中綱彦

薬業時報社は、この度創立三十五周年を迎えられることとなり、ここに感慨を新たにし、深く敬意と祝意を表明するものであります。

薬業時報社は、薬業界の報道機関の重鎮として不断の御研鑽と御苦心により斯界の発展のために大きな貢献を致されましたことは今更私が申し上げるまでもありません。

顧みるに三十幾星霜を経て日本は大きく変貌し敗戦の辛苦を克服して、新生民主主義国家として飛躍せんといたしておる秋にあたり、吾々薬業界に身を投ずる者として、医療衛生に邁進する覚悟を新たにしているとき、薬業時報社が社長始め全員が協力一致せられ、瞬時も止まることなき時代の歩みに即応して、健全なる報道と良識を結果せられまして、斯界の啓発広報に努され、国家社会の福祉に寄与せられんことを切望し、祝辞にかえる次第であります。

不変の努力の賜

官公庁薬品業組合理事長　山口栄一

戦後薬界の飛躍的発展に伴い、愈々報道公器としての重大なる使命を果し、斯界に偉大なる貢献をせられつつある貴紙が創刊以来盛に三十五周年を迎えられましたことを衷心より祝い申上げるものであります。

記念特集号を発刊せらるるに当り、寸感を以て祝辞に代える次第であります。

地道にして困難なる長途を着々前進せられて、斯界の機関紙として確乎不動の地位を築きあげられましたことは、偏えに社を挙げての不変の努力の賜と申すべく、真に感歎措く能わざるところであり、この礎より今後、更に一〜発展向上の途につかれんことを、心から期待している次第であります。

ことなく真のヒューマニズムに立脚して、誤報なきよう細心の注意のもとに、新聞を作成されることであろうと思います。マス・コーミュニケーションに対する功罪の批判の厳しい折だけに、一層の御注意をいたされ度いと希む次第であります。

幸い、伝統ある貴社は、今この欄を十二分に活用され、我々業界の正常な発展の為に一層の協力をいたされんことを希み、貴社の御発展を心より祈りして、一言祝辞とさせて頂きます。

昭和初期の号外・特報版

当時は旬刊発行のため、緊急販売にはしばしば号外、臨時版を発行した、（上）は医師会の反分業請願書全文とこれを痛烈に反駁した木村壮右衛門氏の論説号外（昭和八年二月二日号）、（左）はグリセリン大量輸入の特報これはスクープ記事として大きな話題をまいた（昭和四年六月二日号）

友愛と
解り合は
友の
無言なる

自毒

薬剤師　村田周魚氏筆（川崎きやり主幹）

祝　創刊35周年

富士の主要製品

日本薬局方
アミノピリン
日本薬局方
スルピリン
日本薬局方
ピラビタール
日本薬局方
ミグレニン
日本薬局方
アミノ安息香酸エチル
日本薬局方
塩酸プロカイン
日本薬局方
アンチピリン
国民医薬品集
パラアミノ安息香酸
国民医薬品集
ネオドリン（ハロ酸メチル・メフェドリン）
抗アレルギー剤
ネオドリンベース
抗アレルギー剤
ネオドリンS

富士薬品工業株式会社
東京都中央区日本橋本町四ノ十一・☎二四八八—カ
大阪市東区道修町二ノ五〇・☎五二二八—九
高槻市大工町二三・一一六〇

今年の冬の神経痛には

a

速効，安全なアミノプロピロン製剤

アミピロ

○アミピロの特長
1）手軽な……毎食後2錠ずつの内服療法で強力な鎮痛，消炎効果を発揮します。
2）安全な……錠剤はもちろん，注射も極めて安全で　副作用の心配がありません。
3）速効で……その効果の持続時間が長い。
神経痛，リウマチの患者のみならず腰痛，肩こり，生理痛など　あらゆる激しい痛みの解決に　アミピロを是非お奨め下さい。

一般用　10錠（270円）　20錠（500円）　入浴
医家向　注射（5cc）　顆粒　錠剤　（健保適用）

日本新薬株式会社　京都市南区西大路八条下ル

薬業時報沿革

大正十一年六月十二日 武田信一郎薬業時報社創立、本社は東京市神田区鎌倉町二十二番地、薬業時報月三回発行紙として創刊

大正十二年九月一日 関東大震災により本社全焼

二日 本社を東京市本郷区神明町五番地に移転

十五日 東京市神田区鎌倉町二十二番地に仮社屋落成復帰

昭和六年六月十日 大阪市東区島町二丁目一番地に大阪支局設置

昭和七年七月七日 第三種郵便物認可

昭和十一年二月二日 株式会社薬業時報社設立、資本金八万円、社長武田信一郎就任

七月二日 月三回発行を日刊に変更、社名を日刊薬業時報社、題号を日刊薬業時報に変更

昭和十八年二月十日 新聞統制令により休刊、株式会社薬業時報社解散

昭和二十一年十二月廿一日 薬業時報社再建、本社は東京都千代田区神田司町一丁目八番地、薬業時報週一回発行紙として復刊

昭和二十二年二月二十七日 第三種郵便物認可

昭和二十二年九月二十四日 社主武田信一郎死去、武田正三継承

昭和二十三年三月一日 本社を東京都千代田区神田猿楽町二丁目十五番地に移転

昭和二十三年十月二日 週一回発行を週二回発行に変更

昭和二十五年五月一日 大阪支局を大阪市東区道修町三丁目一番地に設置

昭和二十六年六月二十六日 組織を株式会社に変更、株式会社薬業時報社復活、資本金五十万円、社長武田正三就任

昭和三十二年九月一日 大阪支局を大阪市東区道修町三丁目十九番地に移転

The Yakugyo Jiho
(THE PHARMACEUTICAL JOURNAL)

薬業時報英文版 昭和五年十月ロンドンで開かれた国際麻薬製造国会議列席の各国代表に配送したもの、わが国からは松尾仁氏（当時内務技官）が列席、同氏の出発光景、わが国の意見などが記載されている

薬業時報社既刊書一覧

▽戦前の部

今野源治・鎮木勝夫著 第五改正日本薬局方註解
薬業時報社編 第五改正日本薬局方（正文）
松尾 仁著 薬事法規全書
同 薬剤師法註解
同 薬取締規則解説
同 薬剤師と健康保険制度
真保紀一記著 尿・血・液検査法
武田信一郎著 ポケット受験用薬剤商講本
同 薬種商試験問題解答集
薬業時報社編 薬種商受験用標本
鎮木勝夫著 海物劇物全書
南崎 雄七著 美容師受験問題解答集
栗原 愛塔著 薬剤師対応症状と薬物
同 安四郎著 漢方本草
安四郎著 売薬・処方全書
武田信一郎・山口友喜著 売薬部外品及化粧品
鎮木勝夫・保見吉光共著 製造発売要覧
武田信一郎 完薬製造発売要覧
薬業時報社編 薬学薬業質疑応答集
池田 清志著 薬局制度論（新薬事行政革新論）
岡田 正二著 小売薬店の合理的経営法
伊原 安四郎著 外塩における同片及び麻薬の概況
藤井美知男編 新薬分類便覧
遠藤良一郎著 化粧品製造販売法
同 香粧品製造販売法
大条 正雄著 特許と商標の取り方

▽戦後の部

今野源治著 五局準拠薬名集
薬業時報社編 薬剤受験用
同 麻薬処方箋
同 毒劇薬買受証
同 毒劇物買受証
同 小売薬店日誌
日本医薬品工業協会監修 医薬品新統制価格表
同 改訂医薬品統制価格表
同 改々訂医薬品統制価格表
全国中央・地方販売業者名簿 統制医薬品製造業者名簿
同 附統制品目別製造業者一覧
薬事法詳解
全国薬局名簿
麻薬取締法解説
松尾 仁著
薬業時報社編
信沢清・布施五郎共著

祝創刊35周年

ミズトリ印
純良医薬
永い経験 優れた技術

IWAKI SEIYAKU · MIZUTORI BRAND

局方医薬品・国民医薬品集医薬品
新薬新製剤・試薬

新中枢刺激剤（輸入医薬品）
ゲラジール
抗心室性期外収縮剤
エスフィリン注
（旧）ビタミンB_1剤
キリンビーワン散

非麻薬性鎮痛鎮咳剤
バルボリンA注
高単位ビタミンP_2剤
エーコン・B_2注
高単位ビタミンB_6剤
エーコン・B_6注

岩城製薬株式会社
東京都中央区日本橋本町4の1

アオイの特約品 正しい商品・正しい取引・正しい会社

ドイツ喘息薬	アストモリジン	3A 定価	350
		10A 〃	1,100
痔疾治療剤	ポステリザン	25g 〃	300
喘息原因治療剤	バスパート	5A 〃	3,000
凝血阻止剤	ヒルドイド軟膏	12g 〃	500
		36g 〃	1,300
強力止血剤	クラウデン注	2.5cc5A 〃	400
		10cc5A 〃	700
胃十二指腸潰瘍治療剤	グリックス	末100g 〃	620
		〃500g 〃	2,300
		注2×10 〃	300
		錠 30 〃	150
〃	ネオ・グリックス末	25g 〃	350
		100g 〃	1,300
		500g 〃	5,500
高蛋白完全栄養剤	アミノール	227g 〃	400
	アミコール	227g 〃	400
強力殺菌抗菌剤	アナンポール錠	12T 〃	100
〃	〃内用液	20cc3A 〃	150
湿潤性炎症性皮膚病薬	キクリウ	11g 〃	50
		25g 〃	100
		500g 〃	750
生体賦活亢進剤	パプラール注	1cc10A 〃	450
		5cc5A 〃	1,000
潰瘍治療剤	ヒスミン注	5cc10A 〃	700
高血圧・心臓疾患・喘息治療剤	カンファ・ア・レニン	20cc5A 〃	850
消化性潰瘍治療剤	マアグリン顆粒	25g 〃	520
		100g 〃	1,840
		500g 〃	8,000
新鎮痛解熱剤	パーム散	10g 〃	300
		25g 〃	650
		100g 〃	2,500
〃	〃注	2cc10A 〃	350
脂油コロイド静脈注射剤	ピオコール	1g5枚 〃	225
		2g5枚 〃	300
速効性解熱鎮痛剤	スパビリン錠	12T 〃	100
強壮剤（旧名ネオ・カロス）	ネオ・カロスシン	100粒 〃	350
四塩化エチレン駆虫剤	スキロロ	100錠 500球	
慢性胆嚢炎治療剤	国製ストミン	3¼オンス 〃	450
尿毒症腎臓炎治療剤	ネオ・ニスレトリ	2cc10A 〃	270
脳神経疾患治療剤	ネオ・ブスコリン	2cc10A 〃	300
高濃度コロイド状システン剤	ネオスチン	2cc10A 〃	250
		5cc10A 〃	400

東京都医薬品卸業協会員 **葵株式会社** 東京都中央区日本橋室町1の12 電話日本橋(24) 4717・4718番

時報の思い出

その頃の事

武田孝三郎

留学へ、筆者（大正12年）

薬業時報創刊三十五年という事で武田正三君（時報社長武田正三氏）が原稿を頼みに来た。さてその頃の事を書こうとして種々思い出して見る。

三十五年前というと大正十一年の事で、関東大震災の前の年に当るが、当時兄信一郎（教人・時報前社長）筆者の兄）は薬業週報の記者をしていた。薬業週報といえば当時飛ぶ鳥をも落すの勢いのあった業界紙で、一般雑誌に劣れていえば当時の「改造」とか「中央公論」とかいった程の格であった。社長は故善田鉄郎翁で、たいした人物であった。別にどうという学歴もなかったようにも思えなかったが、筆は立つし頭はよし、殊に話術に巧みな人で業界長老に就ても見識を有し、同氏が週一回筆を執る「週報論説」は官界でも業界でも大変尊重されたのであった。

様なしの強い近視眼鏡を掛け、何時も大島か何かの着流して、小物入れに信玄袋のようなものを持って歩いていた。そのデップリした赤ら顔が座に現われると何ともいえぬ雰囲気がかもし出され、何時の間にか筆の話術に酔わされて了うのであった。私は絶に通じるという調子であった。

そうした風潮下にあって、当時東大週報から離れて独立し時報を創刊するという事は、兄信一郎にとって大変な仕事であったに相違ない。今ではそんな事もあるまいが、当時としては社員が独立創刊するという事は大変驚に言えば一大反逆であった。

「当時薬業紙倶楽部」とかいった経存業界紙社長の俱楽部が東京にあって、善田氏が理事の人が無かったのかも知れない。

創刊前夜

何しろそうした大物の社長を持つ大週報から離れて独立創刊するという事は、兄信一郎にとって大変な仕事であったに相違ない。今ではそんな事もあるまいが、当時としては社員が独立創刊するという事は大変驚に言えば一大反逆であった。

「当時薬業紙倶楽部」とかいった経存業界紙社長の俱楽部が東京にあって、善田氏が理事の人が無かったのかも知れない。

創刊応援の人びと

学者方面では高木誠哉さん（前東大教授・当時東大助教授）とか故安本義久さん（元京城薬専校長、当時東京薬専教授）等が応援して下さった記憶がある。殊に物一方と思っていた緒方章教授がロマンチックな随筆を寄稿されたのも想い起す故藤田直市教授（東大生薬学）も種々お骨折下さったらしい。

官界では兄が長官衛生試験所に勤務の関係からか、西崎先生（故西崎弘太郎博士）元厚生庁長官）も色々になったらしいが、殊に当時内務技師として明らかに頭角を現わされた松尾仁さん（元厚生省薬務局長）は大変世話になったらしい。吉富英助さん（当人、元厚生省技師）も熱心に奔走されたらしい。

また当時警視庁に竹内という未だ若いが鼻つばしの強い技師（現製薬連専務理事竹内甲子二氏）が居て、後になり日増になり随分骨を折って呉れた。

業界では三共の専務であった吉田宗二郎さん（昨年三月で逝去された、今日のらしいものが生れて来る、三共を築いた偉い人であった）や友田の遠藤さん（故人）等に紹介になったし、先代の藤永さん（藤永薬品商会主）にも大変世話になったらしい。

今は亡くなられたが大日本製薬の東京支店長をして居た岡沢良次という人の名も挙げねばなるまい。鳥居の林四郎さんの名も随分耳にした。

中村雅の御先代には週報時代から出話になり、前社長の中村泰輔さんにも御厚態を頂いた様子である。

薬剤師会方面では不思議なる縁で——というのは、兄は東薬出身で、当時（ウソのような話だが）東薬と別薬とは寄ると触ると喧嘩して居た時代であったのである。

——製薬界の高僧勝次君が好意を寄せて呉れた。

勿論この他いろいろの方々に応援して頂いたのであって、その中は段々と記すべきであるが、例えば東京住友社長）の内藤さん（現エーザイ社長）には、格別面倒をかけたらしい。中川さん（元帝蚕務取締役）、鈴野茂さん（現帝蚕務取締役）、陸田さん等の事も忘れ難い。何れにしても面に書いた通り当時の大週報の社員の地位成勢力の絶大なる時勢下に、こうした人々が教然として首肯なる時報を応援して下さった記憶がある。堅物一方と思っていた緒方章教授がロマンチックな随筆を寄稿されたのも想い起す故藤田直市教授（東大生薬学）も種々お骨折下さったらしい。

勿論兄信一郎は週報の社員と相峰していたのであって——此の人の見信一郎と東薬が同級であったと聞いたが詳かにしない——（未完）——（日本ロレュ代表取締役）

時報創刊

創刊第一号が刷り上って長火鉢の前で愛妻君子（故人）に見せて居た兄信一郎の大喜びの姿は、今も忘れ得ない。社屋は神田錦倉町に移る前で、たしか芝田町であったと記憶する。勿論その後も兄は例によって大酔した。

週報から離れて独立した仕事ではないのであって、記者には一緒に週報に居た相田二郎君（現薬業タイムス社長）が随いて来た。後大蔵支局が開設されるに及んで東京民業部に居た青木英男（現グレラン製薬支配人）が支部長になった。

広告方面は太田という藤の赤い気さくな面白い人が担当して居た。（此の人は兄信一郎と東薬が同級であったと聞いたが詳かにしない）

つまり五大薬業新聞だが、六大薬業新聞だか忘れたが既成勢力が団結して他を大異なる結合と組織は現既今日の比ではない。そこへ新興なるものが生れて来る、旧勢力に不満を持って居ると強行かなくても、嫌らなく思っている人々が、これを精神的、物質的に応援した。新ういった事ではなかったらうか。

このように時報は既成の人々が種々変じて呉れた中で順調に発生したのであった。

その頃の社会

大正十一年二月国勢総調査の日本総財産が発表された。何と八百六十億円である。二月には世界大戦の終了を祝して東京上野に平和記念大博覧会が開催された。物の本には時勢後の好景気とあるが実際は戦後の好景気も既に終わり、反動の波が見えはじめた頃である。四月英国皇太子エールス親王入京、さて十月には監獄が刑務所と改称された、合点が出来たもこの年である

祝創刊35周年

白毛染…水で簡単に染る！
最も安全簡便を誇る新時代の白毛染完成！
従来の形式を捨り、誰れでも何処でも水だけで手軽に染められます。誇ある美しい黒髪はクロカミの使用により若さを永遠に保ちます。
60円で二ケ月もつ
クロカミ
全国薬店にあり　大阪道修町　河野薬品

頭痛に…ノーベル
〔効能〕頭痛、偏頭痛、頭部疲労、心臓病、眩暈、神経痛、のぼせ、のぼせ、不眠、疲労回復
〔包装〕1袋4錠内服、30袋1,300円
製造本部　三木製薬株式会社

新しい皮膚薬
あせも・虫さされ　じん麻しん
お子様に
キンダークリーム
東京・大阪・日本薬局

頭痛に
好評の
C・G・C処方
ドイツノルク社の薬事紀合
ハッキリ

国民医薬品集
葉酸
ACIDUM FOLICUM
浅野製薬株式会社
大阪市大正区泉尾松之町17
電話（55）1428番

需要のシーズンに入りました
平素の御勉売を厚く感謝申上ます
頭脳爽快剤
ノーソ
脳素
アジア製薬株式会社
東京神田錦山町　TEL（25）5880 7681
便秘に　妙通
高血圧 動脈硬化　海貴來
浄血と除毒に　フルチ錠

時報をめぐって

松尾仁

三十五年の興亡を顧みると、芭蕉でなくとも夏草を踏まずには居られない。第一次大戦に好期の波に乗った経済界も、大震災、続いて昭和初頭のパニックに二度の試練、頑くこれを乗り越えた十二年間を頂点として、大東亜戦の前奏曲である軍部統制が始った。実に重なる波瀾の中でも最大な出来事は、大東亜戦の戦果であった。百戦不敗を誇ったゆえ国民の興奮が一段落に陥れ、一将功ならずして万骨枯れたんだ。ありたまらない。趨勢は四日を煽ぎ返えしかねなかった人々も徒らに惰性生活に到達族の名を止めるに至って、世の中は万事更始一新したのである。

薬業界も例多分には漏れなかった。第一次大戦の影響による薬品の輸入途絶は、製薬業を力強いものにして、間屋の減信に暗い影がさして来たが、東京を低払った大震災はその力を一層小さなものとする転機となったことは疑いない。更に輸を掛けたものは統制時代である。而もその次に来た戦時下のインフレは、問業一年の大震災は大打撃であったに違いないが、灰土の中から立上った彼れは、間も無く多くの先輩を凌駕して目刊紙に迄のぼっていった。しかし、好事魔多しとか、軍部が企図した統制国家の体制は、業界紙全般の休刊を余儀なくさせたのである。この時代こそ業界紙にとっては最悪の時代であった。戦争の終了は刊行の自由が許されたが、再刊の意慾を発揮しようとしたのは、殆んど、旅い中に、敢然時報の再出発を実行したのは、新聞に対する異常な熱意を示したものである。現に刊行されている業界紙が戦後の新しい出発か、経営者を全く変えているかのどちらかであることを想えば、業界紙も亦他に劣らざる興亡の跡を留っているものと言えよう。

時報と筆者との関係は、実は武田信一郎君と筆者との個人関係に始まる。筆者が彼れを知ったのは大正三年頃で、未だ学生時代のことである。丹羽先生の許に出入した筆者は、先生の許に出入りする彼れと、何時の間にか無駄話をするようになった。筆者としては新聞記者というものを知った一番最初の人である。大正七年内務省に這入った筆者は、殆んど毎日顔を合せるようになった。時報発刊後はその発展策の一つだった単行本の刊行に執筆したりして、交情は極めて薄々ではあるが深まって行ったのである。だが決して盛衰の友ではなかったことは、その死に逢う迄三十年の交友でありながら、二人だけで酒盛に出入したことは一度もなかったという一事で万事判ると思う。

統制の産物、全業業紙を殺つて一紙とするということになったとき、彼れがその経営参画に奮々ならぬ熱意があることを、筆者は恰々日君の葬式の帰り途歩きながらの話で知った。このことを当時の主宰者に推輓したのであるが、結果は彼れが他日の再起に用意していたものの全てを失わせることとなって、心裏的に大きな負債を筆者は負うことになった。若し時報の再刊後その道路に、筆者の関心が幾分でも払われたことがあるとすれば、それはその時の借金の返済であり、一自分は随分苦曝通く、やらない人は殆んど無いのだが、君とは奇妙に一度もやらなかったなあ」という彼れの嘆声の言葉に触いる彼れの死後十年の今日でも持ち続けている思を見ると、恐らく筆者が死ぬ迄続くことだろう。（薬剤師試験審議会長）

創刊当時

鈴木誠太郎

時報紙が発刊された翌年大正十二年から十三年にかけて約一年半ばかりの間、私は同紙の記者生活をしたことがあった。短かい期間ではあったが多感な青年時代の一齣であり我が青春の想い出の記の一部でもある訳だ。"株に関東大震災を中心に挟み、創業間もない時報紙は本社焼失の冠にあい存亡の危機に直面した"主幸時の貴一郎氏は今施行になった武田信一郎氏は却つてこの悲境を逆用して時報紙の基礎を磐石としてしまった。"その苦心を語ることも三十年以上経ったが、私は同紙の記者であつた頃、私は時報紙の記者生活を忘れないと思う。

時報社と私

私が貴一郎氏を知ったのは学校の先輩として大正九年卒業後すでであった。それから亡くなられる迄約三十年近く、なにかと知遇を得ていた。現社長武田正三氏夫人が信一郎氏の一粒種として生まれた頃であり美しいお母さん似の可愛い赤ちゃんが、人出入の多い家庭で育かう、祝福されながら成長されておられた。当時の貴一郎氏は今施行になった武田信一郎氏は却つてこの悲境を逆用して時報紙の基礎を磐石としてしまった。"

を編れていた。大正十一年頃しく遊興の記者であつた現タイムス社長和田二郎氏を同志として、乗業時報氏を創立した。商気の強い信一郎氏とはやがて袂を分つて来た。"先輩今井源四郎氏の盛習にならい、静かに渡独の想を練っていた。渡独費留学費で一万円ばかりはどうしても入るので、その費用稼ぎに三年間業界を開き固を売つてと計算を立てていた。

信一郎氏御令弟の現日本ロシュ社長孝三郎氏の廣州留学の旅立ちを東京駅に見送つたとき、和田氏の後援に入社の勧誘があり、しばらく考えさせて貰ったが、"当時日本に生産されなかつた試薬類の合成を、リニノーやリヒトー首引きでやり、"日本メルクの使用書気取りであつた"夜はドイツ語専修学校へ通い、どうやらイプセンやストリンドベルクの粋い読みまで行つたし、ベリヒトやアンチーレもどうやら引けるようにもなって、一人前の薬剤師になった気がし出した頃、彼れは、"株に関東大震災を中心に挟み、創業間もない時報紙は本社焼失の冠にあい存亡の危機に直面した"主幸時の貴一郎氏は今施行になった武田信一郎氏は却つてこの悲境を逆用して時報紙の基礎を磐石としてしまった。"

創刊当時の時報社

第一次大戦の終った後で、物資をつかわないで出来る事業を始めようと、"株に関東大震災を中心に挟み、創業間もない時報紙は本社焼失の冠にあい存亡の危機に直面した"主幸時の貴一郎氏は今施行になった武田信一郎氏は却つてこの悲境を逆用して時報紙の基礎を磐石としてしまった。"

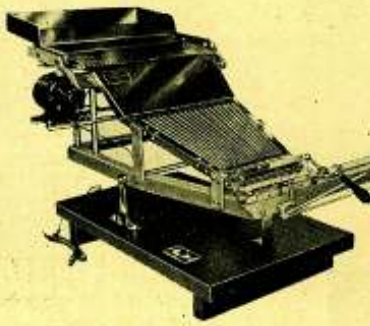
祝創刊35周年

目黒が誇る3大製品！

一台で他機の数台に勝る高性能....

弊社独創に成る 特許M.R-Tロータリー式錠剤機 特許M.Y-P自動包装機(各種)

特許M.Y-G計算機(各種)は、その優秀性を広く買われ、日本全国の著名一流会社、製菓会社、大病院はもとより、遠く海外へも輸出し絶讃を博しております。



M.Y—G計算機No.1（横詰式）

M.Y—P自動包装機No.4—B（粉末用）

M.R—Tロータリ式錠剤機

目黒薬品機械株式会社　東京都目黒区唐ケ崎617番地　電話(78)5316番

木曽恒、㊥三浦十八公の諸氏、記者としては①現日興と鍔と鍔という言葉があり、業界紙の一番に出た社の記事主幹佐々木次郎②現日興川島隆郎③川崎の村田製薬等の諸氏が一緒で活躍していた。当時は五社でも多過ぎる、何んとか整理は出来ないか、と本町筋でも常に話題になっていた。その点は今も昔も変りはない。このとき暴れんぼうの信一郎氏が時機を発刊したので、同業紙界でも相当衝撃を受けた。同氏を支持する人々も多くあったが、なかには三号紙で終るであろう、広告が集まるものか、長続きはしないだろう、と蔭口は随分きかれたものであった。

業界往日のうちに第一号からチンと旬刊され、斯界内容も充実されて、心配された三号紙にも終らず社業も進んで行ったが、社の経済は火の車であった。金の繰り廻しは実に上手なものであり、今でもそう考えなっている。信一郎氏としては常に進は業界新聞経営者本便な頃とて、随分無理なとしては第一人者であると業績していただけあって、催進機関の責任自覚、発行日の厳守、客観的視材、足で書く崩落、人事問題の人権尊重、新人紹出し紹介、広告掲載の事務承認の能禁、購読料徴集主義等今の時代の新聞の要綱をそのまま実践した。

頑張の回転たら、同志の一人が折しも極めて迅速に、もの国会分業者議を傍聴し、奮憤興奮して帰って来た、星井やれ、と全員のるところが、その時はそれが自分達の義務だと思った。今はもう勉強専一で定例の研究会を持ち、これ一重、日本橋万歳と荒野と変っている。青年薬剤師会の全国組織化にもあまり無がない。青年行動隊の初代会長に推されて、分業斗争を戦ったが、本来は青年薬剤部たるもの、勉強がなにより肝心、という主張で、同期やったが、「戦後混乱の中で青年薬剤師会を作り、勉強をしていない。井舌も赤熱りである。正しいと信じたらそういう信念で、それを迅速に爽やかにやるものだから、とかく。切れ過ぎる。結果となる。ボスは、連中は嫌がられる所以である。

望月正作

35才

行に移していた。当時は鍔と鍔という言葉があり、業界紙の一番に出た社の記事を切抜きその例転載したり広告主と主だった業界人に送るだけで新聞と称していたものもあっただけ、言屑的な経営であったわけである。"白眼視していた他社の連絡に関し質す暴井をすましたのが、十一時半頃であった。外神田の日薬事務所に丹羽会長を訪ねる予定で神田橋の上までくると、天堂が鳴動する大地震に出遭ってしまった。市電の架線他の被害を導ね廻り、立退先を調べ、又会う人毎に業界人の消息を聞き、数日なら ずして業界人の立退先、又種災状況の大体の一覧表が出来上がった。"五三基の仕末で、素人の達筆者に仮下を書いて貰い、本数を仕末で、素人の達筆者に残っているのが管沢、三羽氏等は三年生在学中、教室は実に気分のよいものであり、現九大薬学部長の東本助手が帝大オーケストラの指揮者であった関係で、伴奏の好きであった私はその頃よく招待された。

当時の薬務行政は内務省の所属であり衛生局で今の厚生省のやっている仕事の殆んどをやっていた。大臣が後藤新平、衛生局長橋山虎男、医務課長大達茂雄の諸氏、薬剤課の技師に船尾仁先生がおられた。医師は西崎弘太郎博士が所長で金広、武田橋助等の地方の知名人の名が頭に浮ぶ。一方創一郎氏は厳格、手抜等つも少くも出来ないまま、あたりの様子を見ていたが見通しの利くとこであっただけ家の無謀なる順序などが判り後学のために、なった。小康を待ったので本走の仕末で、素人の達筆者に仮下を書いて貰い、本数を作り、印刷所も臨時に焼け残ったところに無理に連絡をつけ、復興第一号は業界人の罹災状況、立退先の報道特とし臨使復活とともに業界トップ号として発送し非常に好評を博した。

私の仕事は部刷の外に始終の各方面から諸送名簿の作製を借り集め諸送名簿の作製をした。今でも自分で書いた名前で黒田出太郎、黒沢喜、梁健の諸課の地方の薬務局の行政をしていた。大達課長と第一回は会広の自屋話をよく拝聴した。薬用植物部長菊沢米光、木村雄四郎、若林氏等が技手、舞鶴課長が村山現東薬学長、青山新次郎氏が技師、前原大蔵司教授も一技師として勤務しておられた。

想出を書きつづればきりがないが、兎に角、当時最新鋭であった特報紙が現在最古参紙となり、三十五周年記念号を発刊することは同社には回顧たい限りである。

現社長は新聞業で育った人でないにも拘らず、今日の時機に乗を上げ、父子二代の努力が三十五周年を迎えられた今日の喜びを得ることなった。心からお祝いを送り、「戦後混乱の中で青年薬剤師会を作り、勉強をしていた。当時は鍔と鍔という言葉があり、業界紙の一番に出た社の記事を切抜きその例転載したり広告主と主だった業界人に送るだけで新聞と称していたものもあっただけ、言屑的な経営であったわけである。"白眼視していた他社の連絡に関し質す暴井をすましたのが、十一時半頃であった。外神田の日薬事務所に丹羽会長を訪ねる予定で神田橋の上までくると、天堂が鳴動する大地震に出遭ってしまった。市電の架線他の被害を導ね廻り、立退先を調べ、又会う人毎に業界人の消息を聞き、数日なら ずして業界人の立退先、又種災状況の大体の一覧表が出来上がった。"五三基

大正八年正月薬業週報記者時代の前社長（前列左端）右へ小池利兵衛、菱田静古薬業週報社長、水島新太郎、大久保三郎、後列右から菱田精文（現薬業タイムス）、登内森一（現東薬会）、郷坂本輔、木村住市の諸氏

前社長　故武田信一郎氏

昭和初期の業界紙記者大会風景……挨拶する小池氏（薬業時論社長）、左列手前から三人目が前社長

昭和十一年医薬分業達成決議をした業界紙代表…前列左から吉川（薬業の友）、浜部（東京薬業）、三浦（薬石日報）、三輪（薬日新報）、小池（薬業時論）、武田前社長、楢木（東京薬事新報）、菱田（薬業週報）、後列左から小林（薬業週報）、吉市（薬石日報）、川島（薬日新報）、山口（本社）、岸田（東京薬事）、村田（薬業の友）の諸氏

昭和十三年北支薬業視察派遣記者山口友喜氏（中央）出発の東京新聞記念撮影、右から三人目が前社長

祝創刊35周年

三共株式会社大阪支店
常務取締役支店長　寺田良之助
大阪市東区道修町一丁目二〇番地
電話北浜(23)〇一八五—七番

第一製薬株式会社大阪支店
支店長　西田貞治
大阪市東区道修町二丁目
電話北浜(23)二五五—二五七・二五四(倉庫専用)

中外製薬株式会社大阪支店
常務取締役支店長　西村一
大阪市東区淡路町一丁目二四番地
電話北浜(23)七二七二番

萬有製薬株式会社大阪支店
取締役支店長　本間吉彦
大阪市東区道修町一丁目二〇ノ五
電話北浜(23)二五四—六・七〇五八・九八四〇五
本社　東京都中央区日本橋本町二ノ七

エーザイ株式會社大阪支店
取締役大阪支店長　松谷敏雄
大阪市東区道修町二丁目三〇
電話北浜(23)二七九二—四番
本社　東京都文京区竹早町八八番地

三十五年（大正十一

昭和十八年	日本完薬配給統制KK設立（二月）、薬事法公布（三月）、医薬品製造業構要綱を定む（八月）、医薬品配給機構整備要綱及び小売業業態要綱を定む（十月）	イタリア無条件降伏（九月）
昭和十九年	医薬品統制KK設立（一月）、家庭薬統制組合設立（三月）、家庭処方整理実施要綱を定む（八月）	米軍サイパン島上陸（六月）
昭和二十年	医薬品配給統制品三三五品目に達す（三月）	ポツダム宣言受諾（八月）
昭和二十一年	麻薬取締規定制定（六月）、ペニシリン国産本格化（七月）、日本医薬品統制（生産・配給）KK解散（八月）	物価統制令公布（三月）、日本国憲法公布（十一月）
昭和二十二年	医薬品等配給規則施行（十一月）、毒劇物取締法、医薬部外品等取締法公布（十二月）	独禁法公布（四月）、第一回国会開会（六月）
昭和二十三年	中販及び地販登録（一月）、現薬事法公布（七月）、薬務局設置（七月）、麻薬取締法制定（七月）、国民医薬品集公布（九月）、製薬団体連合会設立（十月）、第一回日本薬学大会開催（十月）	経済安定九原則発表（九月）
昭和二十四年	大阪大学閉鎖薬専発足（四月）、第一回薬剤師国家試験実施（五月）、米国薬剤師協会使節団報告書発表（九月）、特定医薬品検定規則制定（九月）、差益金問題解決（十月）	一ドル三六〇円レート決定（四月）
昭和二十五年	九州大学に薬学科設置（四月）、臨時診療報酬調査会及び臨時医薬制度調査会設置（八月）、現日本薬剤師協会正式設立（八月）、現毒劇物取締法制定（十二月）	朝鮮動乱（六月）
昭和二十六年	第六改正日本薬局方制定（三月）、医薬分業法公布（六月）、覚醒剤取締法公布（六月）	サンフランシスコ講和条約調印（九月）
昭和二十七年	医薬品価格統制終る（二月）、医薬品配給統制終る（三月）	GHQ廃止（四月）
昭和二十八年	現麻薬取締法公布（三月）、日本医薬品等輸出組合発足（七月）	朝鮮休戦協定調印（七月）
昭和二十九年	あへん法公布（四月）、北海道大学に薬学科設置（四月）、日本医薬品製業連合会創立（十一月）、医薬分業延期法公布（十二月）	MSA協定調印（三月）
昭和三十年	七人委員会健保財政対策を答申（十月）	大豊作（十月）
昭和三十一年	医薬分業実施（四月）	国連加盟（十二月）
昭和三十二年	厚生省新診療報酬算定方式を提示（八月）	東海村原子炉完成（九月）、ソ連人工衛星打上げ（十月）

お客様に喜ばれた

疲れすぎたためか、毎日毎日何かに追つかけられる様な気持でイライラし、自信が無く仕事の能率が上らず困つていると云うお客様です。

「ホルモン剤やビタミン剤もさることながら、神経が疲れておられるのですからアトラキシンを一週間位お続けになつて見ては——」と説明し、とりあえず一日服用分としてアトラキシンのサンプルを差し上げたところ、翌日には早速三〇錠をお買い求めになりました。

そのお客様は、アトラキシン一瓶ですつかり落ちつきを取戻し、今では元気に御活躍中です。

肩こりのお客様に

毎日の様に貼り薬をお買い求めのお客様に「のんで肩こりのとれるお薬が出来ました。アトラキシンをおのみになると、気分が和らぎ夜もグスリねむれて、肩のこり、腰の痛みも忘れたようにとれます。如何でしようか貼り薬と一緒に試してごらんになつては——」と申しそえてさし上げたアトラキシンのサンプルが機縁となつて一人の新しいアトラキシン党を得られました。

——その他、ビタミン剤、ホルモン剤、強肝剤、鎮痛剤等をお求めのお客様と色々お話している中に、アトラキシンの適応客であることが分り、新しいアトラキシン党を次々と得られた実例が沢山報告されています。

（一〇〇錠）十錠　二〇〇円　三〇錠　四五〇円
（五〇〇錠大瓶）　三〇錠　一〇〇錠

薬事年譜（昭和三十二年）

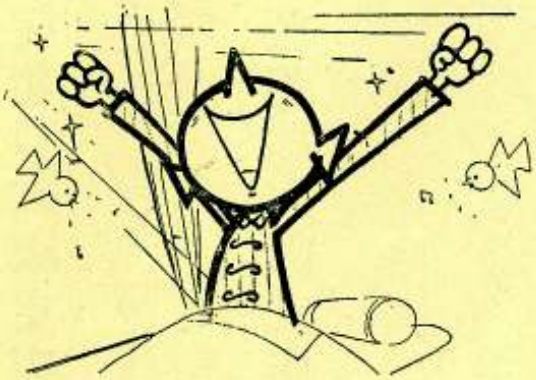
年次	薬事	一般
大正十一年	健保法公布（四月）、東京衛生試験所に薬用植物栽培試験部新設	ワシントン条約調印（二月）
	薬業時報創刊（六月）	
大正十二年	法定日本医師会設立（十一月）	関東大震災（九月一日）
大正十三年	薬剤卸及び薬品法の政府案成る	メートル法実施（七月）
大正十四年	薬剤師法公布（四月）	JOAK初放送（三月）
大正十五年	売薬印紙税廃止（三月）、日本薬学会四十六回総会及び学術講演を大連で開催（四月）、公法人日本薬剤卸会設立（十月）、医薬品輸入年間三千九百五十万円に達する	明治会神宮体育大会開催（十月） 大正天皇崩御（十二月）
昭和二年	健保法全面施行（一月）	金融大恐慌（四月）
昭和三年	花柳病予防法施行により花柳病の売薬は成分分量表示を規定される（九月）	第一回普通選挙（二月）、ペニシリン発見（英国）
昭和四年	薬剤師試験事務を文部省より内務省に移管（四月）	浜口緊縮政策で物価下落
昭和五年	麻薬取締規則制定（五月）、内務省に薬業組合協議会設置（十一月） 第一版日本薬局方刊行	労働争議続出
昭和六年	医薬分業実施請願衆院本会議採択（三月）	満州事変起る（九月）
昭和七年	第五改正日本薬局方制定（六月）、売薬部外品取締規則制定（七月）、医薬品製造研究奨励金交付規則制定	五・一五事件、満州国承認（九月）
昭和八年	処方箋交付規定制定（九月）	国際連盟脱退（三月）
昭和九年	国産新薬生産・品種急速に外国新薬を凌駕す	東北地方冷害調作
昭和十年	日本薬局法調査会官制を改正（九月）	スルファミン合成（独逸）
昭和十一年	化学・染料工業会社医薬品製造へ盛んに進出	二・二六事件
昭和十二年	スルファミン国産（五月）、代用国産医薬品の使用を奨励（十月）	支那事変勃発（七月）
昭和十三年	厚生省設置（一月）、全日本薬種連盟発足（四月）、国保法公布（四月）、日本医薬品輸入統制会創立（九月）、全国医薬品原料配給統制会設立（十二月）	国家総動員法施行（九月）
昭和十四年	京都帝国大学に薬学科設置（四月）、ヒマシ油・ヨードカリ自治統制となる（十二月）	第二次世界大戦（九月）、価格等統制令施行（十月）
昭和十五年	西澤及び東部医薬品中央配給統制組合創立（五月）	紀元二千六百年記念式典を挙行（十一月）
昭和十六年	日本医薬品生産統制KK、日本医薬品配給統制KK設立（七月）	太平洋戦争（十二月）

第一製薬
東京・日本橋

経安定剤・トランキライザー

アトラキシンの上手なすすめ方

不眠症のお客様に



習慣性を気にしながら、つい催眠剤を常用していると云うお客様に「今評判のアトラキシンをお試しになりませんか？　催眠剤の様に強制的にねむらせるのではなく、気分が和らぐので様く自然にねむれると云う話題の新薬です。安全なお薬ですから、長い間使っても心配はいりませんし、目覚めた時の爽快さが実に素晴らしいお薬です」とお話しておすすめしたところ、鎮静、アトラキシンの愛用者となられ、今では、アトラキシンの服用を忘れがちになる位であると大変感謝されたケースがあります。

ノイローゼ
不安緊張症のお客様に

座談会　大正から昭和へ

岩城さん嫁貰う
本町・震災前は太平

司会　開眼に、御協力させていただきます、おかげ様で私どももどうやら創立三十五周年を迎えさせていただくことになりました、これ偏えに皆様方に可愛がっていただきましたおかげと衷心より感謝申上げます、就きましては、これを記念する三十五周年記念号をまとめて見ようと思いまして、その中に載せさせていただく一つのテーマとして、時報が創刊致しました大正十一年、その当時をかえりみんだ昔物語を諸先生方に語っていただきまして、紙上を飾らしていただきたく思います

当時をかえりみて見ますと、矢張り問屋さんが大きな勢力でありました、特に関東の方々にお飾りを願いをしたわけで、どうぞよろしくお願いいたします

さて大正十一年、丁度大震災の前の年でございますが、当時貴様方はどうお過しなっておられましたか、その頃から承りたいと思います……

会頭　震災ですっかり変ってしまいました、それまでは、まあ、殆んど……、僕らも大正六年に来たんだが、六年に来ても、三年に来ても、震災までは、殆んど変らなかったんじゃないんですか

杉野　震災でガランとして、私たちの場所の東京田辺と、三宮から今の家町の通りのところの三共が丁度出来上りかけていた……

マルボチの倉庫というのが家町の三共のところにあった、薬をとりに行ったのを憶えていますよ

大滝　東京製薬といったんじゃないですか

杉野　そう、東京製薬といった、明治正吉さんがやっていた

大滝　それからマルボチの全部を鳥居が買収って、それを小分場に使っていた僕らが小僧に来た時分、鳥居の小分場というのは、そのマルボチのあとだと思うんだ

杉野　三共の家町の建物は、関東大震災のとき出来上った、それですっかり移ろうとしてまだ受渡しが出来ない中に焼けたんですね、日通の裏の入口辺りに、塩原合名がありました

大滝　三共は大体茅場町にいたんですよ、三共商店といって……、それから合名会社になって……

私が大正六年頃来たときには、あそこはまだ西洋館だった、一階建の……

司会　今の大きな店は大体菱らないのですか、その頃の各社の位置は大体どんなだったんですか

大槻　吉いお店は変りませんね、ただ今の東京田辺さんのとなりに林屋があった、木村とかいう……

大滝　大羽さんに岩城さんは私の小僧時代には今の小松原さんのあそこ辺にあった

大槻　岩城さんはあそこで御嫁さんを貰った（笑）

大滝　そう、僕らが来たときは、岩城さんはまだ独一人だったんだ

大槻　石川さんていう家から嫁が来た

大滝　それから国産化学というのが、もっと浦東通に近いところにありましたね、たしか山口銀行があって、頼さんという医者があって、それから国産化学、カネイチン、小松原さんのとこも角店じゃなかった

杉野　あれは十間店とかいって、電車通りから入ると角に郵便局があって、ずうっと続くなってましたね

大滝　シコーカ屋とかいう本屋があって、田月とかいう菓子屋があって……

大槻　あれは今九段でやってるそうですね

大滝　田月の隣りが大羽さんだ、高田製材所というのがありましたね

大槻　大野という大きな薬屋……

大滝　その隣りに小林片園油だ、片園油やさんに小分けしてたんですね、それから魚屋、柴田などがあった

大滝　石山さんというのはその前じゃないですか

林　いいやその後です、私は震災のことは直接は存じ上げないのですが、当時地方筋では四国、九州、山陰、山陽、北陸、名古屋辺までしか荒野的な出張はしなかった、従って東京も支店にはなっていたが、それはその当時、薬律の関係上支店にしなければマズイことだったんで、東京に四、五軒の得意がおっただけでしたそれ以外、関東以北には直接のお得意というのはなかったんです、関東以北の方は震災のとき随分大変へ見えましたが……

大滝　丁度その時、私が地方筋をやっていたんです

司会　当時東京にはちょくちょくお出でになったんですか

林　いや震災前は参りません、十三年三月に初めて参りまして……、焼跡は見ました

杉野　大正十三年に林さんは東京詰になったんですか

林　いいえ、あちらからちょいちょい地方出張をやらされまして……、年に二回ほど……

杉野　東京店は何時頃ですか

のとき地震がやってきたわけです、大阪でも電線がだいぶブラ〜〜揺れた位でした、引続いて二年ほど経って今の建物の最初のやつが出来たんです

司会　その時、塩野義さんは東京に出張所があったんですか

林　いやもう支店になっておりました、大正七年に出張所が出来まして、西地さんが当時からおられたわけです……

大滝　石山さんというのは

林　震災のことは直接は存じ上げないのですが、当時地方筋では四国、九州、山陰、山陽、北陸、名古屋辺までしか荒野的な出張はしなかった、従って東京も支店にはなっていたが、それはその当時、薬律の関係上支店にしなければマズイことだったんで、東京に四、五軒の得意がおっただけでした

それ以外、関東以北には直接のお得意というのはなかったんです、関東以北の方は震災のとき随分大変へ見えましたが……

丁度その時、私が地方筋をやっていたんです

司会　当時東京にはちょくちょくお出でになったんですか

林　いや震災前は参りません、十三年三月に初めて参りまして……、焼跡は見ました

杉野　大正十三年に林さんは東京詰になったんですか

林　いいえ、あちらからちょいちょい地方出張をやらされまして……、年に二回ほど……

杉野　東京店は何時頃ですか

大阪側　関東に進出
震災後支店を拡充

司会　大震災では本町一帯焼つたんじゃないんですか

一同　全部やられた

大滝　鳥居もこれから建築しようというところで焼瓦だけ残った

大槻　その時残った中でね鳥居さんの倉庫には大したものは入ってなかったんだ（笑）

大滝　大したものないってあの倉庫にはハタキやホウキや何かが入っていたんだ（笑）

大槻　大したものといえば中竜さんの方が大したものが入っていた……、あのとき私らは泥を踏つて倉のメバリに行ったものですよ

司会　林さん、当時は勿論大阪でございますね

林　勿論大阪なんですが……、で、当時私は地方への出張が多うございまして、震災の時は丁度亜野義の方の旦那さんのところに谷山さんという方ちょくちょくありまして、そこを拝借致しまして、丁度引越していた最中でした、そこ

出席者
杉野茂氏　東京田辺製薬常務
林映二氏　林薬品社長
大滝賢一氏　菱株式会社社長
大槻金次氏　大槻商店社長

祝創刊35周年

鳥居薬品株式会社大阪支店
大阪市東区平野町一丁目四番地
電話北浜23〇五八三・〇五八四代表〇五八二
受信略号キタハマトリイヤクヒン・振替口座大阪三五番

シッカロール発売元
和光堂株式会社大阪支店
支店長　植垣光雄
大阪市東区道修町二丁目二〇番地
電話北浜(23)二八七一・二八七二
本社工場出張所
東京都千代田区神田錦町二丁目一二番地
東京都北豊島市野町二八四一番地
福岡市藤本町二五番地

日本新薬株式会社大阪支店
常務取締役支店長　谷川慶次郎
大阪市東区道修町二丁目一三番地
電話北浜(23)八九四一・八九四二
本社
福岡県出張所
福岡市中京区大手町四丁目三八ノ一番地

株式会社小城忠治商店
代表者　小城忠治
大阪市東区道修町三丁目五番地
電話北浜(23)八〇三代表)八〇四・八〇五

コータミン製造元
伊藤由製薬合資会社
大阪市東区道修町三丁目

林　東京店は昭和九年ですね

司会　震災を契機に大阪の勢力が東京へ伸びて来たんですね

林　まあそうですね、大正十一年、十二年頃は地方特に東北、北海道にまで視察に行って、そういうことを基本にして、私がその後ほんとの取引をつけに出て来たのが十三年三月でした

大槻　塩野義の取引はたしか中村薬でやっていたんじゃないですか

林　震災のときには中薬さんはじめ、G・S会というのが出来ましてね、塩野さんとかいう島屋の人がリーダーになって……

司会　震災前に支店というものはあったんですか

杉野　田辺、小西新兵衛――これは今の武田ですがね

大滝　それから塩野義さん

の二、三品買うのにもせ
り帳を使った、自分とこ
で間に合わぬものだけ全
部このせりで買ったわけ
です
ま、すべてオーダーで仕
事をやっていた、商品切
手というのがありまして
ね、例えば三共なら三共
のアルコール五〇本と書
いてある、それで売買を
やるわけです
林　一種の商品券ですね
杉野　吉本単位だった
大阪では、私の記憶で
はそういうことはなかっ
たですね、特売のとき契
約と同時にそういうもの

支拂はきちつと
集金廻りなど皆無

大滝　昔は少し大きな組内
には直ぐ仲買というが立
ちましたね
杉野　東京は組友会に十五
六人いましたよ
林　大阪は住吉附近にいま
してね、こちらの組友会
から会員の人が契約に来
られるのを初めて見たこ
とがありますよ、大阪は
メーカー直接にやってま
して住吉は新薬には係関
係でした
杉野　それと、今でいう系
列というのがありました
ね、東京というわけじゃ

ないんですが……
大滝　得意の店があったわ
けで
杉野　昔には内藤君という
のがいましたよ、それか
ら市川、御者原なんてい
うのが先輩格だった
大滝　三共もやってたでし
ょう
杉野　内藤、田中、染谷な
どがやっていた、小さな
商いでも三人はやってま
したね、三人それぞれに
註文しなきゃならなかっ
た
大滝　そうなんだ、顔で押

かもらつたことはありま
すがね
大槻　東京はその点厳しく
てね、オーダーもつて売
りに来たものですよ、し
かし非常に便利だったと
思いますね
杉野　ガレス製薬とか、
アルコールがそうでした
ね、最初そうだったのが
そのうち伝票になりまし
たね、一番はじめは金融
の関係であなったんで
すよ
大滝　つまり先売りですな
杉野　たしか珍重がそうだ
つたですね

35才

酒、タバコ
番、マーコ
ヤン何でも
タッチする方が良心的に
道をやった
割りなき良き薬品を作り
得るのである、わが社で
は私も営業も会計も薬剤
師である」と言う、みん
な数学的頭があるので別
に経営上不
便は感じな
い、と。
目下は時代
の進歩に遅
れない優秀
な製品を作るため、日々
研究精励中、と若き社長
は語られる。
大正十一年三月二十九日
生、自宅は大阪府南河内
郡高井田村、小学四
年の女子、三年の男子の
父、（米田薬品社長）

体験は豊々、奈良県の産
業奨励中、鐘淵高工製薬科
を終戦直前に出て武田
薬品新光堂に入社、十九
年五月になつ
たが二十一年
今度は武田の
工場に復帰、
二十二年武田
を退社、その
後一年余セカリ製薬に勤
務。さてこれで化学の方
も、中小企業経営の方も
一応勉強が出来たという
ので、二十三年十月に米
田薬品を設立、社長とな
つた後、社運益々隆盛、
来年九月には十周年を迎
えるに至つた。

米田傳一

決済・東西の相異
親切だった薬局さん

司会　当時の薬局廻りでの
思い出は何かありません
か
大槻　ま、当時は薬局さん
がとても親切でしたね、
こちらから行く前に紙に
書いておいたものを出し
て、註文はこれ〳〵だと
いつてくれる、時間が食
事時などは、「世所へ廻
つてメシでも殺つて行
け」つて、それは昔の薬
局はおだやかなもんでし
たよ
林　二十から二十二、三位
の若い頃は地方のお得意
へ何つても集金はなく、
全部現金でしてくれたです
からね、そしてこちらが

しつけられた
林　東京も大阪もせりもの
は同じでございました、
仲買商業組合発行のせ
り帳もつてやつたんです
よ、当時塩野その他もあ
らゆるものを売るという
のではなく、扱う品目も
僅かでございまして、大
半が切方品です、市内も
薬局直接にはやらなかつ
た、ただ地方は薬局の大
きいところは直接廻つて
いました、註文のあつた
ものは自分のところのも
のばかりでなくガレスス
や試薬、工業薬品まで揃
えたものです、特にガレ
ス製薬の取扱いが多かつ
た、アルコール、シロー
プが可成り大きなウエ
イトを占めていた、大阪
には所謂ご三家というの
がありまして、このご三
家なども自分のところで
製造している局方品あり
バルクで買つたものを小
分けして、自分の封紙を
つけて売っているものあ
りで、あらゆるものをや
つていた、係は地方係と
市内係に分れていました
大滝　島屋も仲間と地方だ
けだつたですね、時には
つ星ブランデーまで註文
が来て取次ぎをしたもの
で、問業組合の帳面で
買つて……、市川支部長量
まで入つていましたから

ね、せり帳をもつて買つ
てきたものですよ
杉野　大和屋もそうでした
ね
大滝　ウイスキーと缶詰を
銀座で買つて……（笑）
店の奥の方で……よくや
つたものですよ（笑）
それからね、仲買代金は
支払日にちゃんと向うか
ら持つて来たもんですよ
今と全然ちがう、まし
て手形なんていうものは絶
対になかつた
大槻　音はちゃんとしてい
たものですよ、今じゃこ
つちから持つて行くとか
えつて変に思われる……
（笑）、思いとこで三十
日〆の五日払だった

「今の人のやつていることは大変ですね、いつも回収を念頭におき、軒数も多く……」と回顧する林さん（右）

とは大変ですね、いつも
回収を念頭におき、軒数
も多く、手形の心配をし
なくてはならね、昔は手
形など全然なく、世の中
ものんびりしていました
ね
大滝　地方を廻る人という
のは、今から考えると、
ほんとにその店を代表し
ていたものですよ、少し
左前になりかけている家
だが、どうしてやろう、
とかいう風に自分の採量
で商売をやつてゆくこと
が出来た、今の人より向
うの内情を知つていまし
たね、この店は危いとか
何とかすぐ判るようにな
つていた……
林　大体店と奥がくつつい
ていた、昼ご飯一つにし
ても奥でいただく、家族
お目にかかつて話をする
機会が非常に沢山ありま
した、それから関西から
関東に来て困つたのは
張りです、大阪ははつき
りしていて大体年六回頃
瓶できました、東京の方
へも同じつもりで出かけ
ましてお叱りをいただい
たことを覚えています
杉野　決済は大分ちがつて
いましたね
林　七掛か六掛しかくれな
い、請求書の……、大阪
はきりのそこまでは呉れ
るんですよ、それをどの
程度まで押したらよいの
か難しかつたですよ
大滝　われわれも大阪のよ
うに何日切りというよう

祝創刊35周年

ナカダリニメント　ビタミン剤　発売元
医薬品卸売業
合名会社　中田支店
東京都中央区日本橋本町二ノ五
電話　日本橋（24）一一五六（代表）一一五七～九
四三〇七～八、四三六〇～一

天然薬草にんにく糖衣錠　ローカンポー代理店
医薬品・家庭薬卸商
有限会社　大熊薬品商会
東京都中央区日本橋堀留一ノ一一
電話　茅場町（66）四四八八番
小売部　三六六二番

株式会社　島丈夫商店
東京都中央区日本橋本町三ノ八
電話　茅場町（66）二三〇五番
振替口座東京七五〇六五番

ST
ホワイトシーツ
水品蒲本舗
リーブ
エステー化学工業株式会社
本社・工場　東京都新宿区下落合一丁目六八番地
電話　落合（95）二〇三六～七（直通）三六番
東京都千代田区神田駿河町二丁目一六番地
電話　神田（25）一六一三・六七八五番

中下しアンテルミン
サントニン・海人草合剤
チョコレート錠
類似品注意
良薬口に甘し
中村化成薬業K.K.

にしようとしたことはあるんですよ、鳥居でも例月中というようにしましてね、つまり月なら九月一日から九月二十日迄を十月出張の時に貰っただがこういうキリをやっていたらおこられたんですね、「今まで通りにしろ」と、つまり仕切書の帳尻合計の半分から七掛程度をすぐ払って呉れるんです、月切りをやろうとしたものの、こんな調子で駄目でしたよ

泣かされた「幸便」

大槻　支払はきちつとくれたが、その代り体でサービスをすることが多うございました、「幸便」について、何でも復でも形にもつてきて呉れ、というのがあつた、それが幸便に頼つて急ぐんですね、先様が三、四話一本で言つて来るんです、私ら朝大八車で出るんですがね途中で「幸便」をもつて出るのを忘れたことに気付き、とりに帰るんですがね、そんな時は泣きたくなりましたね

でも余りうちのは買つてくれないで、幸便ばかり出して泣かせたお店は、大概つぶれています(笑)

当時の有名薬は

司会　当時のメーカー品初め有名薬にはどんなのがありましたか

杉野　三共でオリザニン、それからカスカラ錠、塩化アドレナリン……

大滝　ツョールなんかも売れたね、麻酔の薬で有名だつた、統薬として古いですね

杉野　武田でカルモチン、ビオフェルミンなんかも古い方だな

大滝　塩野義で古いのがビオタミン、ラキサトール

杉野　三共のタカロプスターゼなんかもありますね、林さん、ジギタミンは大分古いでしょう

林　大正六年に私塩野に入りまして、たしか七、八年にジギタミン二十周年をやつて金一封を頂戴したのを憶えてますよ、ロレユのジガレンというのもありましたね

大滝　外人ど外国品でしたよ

杉野　藤沢のプルトーゼも百万本売れたといわれてましたね、三共のオリザニンとともに……

林　友田のプアゴール(メチレンクレオソート)というのがありましたね、結核の薬で……

大滝　あれは小沢重男さんが権利を持つていて、藤永善作さんの父さんがやつてたんでしょう、たしか製造は三共で、支店が発売元だつたんですよ、そのあとカルモチン、ビオフェルミンが出て来た、局方品ではバイエル、メルク、ヘキストなど輸来品ばかりでしたよ、大体大阪の問屋さんも最初輸入をやつていて、その後メーカーになつた、つまり第一次世界大戦で薬が来なくなつたために、似たものを考えた、というのが一番古い、またアンタヂンなどこの辺が古い方でしょうね、当時除軍がさかんに使つて呉れたものですよ、これは……

エキシカホスピン　メガネ肝油が海を塗る　押付の元祖

大滝　それに、塩野義のエキシカ

林　あれが震災後でしたね、エキシカの方が武田のホスピンより半年早く出来たんです、全く凄い戦いだつた、エキシカ派とかホスピン派とかが出来てやり合つたものですよ

大滝　今のB1の驚くどころじゃなかつた

杉野　あれが押し付けの元祖か(笑)

林　メガネ肝油なんかも大阪辺りでは九月一日が特売開始で、さかんなものでした、船で機械に並べ、箱の外装が黄色なので、紙が黄一色に塗りつぶされたようになりましてね

杉野　ご三家が競争でやつてました、その後わかりも、エビオスでしょう、あとは押しつけなかつた(笑)

大滝　東京が私の張でしてね、エキホス荷渡しのとき本町への荷渡しで地方発送係は大変でした

林　特売発表と同時に品物が出るのですが、それが日曜日で、倉庫会社も特に開けてくれた……

大滝　我々も随分働らかされたもんだ

杉野　警察の取締を受けていた、一寸とした広告でもすると社長に出てこいとくる、当時三共の古田さんも随分困つていたもんですよ、今でいう誇大広告が特にやかましかつた、それから薬品の試験でやかましかつた、ちよつと不良だと警官の前でおじぎをさせられたりしてね、警視庁は当時、麻酔にあつた

大滝　そのため我々は無効のものを交替でテストしたり、市販品を幕にして同業組合で試験をお互にやりました

杉野　あれは製薬同業組合がやつていたんでしょう、一般には公表しないという約束で、委託をうけて授取試験をしていた

林　大正十年迄は官封がさかんで、委託に応じて衛生試験所が試験して小分けをしていた、それから良後に自分の工場で小分けして自分のところの薬紙で封をした、シオノギ封の分銅印とかそういう私封品が出廻つたのはたしかに震災前後から、民間のものとしてはめさんが薬品に応じて自分のところの試験にパスすれば、私封をしてくれたものです

大滝　東京には東京薬品試験株式会社というのが鉄砲町の先の橋のたもとにあつた、各店がバルクを買い、そういうところで小分けしてもらつた

林　鳥居さんの鳥居印はオールマイティだつた、鳥居印というと一、二銭高く売れる……

杉野　関東は鳥居さんが一番でしたね

大槻　ホルマリンは随分売れた

杉野　横浜時代からさかんでしたね

林　分銅印を売り込むのにずいぶん骨折つたものですよ、大阪のは安かろう悪かろう、と言われて、安いのは安くしないと売れないからなのに……、そのために東京へはひどい値段品を出したり、しまいには局方品のサンプルまで出して議論してもらつた

大滝　丸利でも金沢医大辺りは官封だけしか買つて呉れない、鳥居印は高いから、と買つて呉れず困つたものです、次にしようがないから同量にすると、品を悪くしたのかと来る(笑)

「仕様がないから同量にすると、今度は品を悪くしたのかと来る」、当時の鳥居印を語る大滝さん(左)

一攫千金の時も選えらぬ相場物語

司会　それから、当時の業界紙には相場欄というものが大きなスペースを占めていますが、これについてのお話を伺いたいのですが

杉野　それは海外相場が絶えず変るから重要だつたんですよ

大滝　それに当時は船でしょう、二、三週かからなければアメリカから来ないんですからね、一寸船がおくれると品が少くなつて値が上る、またそれと逆になれば下る……

林　相当投機というものがあつたんですよ

杉野　だから買占めがありましたよ、仲買人は仲々活躍した

林　よく使われていた信方品の大部分が輸入品で、それに為替相場の変動もあつてそうなつたんです、昔は波をうさく乗り切れば一攫千金も出来た時にかうまるまでは……、また人間にも試験の結果不適のものが昔は割合とあつた、こういうときは少し人間にも、内地ものが急に上る原因になつたこともあります

杉野　荒江病の時もそうですね、上海にペストが発生したとき日本の石炭酸を全部買集める騒ぎでしたよ、それから流感にアスピリンもそうですね

大滝　アラビアゴム、工業薬品などでも儲けたね、船が難破して値が上つて

司会　ではこの辺で……、どうも長時間いろいろと有難うございました

35才

バスケットの選手として十数年鍛え上げ、後では全日本の監督をもつとめ、現在名古屋出張所に勤務して二年になる。セールスマンの中堅で将来が期待されている。趣味は専ら飲む方で酒館は欠かさないらしい。近頃はゴルフをボツボツ始めている由。

守口司郎

とケンソンされる。昭和十五年卒業と同時に入社、経理部五年、販売計画課二年と、京都、北陸で活躍、現在名古屋出張所に勤務して二年になる。セールスマンの中堅で将来が期待されている。趣味は専ら飲む方で酒館は欠かさないらしい。近頃はゴルフをボツボツ始めている由。

一方、交一方関係部面につい御感想、抱負は？　導ねれば、そんなむつかしいことは分りませんが、実業団バスケット部で塩野義製薬優勝に貢献した猛者。それだけにバスケットの話しとなると、往年を偲んでか目の色が変る。明朗、積極の上に温厚さが加わつて人当り極めてよし。（塩野義製薬名古屋出張所勤務）

祝創刊35周年

たこの吸出し
日本薬局方 ホー散軟膏
日本薬局方 水銀軟膏　製造発売元
町田製薬株式会社
東京都渋谷区笹塚町一〇八一
電話(371)二三九六・五一五八番

喜谷実母散・妙効丹
小児神効丸・入参梅花香　製造発売元
ヒサゴ薬品株式会社
取締役社長 林外社 竹四郎 員一同
東京都中央区京橋一ノ九
電話京橋(56)〇〇五五番

安川コロダイン
猛馬印あもやけ薬　製造発売元
株式会社 安川晃栄堂
東京都港区芝高輪南町三〇
電話(44)二七五一番

一般医薬品卸
株式会社 須田広蔵商店
東京都千代田区神田猿楽町一八
電話神田(26)三七七五・六八〇三番

痔の薬アラスタ
脱毛ワックス エピロー
ビタ ポ アン　代理店
医薬品・家庭薬・乳製品卸
株式会社 大和薬品商会
東京都中央区日本橋本町一ノ五
電話日本橋(24)5573 5574 5575 6230 6331

一般医薬品卸販売
合名会社 山口吉兵衛商店
東京都中央区日本橋室町二ノ六ノ六
電話日本橋(24)四九五・四五八八 四五六四・四五六五

各界35年の歩み

夜明けを過ぎて
形が出来た十一年

大正十一年、当時の我が国薬業界は、第一次世界大戦に刺戟されて製薬事業が盛況をみせ漸く製薬業の建設期にさしかかったところ、それも、平和来と同時に再び輸入洋薬に押されて無に帰し、独り洋薬の輸入販売業者、薬種貿易商が発達して、これらのものが医薬品問屋として確固とした地盤を築いた、そのような時代であつた

顧つて、我が国に製薬技術が齎らされたのは、孝明天皇の大化元年（六四五年）とされるから、今から千三百年以上も昔のこと、漢薬、漢伝医、漢伝薬の時代が続いている西洋医、蘭学が導入されたのは、徳川後期、明治十八年に現在の大日本製薬が生産を開始したのが、大正三年からの世界大戦を契機として、国産に第一製薬がサルバルサンを提げて新生した

即ち、製薬事業がその緒を為し始めたのであり、開業資本が製薬に注入されるもととなつたのである

薬が半官半民のかたちで、ドイツ特許の国内使用、新生をみ、局方薬品の製造を行つたのがはじめ、明治政府は発足以来西洋医薬のとり入れに躍起となり、国産を奨励したものの、明治の末期に初いて製品化されたのは湿布剤、ヨードカリ、ガレヌス製剤、デアスターゼ等の国産品に過ぎなかつた、時代は漸くやはり、皇漢薬、家伝薬の世界だったのであり、こと洋薬に関しては輸入品万能の世の中であつた

それが、大正三年からの世界大戦を契機として、国産に第一製薬がサルバルサンの出成は更に急テンポで進められるに至つた、兎に角、医薬品の輸入が杜絶して、薬種は品薄に、薬品は欠乏する有様、政府は大正六年工業所有権戦時法を制定し

激烈な特売合戦
昭和のはじめ　新売薬伸長す

第一次大戦後の経済恐慌は我が薬業界に致命的な打撃をもたらした、花王石鹸株式会社の製薬会社は最初に進出するもの多く、一方輸入薬種商は、再来した輸入薬時代を迎えて未曾有の発展をみせるなど、業界内角の明暗は明らかに染め別けられた

大阪の道修町、東京の本町と主な薬品問屋はこの時期を築き、戦後の薬業界は問屋がそのリーダーシップをとるようになつたのである

またこの頃から、新売薬の進出がみられるようになつた、所謂新薬新製剤、主な薬品問屋は、医師の用いるものであり、大衆薬はつまり売薬であつたわけ、実母散、中将湯、五鼠円、救命丸等の家伝薬に対し、太田胃散、大学目薬、ノーシン等が化学成分を配合して薬業界を賑わすようになつて来たのである、昭和六年売薬の印紙税が廃止されてより、これの伸張は一段と目ざましく、医薬品生産額の約半分を

エフェドリン等が、当時新たに国産化された製品である、然し、国内市場は販売競争の度合が深刻化する一方であり、定価販売も申し合せ通りには行かず、各地で乱売が行われた、新薬新製剤に激烈な特売合戦が初まつたのもこの頃のことだ

不景気時代は昭和五年頃、内閣の金解禁デフレ政策によつて頂点に達した

新薬の黄金時代
最高潮の昭和十七年

さて、昭和六年末、犬養内閣は金輸出を再禁止した、これより早く同年九月満州事変が起り、七年には上海事変、十二年七月日支事変と、従来までのデフレ不況は、漸くインフレ景気の様相を呈し、軍需と大陸進出等の家伝薬に対し、太田胃散、大学目薬、ノーシン等が化学成分を配合して薬業界を賑わすようになつて来たのである、昭和六年売薬の印紙税が廃止されてより、これの伸張は一段と目ざましく、医薬品生産額の約半分を

それに国産愛用の国策等々が相挨つて、製薬界は俄然騒転した、各社は競争を捨て、支店、出張所を開設し、また新薬新製剤を続々と発売した

開発品は販売として安値の粗悪品が横行していたために市況を回復するには

は至らなかつたが、武、丸石、三共の三社が当時開発品に関する新規品で逸つていた、新薬の販売競争は昭和初期の特売合戦と新聞広告、それと昭和四～五年から始められたアロパー派遣、この三本建で賑われた、カルモチン対プロパリン対アドリムという催眠剤の競争、エーラミゾール対ネオアーセミンそれにタンパルサンのサルバルサン合戦、二十一年三月三日、新聞三・三休刊がとられた、五〇〇円の新円生活に基いて作成されたものだ、次いで二

卸屋を無力化した統制

戦後の混乱はなかなかに終息せなかつた、思性インフレは続いた、戦後の薬業史は統制から始まる、二十年三月三日、新聞三・三休刊がとられた、五〇〇円の新円生活に基いて作成されたものだ、次いで二

エビオスの角逐、ブルトーゼとポリタミンの演壮剤、ロートと大学、それにスマイルの目薬、仁丹とカオール、メンソレタムとオゾン、等々亀兎の合戦が、国内はおろか大陸に迄進出して展開されたのであつた

なかでも白眉は、スルファミン剤の製発見に性うスルファ剤の競争である、第一製薬のチラボールと山之内のアルバロル、少し遅れて中外のジャプタールが現われ、昭和十二年に始つたこの斗いは、十四年山之内及び中外が製薬会社の組織を為つた昭和十四年には爆発的なものとなつた、新薬新製剤はかくして局方品に替る製薬会社のドル箱と化し

これを原動力として製薬事業は昭和十年から十七年迄昇りつめに業績を挙げて行つたのである、この製薬最盛期、国は十六年末太平洋戦に突入した

昭和十四年には円安事変の長期化見越し、物資不足によるインフレ模様に対処するため、政府は非常時態勢をとつて物動計画を発動、これに基く価格停止令がでた、十五年一月には公定制度が布かれ十九年に至つて殆ど医薬全品目に価格並に配給統制が完成された、戦時中の原料資材の入手難を克服しながら、医薬品の生産は好調な足どりをみせ十六、十七、十八年の医薬品生産は累増していたそして本土空襲が激化し資材難と工場疎開の大きくなるにつれて生産は激減、終戦の二十年には、十七、八年の二割程度しか生産されなかつた、戦前の黄金時代から一挙に敗戦の暗黒時代に転落したのである

祝創刊35周年

製薬・醸造・写真・用薬・薬品
正興薬品株式会社
大阪市東区淡路町一丁目二一番地
電話北浜(23)一六六四・一六六五番
工場　大阪府松原市堺町一六六番地

花火印　局方医薬品　化学工業薬品
菱山薬品化工株式会社
代表取締役　生地忠男
大阪市東区道修町二丁目三七番地
電話北浜(23)七九〇三・五番
工場　大阪市堺区生江町一丁目二一〇〇番
電話(58)八二一〇番

独力殺虫剤　ハイカピース　ウジメツ　発売元
戎薬品株式会社
代表取締役　住友亮
大阪市東区道修町二丁目二六番地
電話北浜(23)八八四六・九七二七番
ミツエビス印絆創膏薬品　マルエフ印医薬品・化学・工業薬品

阪大微生物研究所製品販売元
米国マリンロット社代理店
アモロス化粧品製造発売元
堀井薬品工業株式会社　東京店
東京都千代田区神田美倉町一番地
電話(25)四八五二番
本社　大阪市東区伏見町四丁目二七番地

ヤマゼン印　YAMAZEN
P・P・R（ピー・ピー・アール）
医薬品・工業薬品　製造発売元
山善薬品株式会社
工場　大阪市東区道修町二丁目三十四番地
電話北浜(23)一八二一（代表）
大阪市西区江戸堀下通二丁目三番地
電話土佐堀(44)五二四八番

35年

十二年七月新物価体系が打ち出された、これは昭和九、十、十一年の物価を基準として、その一〇倍の所に据置こうとするもの、その修正が二十三年七月に行われ補正体系と称された、このころからヤミがなくなり販売品の生産も軌道に乗つて、補正体系は医薬品の場合上げすぎた、などの結ものある、二十四年以降順次撤の廃止が始められ、二十七年に至り完全に撤はなくなつた、その間二十五年には第一次の健康保険薬価基準が制定されたのである

一方配給統制は二十三年に至り指定配給品について中製、地製の制度がとられ、指定配給品はこのルートによつて流すことを決めた、そして同時に「この決済に当り手形を用いることがとり入れられた、戦後資金の窮迫して、その一部には時宜を得た措置であつたろうが、これが現在の台風手形、お産手形の悪弊を生む因となつたとされ、も一つ、メーカーと地方問屋との直取引が始まつたのもこの頃に原因している、そうこうするうち戦後問屋の資力は弱に帰し、大資本メーカーが逆に薬業界に君臨するに至つたのだ

国民皆保の影響

平坦でない将来の道

さて、戦後の医薬品は抗生物質製剤ペニシリンによつて活況の口火を切つた、ニルファダイアロン、オーレオマイシン、テラマイシン十一年方製薬が始めて製造した本剤は、二十四年本格化し、八十社程が新を製来し、二十五年にはパス、ストマイが登場して二十六年生産は本格化した、二十七年INAHとチビオンが登場、二十三、四年頃には大騒動の中に出現して直ちに調剤、二十八年スルフィソミジン、スルフィソキサゾールの台頭と新薬は発展に次で発展の過程を辿り、最近は副腎皮質ホルモン及びトランキライザーが寵児と持てはやされ、ビタミン剤と風邪薬は大衆薬化して綜合化の時代に入つている

戦後の混沌状態に立つた薬業界は、先ず外国製品の輸入販売に活路を見出し、更にこれを国産化すべく、ひいては製薬事業化するための技術導入に力を出いだ、インフレの昂進とドッジラインによる二十四年の不況、これらの激動を切抜けるのに、二十五年の朝鮮動乱特需ブームが与つて力があつたものの、薬業界の立直りは輸入薬によつて築されたといつて過言ではない

もはや戦後でない、ということが言われている昨今、中共を始めとする海外市場の開拓に努力が集注され、製薬界再起に再出発の気運がみられる

なおここ数年来の健康保険の濫用はめざましい、また三十五年度には国民皆保険への風当りは厳しい、昭和三十年十月の七人委員会報告は、この種の製薬業界の風潮を代弁したものとされ、多の曲折を経て生れる、紆余曲折を経て生長して来た我が製薬界だが、その将来、必ずしも平坦なものではない

最良の十五年間

支那事変前までは

第一次世界大戦による好景気の反動（昭和二年金融大恐慌）が来る前の大正十一年頃から昭和十二年頃までの医薬品卸業界は、色々の事件があつたものの、ともかく三五年頃の中においては、最良の時期であつた、この時代の特色は大戦による輸入医薬品の欠乏に伴つて国産医薬品を推進したことで、東京衛生試験所でさかんに国産医薬品、輸入代用医薬品製造研究が行われ、医薬品製造研究奨励金の交付、化学・染料会社の医薬品製造進出も著しく、たゆに昭和五年の輸入医薬品格配給統制が事実上終るまで、最悪の時期と言うことが出来る、以下年を追つて

至つた、大陸産のメーカーとしての地位の確立されたのもこの機であつた

一方不景気風も吹き荒れ物価下落、官能争議続発

配給品三百を超ゆ

二十五年迄は最悪期

昭和六年の満州事変、七年の五・一五事件、十一年の二・二六事件、十二年の支那事変は、卸業者にとつて戦争の響きを持つたもので、昭和十六年の医薬品生産配給規則は急遽施行を見せていつた

十四年 九・一八発令則ち価格等停止令から価格等統制令で、医薬品公定価格が新生、第二次世界大戦勃発で医薬品不足がいよいよ高だいし

十五年 医薬品配給統制要綱決定

十六年 医薬品生産配給統制規則制定、これによつて東邦及び四部医薬品中央配給統制組合が中央機関として生まれ、地方機関としては医薬品到商組合が組生した

七月には東部及び西部組合が一本となり日本医薬品配給統制KK設立、地方は薬KKを結成、なおこの年小売組合の卸機用論が起まり、初の到来者全国団体「全国地方問薬業連合会」が結成された

十七年 医薬品生産割当量八千万円に達し最高潮

十八年 医薬品配給機構整備要綱により配給組織の整備と配給業者の整理統合が開始された、新規業者は企業許可令により抑制

一方配置売薬も整備強化して府県を区域とする産業組合を組織させ、全国協議会で配置区域を協議定することとなつた

本薬売薬も甲種と乙種に分け、甲は中央統制機関日本売薬配給統制KKから配給、乙は医薬品卸機関を通すことに決定

なおこの年東京薬剤貿易商同業組合は解散、新たに東京薬貿協会が設立された

十九年 配給統制KKと産業統制KKなどが合併して作られた医薬品統制KKが事業を開始したのが一月、この年大阪薬剤卸商組合が解散し大阪府医薬品協会が生まれた

昭和初期本町薬業界で活躍した人々、右から奥屋の竹森、中後の高田、田辺売三郎商店の中川、三共の田中、小西新兵衛商店第四口の藤氏

35才

昭和十一年元来が情の人で、人情を島国に入つてから、軍は大いに緩和している

（中にソ連抑留を含む）を除き、ずいつと営業畑を歩いてきた。第一戦で鍛まれ続けてきたのに、少しのワルさもなく、フェースの常態そのまま明るく、時に特に親界行政育の復活を望むあたり、伸々のパックボーンを見せる。だから人好きは極めてよろしい。

竹内 弘

昭和十一年元来が情の人で、人情を島国に入つてから、軍は大いに緩和している（中にソ連抑留を含む）を除き、ずいつと営業畑を歩いてきた。第一戦で鍛まれ続けてきたのに、少しのワルさもなく、フェースの常態そのまま明るく、時に特に親界行政育の復活を望むあたり、伸々のパックボーンを見せる。だから人好きは極めてよろしい。

（島根薬品営業部外内課）

くはにかんだあと、「平凡」というお答えである。酒には最近のドライな風潮に対し、これ心惜いほどの超世潮だが、これも苦労して、純真を失わぬこの人の地から出れば、成程とうなずける。

前藤生れ。蜂蜜は釣り、酒など。お酒に酔えば珍無類の芸を御披露する茶目つ気もある。小学一年を頭に三女の父。（島根薬品営業部外内課）

祝創刊35周年

大阪医薬品協会
会長 藤沢友吉
大阪市東区道修町四丁目二番地

大阪府薬剤師協会
会長 浦野清五郎
大阪市北区南扇町一二番地

西部衛生材料協同組合
理事長 泉谷良喬
大阪市東区瓦町一丁目九番地
電話北浜(23)五二三七・八三四一番

大阪家庭薬協会
会長 三田良蔵
大阪市東区道修町二丁目一六番地
電話北浜(23)七六六〇番

東京都医薬品卸協同組合
理事長 大木卓
東京都中央区日本橋本町三丁目三番地

薬局

二十年　ポツダム宣言受諾となつて内地は混沌状態外地は大混乱、この際産業の中に配給統制医薬品三五品目に達す、またインフレが驚くべき勢ではじまる

二十一年　医薬品統制KK解散し代つて日本医薬品配給KK設立

二十二年　暫定措置を経て医薬品等配給規則制定、当初指定品一三二品目

二十三年　一月中央医薬業者及び地方販売業者座るこれで卸業界全く昔日の姿を失い、手形にも頼れることとなつた、配給KK閉鎖機関に指定

二十四年　差益金問題で医薬品販売業者協会活躍、因みにこの協会の前身は全国医薬品配給協会

二十五年　この年末には配給品も七五品に減り、公定価格品も十九品のみとなつた

系列化と組織化

これが現在の動き

二十五年統制が大体終りをまた戦前、戦中、戦後を通告げると経済発展の速度はじメーカーに対する当局の急に昇りはじめた、勢い乱後援が目立つているのに較売のきざしも見えはじめ、べて、卸業者に対しては何心ある業者は正しい取引の らの援助もないことが、資窟立に腐心し、東京にはこを今になすよしもないとこの正しい取引を標榜した薬 ろまで来た原因の一つ、そ正会が発足した、しかし地れとやはり業者自身の遅れ方販売業者所謂地殿によつも数えなければなるまい て産出したセミ卸売業者現状はメーカーの系列化が は開こえず、この間題は今だんだんと強化されて行く もつて継続中である、メー方向にある、これに乗れな カーの過剰生産、押付販 卸業界は、これら公的買入売と関連して……

明治六年法制化

薬律制定から　分業問題起る

薬局の歴史は薬事制度の変遷によつて綴られて行く、その間に幾交ぜられているのが分業斗争の歴史である、明治六年に制定せられた医制によつて、薬舗という制度が設けられた、これが今日の薬局に当り、薬舗主が即ち薬剤師だ、そして『調薬ハ薬舗主、薬舗子代及び薬舗見習に非サレハ之ヲ所サス』と規定されて医業分業の原則もまた確立された、それが明治二十二年の薬品営業並薬品取扱規則、俗にいう〝薬律〟によつて大正六年から起きた〝混合販売〟と〝薬剤師法〟の二つが焦点であり、医薬分業の原則は全面的に後退した、即ち同規則の付則に『医師自ら診療スル患者ノ処方ニ限リ…自宅ニ於テ薬剤ヲ調合シ販売スルコトヲ得』という規定を設けて医師の調剤を認めたのだが、薬剤師と薬舗商たのの争いは明治四十年の薬律に比して薬剤師数が少く、特に医師が二千年来売薬の制度を設けたためである特殊事情が認められたためとされる

薬律においては、薬剤師と薬種商の名称もまた生まれ団体人の資格を持つた

楽だつた薬局経営

大正十五年　薬剤師法施行

大正十一年、日本薬剤師会薬品の取扱に関するものと営業並薬品取扱規則、俗に総称した、当時の問題は薬局、薬剤師の名称が生れると同時に、医業分業の原則は全面的に後退した、即ち同規則の付則に『医師自ら診療スル患者ノ処方ニ限リ…自宅ニ於テ薬剤ヲ調合シ販売スルコトヲ得』という規定を設けて医師の調剤を認めたのだが、薬剤師と薬舗商たのの争いは明治四十年の薬律に比して薬剤師数が少く、特に医師が二千年来売薬の制度を設けたためである特殊事情が認められたためとされる

薬律においては、薬剤師と薬種商の名称もまた生まれ団体人の資格を持つた

なお、薬剤師会は、明治二十六年に日本薬剤師会がその体を整え、同四十二年社

なお二十五年以降現在までの業者団体の動きは次の通りである

医薬品販売業者協会改名して医薬業者協会となる（二十五年五月）、日本医薬品卸業協会発足（二十七年六月）、日本医薬品卸業連合会設立（二十九年十一月）、東京は二十八年日本卸業協会東京部会から都卸業協会を経て薬業協会組合を三十年二月設立、大阪も二十九年府卸業協会結成を経て本年一月府卸協組を作りあげた、今後は卸業連合会が卸協組連合会と名を変える日を待つわけである、未だ現在全国半数の一道二十二県が卸業協会から協組に改組をしていない

七人委ラインと戦う

最後に記さねばならない大事なことは医療保険拡大が卸業界に及ぼす影響である、これは三十年十月の七人委員会答申で表面化してきた卸業界は、これら公的買入共同購入案に対抗して、最

往時道修町の『少彦名神社祭礼』の図

乱売から闇売り

昭和十六年迄の変遷

昭和の初期は、大正十五年薬剤師法案が時の衆議院で審議されたが時に、大口喜六の薬剤師法をめぐり、国会で分業論議が行われた、薬業界に若槻内閣大臣が「附帯加入、中央は任意加入の線が打ち出された

十一年当時の薬局営業は第一次世界大戦中の大好況に酔い、くすり九国産の呼び名をとつて、安売な毎日であつたようだ、十二年の関東大震災は、被災地区でも復興は早く大阪からどん〳〵仕入れて薬局営業は順調に進んだ、当時二千円あれば借ばよいという考えで免許さ家ながら、一軒の薬局が開けたという、三百倍としても六十万円である、現在六十万では開局できまい、新薬新製剤が出始まつたのもこの頃であり、薬局売薬を製造販売し、薬局が一番要かであつたのもこの頃のようだ、タニマル薬局という言葉があるが、これは一日十円ととなつた

売りの先ずC級薬剤で、月の売上が三千円、三割のマージンとしても月百円の収入となる、大学出の初任給が月六十円なら多いという時代だから、他は推して知るべしである

なお、大正十五年に売薬の印紙税が廃された、明治初年、売薬は無効無害であれば、売薬は無効無害であれていたのが中頃から漸次有効無害主義に変えられ明治十五年に売薬印紙税規則が設けられて、一箱の印紙を貼つて来ていたのである、それが大正十五年に廃されたのだ、昭和二年に薬剤師法が制定されたが、は、花柳病予防法の制定に際し、花柳病に関する売薬は内容公示をなさしめることりかえつて見ると、先ず吉ははじめの十五年、次の十三年が大凶、最近の七年間が小吉（但し昇めねば先は凶）の八卦か以上卸業界三十五年をふ

祝創刊35周年

目黒化成株式会社
取締役社長　目黒正彦
大阪市東区平野町三丁目道修ビル三階三号室
電話北浜（23）七七一二―五

輸入原料薬品
医薬原料、工業薬品、純良医薬
宇部曹達工業株式会社特約店
山中化学工業株式会社特約店
山口薬品商会
大阪市東区伏見町三丁目二八番地
電話北浜（23）一九一八・六五一七・六七〇五番
東京連絡所　東京都千代田区神田須田町一ノ二二
電話（25）五六七六番

カット生薬・輸入医薬品・家庭薬原料・一般医薬品・工業薬品
保栄薬工株式会社
本社　大阪市東区道修町二丁目二六番地
電話北浜（23）八九一七―八・振替日座　大阪一三四〇番
取引銀行三和高麗橋支店、住友高麗橋支店、神戸銀行北浜支店
工場　大阪市東淀川区柴島町三二九番地
電話　豊崎（37）一四六一番
東京営業所　東京都中央区日本橋室町四丁目六番地
電話　日本橋（24）〇九九五番

則は何時かは原則に戻る」と答えたのが始まり、昭和四年、六年と譚員提出の分業法が提出されたが審議未了となつている、この頃、昭和八年の第八十六帝国議会において、医薬制度改革に関する質問主意書に対し、山本達雄内相は「医薬分業に関して国民保健衛生上為めて重大なるを以て慎重考慮中なり」と答弁するなどのことがあつた、そして昭和十年以降は、徐々に戦時体制に入つたため、分業問題も下火とならざるを得なかつた

昭和初期の薬剤は大正末期からの好景気が続く頃行うとなり、機乎が激しくなつて来た、メーカー側業者が特売を始めたのもこの頃、薬剤には乱売問題が起きて来た、東京でいえば、浅草の大和薬局、世田谷、品川に夫々戦争は大除方面に進展し、火の手が上り、横浜方面も焼き払われ、世田谷、品川は焦土化された、昭和十五年迄に医薬品術などがあつて、ピロリなこともやつてのけた、そこで、できた上つたのが医薬品小売商業組合、マスピリン等七十一品の統制令が働き出してキツプ制がとられて行つたので、今と同じような乱売どころではない、皮肉なことに迎された、星、エスエス、今迄の乱売音頭が、急ちヤ賛生堂、アイアルなどミの高値で売るようになり紅白会、東優会などの団は企業薬剤が始つた、昭和十八年頃迄都内二千四百志的結合も生れた、これらは共同製品を作つたり共同仕入をしたり、経営研究をしたりである、歴史は繰返すとやら、よく言つたもので、処方せんも出れた、この頃から売薬の投共で、今よりも盛かつた

31年の分業実施

昭和史を飾る改革

昭和十八年薬事法が制定され、これは戦時体制下の薬事制度を定めたもので、薬剤師法、薬律、売薬法が、これに一本化され、薬局の開設を許可制とした他、日本薬剤師会を強制加入制度とするなど、専業の統制強化の方向が打ち出されている、分業制度はきき薬剤師法の考え方がそのまゝ持越された、そして戦後、昭和二十二年薬事法が制定されたのだが、これが、占領法規とよばれ、目下改正するかどうか微やかな新題を呼んでいるわけ、どうも美交の直訳的法律の匂いがするのである

二十三年の新薬事法では薬局の開設は登録制とかえられ、また猛反対にも拘らず、要指示医薬品の制度が生れ、薬剤師試験制度が復活した、そして薬剤師会は任意加入の公益法人に切りかえられてしまつた、新法は既開局者に構うところはなかつたわけである、分業問題は二十四年七月に来日した米国薬剤師協会使節団の勧告を契機として大きくとりあげられるようになつた、時の司令部高官サムス産業の動きが大きな原動力となつて……

二十五年八月厚生省に臨時診療報酬調査会と臨時医薬制度調査会が設置されて、二十六年答申、直ちに分業法案が提出され、例外規定を設けて三十年一月一日から実施すべしとする議決が行われた、この時に物と技術の分離を唱える新医療費体系の精神も確立されたわけだ、この間、医薬の斗争は、医師会は徹底的に反対し、一方、二十九年の国会には「分業延期法」が議員提出されて、分業の例外規定について審議する医薬関係審議会の設置法案とコミで審議された末、前者は継続審議、後者は衆議院を通過成立した

分業実施期日は三十年一月一日からとされていたので医薬関係審議会の議事も大いに急がれ、同年末臨時国会の大詰の十一月二十九日、の答申厚生委で一年三カ月延期して三十一年四月から実施という妥協が成り、十二月二日参院、三日衆院の順で通過成立した、これによつて三十一年四月から医薬分業は実施された、三十二年七月現在、絶縁関係の処方せんは月一万枚に達した

経営は次第に深刻化

終戦直後の薬局は、統制のおかげでさしたる闘争もなく、ものさえ入れれば右から左に売れるという時代で、タップリと余恵を受けた、売手市場だから強い、戦災に会つても、バラック中から力強く立ち上がれた、統制が撤廃され、新く医薬品生産が軌道に乗り出すとまたぞろ乱売が始まつた、協同組合法に基く薬協組が乱売防止に働いてみたが、決め手はない、目下中小企業団体法の成立に望みを託しているし、薬事法を改正して開局を制限したいとも考えている、国民皆保険の声が大となるにつれ、薬局の立場は益々深刻なものになつてくるようだ

繁史絵の薬局（横浜）

行政

薬務の礎を築く

池口、野副、松尾氏ら

薬務行政三十五年を終解くには、まず明治以後における近代薬事制度の変遷を明らかにしておく必要があるので、その概要をたくさんいつまんで述べてから本論に入ることとする

明治六年三月文部省に医務局が置かれ相良知安氏が初代局長になつたが、同八年六月に文部省の衛生事務行政は内務省へ移管され、七月に衛生局が設置された、その時売薬課が設けられたが、翌十一年に売薬検査事務は地方庁へ委任された、十九年各省官制の制定によつて内務省衛生局は医務、衛生の二課を置き、医務課は近代薬事制度の改正を明らかにしておく必要があるので、その時売薬課が設けられたが、翌十一年に売薬検査事務は地方庁へ委任された、十九年各省官制の制定によつて内務省衛生局は医務、衛生の二課を置き、医務課は近代薬事制度の変遷を明らかにしておく必要があるので、その概要をたくさんいつまんで述べてから本論に入ることとする

明治六年三月文部省に医務局が置かれ相良知安氏が初代局長になつたが、同八年六月に文部省の衛生事務行政は内務省へ移管され、七月に衛生局が設置された

製薬奨励行政を行い、保健課で売薬部外品、毒劇物その他薬剤の取締行政を行うことになった。当時医務局では薬系技官として初代氏の後を受けて安藤愛二氏がその任に当っていた。大正十四年に政府は薬品法案と薬剤師身分及び業務についての特別法として薬剤師法案を国会に上程、大いに議論が斗かわされた結果、薬剤師法案は部分修正で成立したが、薬品法案は遂に審議未了となり、十八年の薬事法制定まで、制度上は薬律時代が続くことになった。

また国内医薬品産業育成策として大正十一年東京衛生試験所に薬用植物栽培試験所を設置したほか主要医薬品の創製、製薬業者の指導行政を試験所に行わせた。

第一次大戦後政府は、わが国製薬事業が先進諸国に比べて遅れていることから種々の育成策を講じてきたが、昭和五年製薬振興会を内務省に設置し医薬品の国産化を十数回の局方改正が行われている。このような情勢のうちに十年に日本薬局方調査会は官制を改正し大正製薬研究補助金交付規則を制定した。

また同年七月に薬業審査会を改正、衛生試験所を調査する機関となった。

警視庁衛生検査所長、前列中央斉藤二代目所長（大正元年から十一年まで）

16年に統制規則

統制と共に厚生省発足

昭和十二年日支事変の勃発の配給統制、輸出入の指導を発機に医薬品の配給統制に当る厚生局が強化されてきた。翌年一月厚生省が発足し、医務課に於いて薬務関係の行政が行われた（警保課長）、十四年三月戦時体制を強化、医薬品および衛生資材の調査研究補助金交付規則を制定した。

昭和十六年七月に薬業審査会を改正し、薬品法案は遂に審議未了となり、十八年の薬事法制定まで、制度上は薬律時代が続くことになった。

また国内医薬品産業育成策として大正十一年東京衛生試験所に薬用植物栽培試験所を設置したほか主要医薬品の創製、製薬業者の指導行政を試験所に行わせた。

第一次大戦後政府は、わが国製薬事業が先進諸国に比べて遅れていることから種々の育成策を講じてきたが、昭和五年製薬振興会を内務省に設置し医薬品の国産化を十数回の局方改正が行われている。このような情勢のうちに十年に日本薬局方調査会は官制を改正し大正製薬研究補助金交付規則を制定した。

また同年七月に薬業審査会を改正、衛生試験所を調査する機関となった。

薬務局 来年で十年

企業課 今月で八周年

二十一年三月衛生局に製薬課が新設されたが、十一月機に厚生省に薬務局が廃止され、代って医務局内に薬務課（神谷秀夫氏）と製薬課（樫松一郎氏）が置かれた。日薬事法は戦時体制下に制定されたため戦後の諸制度民主化の枠を逸脱する点も多く、一方諸種の取締上の不備な点も多かったことから二十三年厚生薬務課長のとき、中村氏（現企業課長）等の手で改正され今日の薬事法が制定された。

二十三年七月機構改革が行われ薬務局が新設され薬務課（星野）、製薬課（樫松）、薬品課（中村）、資材課（森）、審査課（金井）、麻薬課（栗見）の六課制を採ったが、二十四年十月薬務課と薬品課は統合して企業課とし、資材課が監視課に代った。なお審査課は後に薬務課に代られた。二十七年八月には経済安定本部の廃止により医薬品及び衛生材料等の価格についての事務が企業課の所管となった。この間二十三年九月に倉西次官兼務の後に藤松一郎氏が薬務局長となって以来、二十八年三月高田正己氏、三十八年八月現薬本局長と次いで今日に至っている。

このほか医薬分業問題は二十四年来日したアメリカ薬剤師協会使節団の勧告を契機に厚生省に臨時診療報酬調査会、臨時医薬制度調査会が設置されて以来、数年間の国会斗争を経て三十一年に新く実施を見た。

また日本薬剤師調査会は二十三年七月薬事委員会（薬事審議会）にその業務を継承し、衛生試験所は二十一年に大蔵を廃止し支所とし、三十年に刈米達夫氏を所長に迎え今日に及んでいる。

配給統制を実施した、この実働機関として東西に医薬品中央配給統制組合、地方組織に道府県医薬品卸商組合、医薬品小売商業組合を置いた。更に十六年に東京医薬品配給統制株式会社を設置した。更に戦時は第二次世界大戦に進展したため十二月には薬業整備の方針を決め、新規業者の抑制、技術の公開、優秀工場集中などを図ったが、初期の目的は充分果されなかった。十七年二月になると売薬業整備要綱により直営として一県一社に整理統合し、東京は五六社、富山を一〇社程度としたが、木村製長（元次官）時代になってやこれを緩和した。

十七年十一月に薬品課と薬務課を合併し木村宏二郎氏が課長に就任した。この頃十三年の医薬制度調査会への諮問事項が答申されたため、政府は薬事法改正の方針を決め、高田恭蔵（現兄常務長）竹内甲子二氏等の手によって旧薬事法が制定された。なおこの間樫松尾氏は十七年衣笠氏の後を受けて衛生試験所長として試験所行政を預かった。

（顕の）健康法

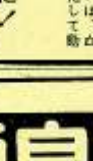
松尾仁氏と時報との縁しについては本号所載「時報をめぐって」に先生自身お書きになっておられるが、こゝでは二十二年以後の本社論説委員として活躍に触れさせていただく。

先生が主席論説委員として本紙社説に関与なさったのは二十二年九月二日（二九八九号）の「教学刷新とわが薬業」から、翌年、前々号（三五九八号）の「開局繁賑の在り方」に至るまで、十年を越える、この間、病中でありながらと何があろうと、毎週欠かさず卓絶の一編を寄せられる努力に対しては、唯々頭が下がる。

「公論の論説に関係する書として、甚だ不適な話だが、時報社説は私の（顕の）健康法でもある。毎週規則正しい時事問題の研究は、年に伴う頭脳硬化の防止に、何によりの効果をあげる、だがこんなことは書かんでくれよ、新聞記者は昔から、何でもネタにしてしまうは二十一年の大蔵廃止支所とし、三十年に刈米達夫氏を所長に迎え今日に及んでいる」、こういって笑われる先生、亜五益々御健康である。

35才

森岡茂夫



二十年九月東大薬学部庄木教室の助教授に出て以来、二十二年五月山之内に入社し、二十三年の末までペニシリン生産の現場にいた。本職を生かしたのはこの時だけで、あとは本社の企画室、管理部、管業部と歩き、三十年来営業課の予算係長である。このポストは販売計画、回収計画、経費予算等の立案整理に当るところで、先ず営業部の頭脳。短達いの方が長いようだけれど、「計数的なことは好きな方だから、性分に合ってます」と、出と聞いて実のところ手をやって、勉強は意外でたから……」と、言葉は弱いが、全くの営業マンタイプだからである。

スキー、スケートを除いたスポーツなら何でもやる。余暇にはサイクリングを楽しんだり、映画なら西部劇などがいいですな、とあって、全然愉快。大正十一年一月七日神戸で生れ、六高、東大という経歴。一男二女、日下コントロールしております。そうであります。（山之内製薬営業課予算係長）

祝創刊35周年

疲れる！

原因は……

肝臓か？腎臓か？血管か？

或は体のどこかの臓器に故障が？

疲労はこれ等の機能が故障している赤信号です。コンドロンは、全身の細胞や組織を強化活性化して、原因的に治療し、抱合、酸化、還元の綜合解毒作用を発揮し、全身の臓器を強力に働かせ、疲れを知らぬ健康体を作ります

・ニコチン、酒精、煤煙毒に強力な綜合解毒力を発揮して肝臓の働きを強くし、のみすぎ、すいすぎの害を除きます

・過労の予防、回復に
全身の栄養供給をよくし、新陳代謝による老廃物の排出をよくしますから全身の過労もとれ気持よくなります

・肝、腎臓の働きを強める
人体で最も重要な、肝臓、腎臓の働きを強くし、弱い体質も強化されます

・動脈硬化を予防する
人間の動脈は二十代から硬化し始めるといわれています。コンドロンは、血液の結晶をよくし、血管も強化して動脈硬化や脳卒中を予防します

内臓性疾患の予防と治療に！

コンドロン

【錠】徳用一〇〇円　110錠五〇〇円　箱錠一、800円
【注】一号　一〇〇　三号　各二〇〇　五〇〇
【顆粒】二五g・一〇〇g・二五〇g・五〇〇g

科研薬化工株式会社
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌

K-4

純良医薬品

発売元　薬研化工株式会社

本社　大阪市東区高麗橋五丁目三四
支店　札幌市南三条西八丁目一
工場　八尾市太子堂

下痢・腹痛に

★内容が一段と強化されました

骨炭末主剤の吸着剤として、長年好評を頂いて居ります「ノメバー錠」が、ホミカ、ロートエキスを加え一段と強力な、吸着、鎮痛、消化剤として、応用範囲を広く致しました。下痢、腹痛は勿論、急慢性胃腸病、二日酔等には、是非「ノメバー」をお奨め下さい。

敬心製薬

（薬価）100錠入　100円　説明書添付

ノメバー錠

薬育

薬育誕生は明治六年

明治六年、大学東校に製薬学科が設置され、日本における薬学教育が誕生した。この時は予科二年、本科三年という教育年限で、製薬和の初頃まで続いた。試みに大正八年九月の官報に掲載されている「東京帝国大学医学部改正規定」に上記すると次の通りだ。

薬化学、薬用植物学、薬品試験法、薬剤化学、薬品製造学、植物化学、鉱物化学、生薬学、調剤学

日を専門学校に適するこうに編成したもので、この大学の講座の専門学校への影響は明治から大正を経て昭和の時代まで、この時予科二年、本科三年の教育年限で、製薬和の初頃まで続いた。試みに大正八年九月の官報に掲載されている「東京帝国大学医学部改正規定」に上記すると次の通りだ

薬化学、薬用植物学、薬品試験法、薬剤化学、薬品製造学、植物化学、鉱物化学、生薬学、調剤学

ウロオアクチビテート、無機薬剤、鉱物材料学に働力、薬化学特別講義、化学分析実習、薬品試験法実習、薬化学実習、薬用植物学及び顕微鏡実習、鉱物化学実習、生薬学実習、調剤学実習、物別研究等があり、更に大正十四年の改正で鑑別薬品化学薬品が新設されて、これがまた薬専の教科目に影響を考えている

今や二十七校に
その生い立ちの記

そこで再び学校の生い立ちに話題を返すこととしよう。

前述のように大正五年当時迄の官立薬専のうち、仙台と岡山が中途で廃校となり、千葉、金沢、長崎が終りまで存続して、現在は国立大学の薬学部となっている。

二、公立の部

昭和六年岐阜薬専が初の公立薬専として市立化により設立され、名古屋薬専は十年名古屋市立の認可を得た。静岡は大正五年女子薬学校として私立で誕生したが、その後二十七年県立移管、最後の新薬専として昭和二十八年に産婦を遂げた。公立薬大は以上三校である。

三、私立の部

私立の薬学専門学校は初め薬学校として東京薬専の前身たる東京薬学校が設立され、十八年熊本薬学校、十九年大阪薬専学校、大阪薬学校と続き、いまの明治薬大は明治三十五年東京薬学専門学校の名で創立している。大正五年には東大を筆として、官立の医学専門学校五校（千葉、仙台、岡山、金沢、長崎の五校で、ここに修業年限三年の薬学科を置く）と、公私立の医学、薬学専門学校は十一校となった。

当時の薬学専門学校の学科課程は、慶応大学の教授課程に準じ、昭和三年徳島の高等工業学校に製薬化学科が設置され、昭和十四年には京都帝国大学に医学部薬学科が設置された。戦後九大、阪大、長崎、北大が加わって、国立大学の薬学部科は現在十一に及んでいる。

二、公立の部

昭和六年岐阜薬専が初の公立薬専として市立化により設立され、名古屋薬専は十年名古屋市立の認可を得た。静岡は大正五年女子薬学校として私立で誕生したが、その後二十七年県立移管、最後の新薬専として昭和二十八年に産婦を遂げた。公立薬大は以上三校である。

三、私立の部

私立の薬学専門学校は初め薬学校として東京薬専の前身たる東京薬学校が設立され、十八年熊本薬学校、十九年大阪薬専学校、大阪薬学校と続き、いまの明治薬大は明治三十五年東京薬学専門学校の名で創立している。大正五年には東大を筆として、官立の医学専門学校五校（千葉、仙台、岡山、金沢、長崎の五校で、ここに修業年限三年の薬学科を置く）と、公私立の医学、薬学専門学校は十一校となった。

当時の薬学専門学校の学科課程は、慶応大学の教授課程に準じ、昭和三年徳島の高等工業学校に製薬化学科が設置され、昭和十四年には京都帝国大学に医学部薬学科が設置された。戦後九大、阪大、長崎、北大が加わって、国立大学の薬学部科は現在十一に及んでいる。

将来は分科が進む

東大薬学科の授業課目は当初は国家試験を受けなければならない制度となった。昭和二十三年の学校教育法に基き、二十四年度から一斉に私立薬専が廃科され、私立の新制薬大は東北、慶、横浜、東京、明治、日大、大阪、神戸、昭和、京都、大阪、神戸女子、近畿、名城の十三校を数えている。

東大薬学科の授業課目は当初は国家試験を受けなければならない制度となった。昭和二十三年の学校教育法に基き、二十四年度から一斉に私立薬専が廃科され、私立の新制薬大は東北、慶、横浜、東京、明治、日大、大阪、神戸、昭和、京都、大阪、神戸女子、近畿、名城の十三校を数えている。

在、私立の新制薬大は東北、慶、横浜、東京、明治、日大、大阪、神戸、昭和、京都、大阪、神戸女子、近畿、名城の十三校を数えている。

東大となって後、明治二十六年からの衛生試験化学、生薬学、薬化学の三講座に絞まり、明治四十年薬品製造学、大正十四年薬品分析化学、昭和十六年薬品製造学、昭和十四年薬品分析化学、薬品製造学、有機薬化学、無機薬化学、生薬学の五講座から始まって、二十六年製剤学、二十七年薬品化学が夫々増えてやはり七講座と、内容は大正

改革の授業科目
三十一年から本格実施

これら官学、殊に東大の講座に影響され、各薬専大学講座に影響され、各薬専大学講座に影響され、各薬専大学

社史本紹介

わが国医薬品生産も年産一千億円台を突破するまで発展して来た今日、その模索期を振返えると、そこから長い苦難の道程がふりだされ、くりひろげられている、その苦脳も各社各様でこれを社史として記録に留めている、そこでとくに巻の六十年史、第一製薬の四十年史、三共の五十余年の概観の三つを紹介し、近代薬業史の一端を見ることにした

既刊では最高級

史大日本製薬六十年史

ページを開くと先づ目につくのは、朱色に染めたりと女神出のあとである、この説明に「女神が左手に抱く小児は生来無垢の純潔を、右手にもつ杯は正義を表現しており、純良にして品質正確な医薬品の製造によつて、略だが、道修町の有力薬業家の共同出資会社として当初ことを念願」と会社発足の動機を示している、これに続く宮武社長の序文は会社の沿革を要領よく纏めている

この会社は明治三十年道修町の有力薬業家二名の出資によつて大阪製薬として出発したが、その翌年国策会社として明治十六年に発足した東京の大日本製薬会社を買収し、更に四十一年には同一資本系統にあつた民間製薬品試験機関の大阪試験機関の試験機関の大阪薬品試験株式会社と合併して、ほぼ今日のある基礎を形作られた、その後大正末期から昭和初期の積極経営に乗り出した、そ

数少ない薬業社史本

の特異な業績は、第一次世界大戦の特需景気に乗じて順調な発展をしており、純良にして品質正確な医薬品の製造によつて、略だが、道修町の有力薬業家の共同出資会社として当初からメーカーとして出発しているだけに、その歴史には興味深いものがある、明治の新薬開発に大いに貢献した

以上が会社生い立ちの大筋だが、道修町の有力薬業家の共同出資会社として当初からメーカーとして出発しているだけに、その歴史には興味深いものがある、明治の新薬開発に大いに貢献した

この特異な環境を脱して、第一次世界大戦、終戦来期の本土空襲にも大阪の主力工場が被災を免れたのも今日の発展に大きく寄与している

以上が会社生い立ちの大筋だが、道修町の有力薬業家の共同出資会社として当初からメーカーとして出発し

三十五年勤続者

笑話・小切手を切る

小宮良太郎氏（島田薬品）

大正九年の好景気のとき横浜商業を卒業、船問屋（貿易業）に入社したが、一年余で倒産したためお父さんの関係で入社、爾来経理面を独かつて今日に至っている

大正末頃来、本町を見てきた小宮さんは、今日万の取引先の人が草鞋がけで金を背負ってわざ〳〵持ってしまったし と言っている

特に取引の際の支払方法が大いに変貌してしまったという、大晦日の決済日には十二時まで提灯を持って順定を集めたこともあった、また本町内には手形は流通しておらず、地方との取引ら始めた短歌、本町筋に珍しい文化人、日本経済士会は横線小切手を半分に切つば良き祖父さんである（監査役）

昭和の初めの石炭嵐、リスリン、ホルマリン等を手掘くやっていたこと、サントニン等の値段の上下の巾が大きかったことが印象に残っているという

小宮さんの趣味は震災後かしておらず、地方との取引で金を背負ってわざ〳〵持ってきて呉れたこともあった、と当時が懐しそう

というような笑話しのようなこともあった、震災で会社が焼けてしまったとき、地方の本町の性格を押して「いわゆる本町は失くなってしまった」と言っていた

スルフアミンを開拓

岩永貞三氏（万有製薬）

大正十年十月開業を卒業して万有に入社、日黒工場勤務を振出しに、昭和十四年北支製薬の設立にともない専務で転出、十八年に帰国二十年から本社勤務で今日に至ったというが、三十五年の道程である、この間の数々の経験、印象に残ったことなどを次のように話してくれた

「昭和九—十年頃支那でカラザールという流熱病で、これを研究したとこ薬が大いに売れていたので、有機アンチモン化合ろ、有機アンチモン化合物であることが判ったので、合成法を試み、十一年にネスボサンを世に出した、続いてスルフアミンの研究を行い、ポンロールの合成に成功したが当時の治療薬界はドイツ一辺倒であったため、この発売を見合せていた矢先、第一がテラゾールを先に発表する結果になった、そこで二番スルフアミンの研究に全力を傾け十三年の七月に他に先だけてユーロンを発売したんです、だからうちの会社がわが国のスルフアミンの開祖だと思う、くすり屋、色々スルフアミンのデリバートを作ったが、そのうちの一つにビリジンを付けたものもあった

しかし当時はものにならないと思っていたら、後で脳炎の特効薬として世に出たトリアノンだったんですね」と長谷川氏生涯の思い出話は中々はなはだ

趣味は園芸のほか書画、骨董を嗜ることだという、しかし無理には集めない、ゴルフ、ゲーム、ボウリングは、所謂役集家ではない、収集家になると無意識の中に、家族の持っているのが欲しくなり、ついには無理をいつて迷惑をかけることになり一辺倒であったため、この趣味は五年の発売を見合せていた矢先、第一がテラゾールを先に発表する結果になった、そこで二番スルフアミンの研究に全力を傾け十三年の七月に他に先だけて

倒産・今と昔

佐藤愛蔵氏（石城商店）

本町で相場といえば岩城の佐藤さんとすぐ言われるほどの実力者、今でも社員と共を並べて自ら陣頭指揮を行っているファイトの持主、大正九年に入社して商取引、蔗糖の注文とりなど、一通りの仕事を体験してきた

大正から昭和にかけての医薬品は輸入品に頼っていたため、輸入時期、国内の需給状態、外国価格の騰落などの原因で価格の変動が大きかった、それも個別品が大部分で新薬は一メーカーで一、二種に過ぎなかったという、だから相場に失敗しても個産するものがあっても、負債額の七〇～八〇%は返済力をもっていたし、ある製品の思惑で失敗しても次の品目で挽回するというような身の変化が可能であった、ところが戦後はメーカーの手先であり需要者の出先機関になったが、戦後の倒産はトコトンまで喰いつめるのが通例であったが、戦後の倒産は「この違いを指摘する、しかし当時主力製品であったロッブ一本で今日の新薬のような激烈な競争を展開していたそうだ

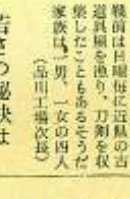
戦前と戦後の問屋の機能は大きく変った、一戦前の問屋はメーカーへの金融機関の役割をもつと同時に小売店の金融の面倒を見ていたのだから、金融業、倉庫業兼運送業であった、ところが戦後はメーカーの手先であり需要者の出先機関になったのだから、問屋業そのものの定義が違ってきた」と佐藤さんは見ている、また戦後の新薬がA、B、Cたがレス製剤でも、シ価があっても守られず、血ロッブ一本で今日の新薬のような激烈な競争を展開していたそうだ

のどの問題を問題しているのも、それだけ世の中が世智辛くなったせいだ、という

趣味は三十年の開業をもつカメラと釣り、家族は四男二女の子宝に恵まれ長女は東邦四年に在学中である（専務取締役）

即品川工場の歴史

小柳津庸至男氏（三共）



内国製薬が三共に合併されて入社した社員で、今日では唯一人の存在、この三十五年間の経歴は品川工場の歴史そのものだ、だから六十年史編纂委員の一人に選ばれている

入社して十五年間位は倉庫課勤務、この頃の倉庫課は製品の出納から作業促進、作業計画などすべてを包括していたという

大正から昭和にかけての医薬品は輸入品に頼っていたため、輸入時期、国内の需給状態、外国価格の騰落などの原因で価格の変動が大きかった、それも個別品が大部分で新薬は一メーカーで一、二種に過ぎなかったという、だから相場に失敗しても個産するものがあっても、負債額の七〇～八〇%は返済力をもっていたし、ある製品の思惑で失敗しても次の品目で挽回するというような身の変

十二年に倉田課から作業課が分離されたとき、主任となって生産計画の基礎作りを担当した、このときの手腕がかわれて十八年に計画部ができたとき初代の計画課長になった、二十年の空襲になった工場疎開では一百一輌にのぼる機械設備とともに新津（新潟）に移り、原料調達を努めたこともあった、二十五年に現職について今日に至っている

「三十五年のこの長い月日も仕事が自分の興味対象と一致していたので、熱意を傾注してやってこれただけ恵まれていた」と勤続の弁

若さの秘訣は

松本堅二氏（東京出張）

大正十一年四月入社以来、戦争中は工場長として転出した期間を除いて、殆んど営業部一筋に勤めてきた人である、最初の仕事が官衙部で大病院へのセールスであったという、入社した当時既に今の表通りに面した観瓦作りの建物はあったが源泉機関として人は人力車荷物は大八車、箱車などが使われていた頃、会社の製品としては初めての自家製品であるチミッシン、ザロメチール、カスターロールが

祝創刊35周年

《適応症》
赤痢・疫痢・肺炎
流感・淋疾・乳幼
児下痢症・百日咳
その他

価格 一瓶 [illegible]g 二〇〇円 六〇〇cc 三五〇円

新発売

ネオサイクリンシロップ明治

成分 テトラサイクリン塩

明治製薬

医家に謹告

Meiji

これは広範囲抗菌性抗生物質であるネオサイクリンの内服液です。明治製薬独特の調製によるチョコレートシロップですから 乳幼児や高熱の病人 錠剤がのみにくい患者にも容易に服用でき テストの結果も頗めて好評です

のみやすい チョコレート シロップ にしました

乾燥酵母（麦酒醸造酵母剤）

麦酒醸造酵母エビオスの薬用的価値は酵母の生活細胞の構成をそのまゝの状態で保有している事です。即ち各種ビタミン群、アミノ酸群、ミネラル群、酵素群の外最近特に注目されている核酸、未知のビタミン等、酵母菌が摂取した大麦発芽時のあらゆる生命の要素を豊富に含有しております。

適応症
胃腸疾患、食欲不振、便秘
栄養障害、消化不良、脚気
神経痛、虚弱児、妊産婦
有熱時の補助療法その他

エビオス 錠・末

理想的高級吸湿乾燥剤!!

硅酸ゲル（富士ゲルドライヤーン）

種類容量貴衆に応じます
説明書及見本御申越次第御送りします
◎医薬品（パス、ターゼ、含ペプ、タンナルビン、タンポン酸糖衣錠等）の包装に
◎食料品（菓子、茶、海苔等）の包装に
◎精密機械（カメラ、ミシン、デシケーター、電気器具、機械、薬品類等）の保存に

発売元　山仁薬品株式会社
大阪市東区唐物町一丁目二十二番地　電話大阪(26)1664番

百円でパンを買占め

木沢謙三氏（大木製薬）

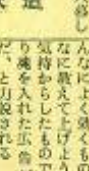
大正十年に学校を了えるとすぐ入社、与えられた最初の仕事が倉庫から営業所まで荷物を運ぶこと、それから問屋さんに荷物を届ける配達掛りを一年半、次が倉庫係に一年半、倉庫りを一年半などの下積修業時代を無事に勤め、外交さん—今日のブロパーとして市内り廻りを仰せつかつたのが三十一才になつたとき、これまでやつと木沢さんは一人前の番頭さんになつた気がしたとか、当時の外交員は今日と違つて格が高く、入り立ての小僧さんなどはまるで問屋さんの足下にも寄つてこれるなかつたという、それから地方引方扶のうち、支払遅延などを経て現職に就いたのが昨年のことで、木沢さんの入社した頃の配達機関は定期の往文取りには第車を使い、速達便には自転車を用いていたという、このための新鋭車も当時の大太さんでも逆に盗まれには小遣いを頂戴したほど貴重な小売の関係は密接であつた」という趣味は釣り、酒は二、三本の晩酌を嗜む程度、二男一女の五人家族（仕入部長）

威風堂々たるプロパー

細川忠之氏（大日本製薬）

「私は東京薬学専門学校を出て大正十三年東京支店に入社したのだが、卒業時期は丁度、その頃の薬業界は薬学が少なく一つの新薬が来、明和十五年から二十二年まで医務部で勤務したほかは、宣伝、広告部を歩いていたものだが、現在は薬品を売出せば経営が安定しているとの評判、それもその筋酒四とは特に接触関係が深かつたと云う趣味は囲碁、将棋、それもその筋酒四とは特に接触関係が深かつたと云う趣味は囲碁、将棋、それもその筋酒四とは特に接触関係が深かつたと云う趣味は囲碁、将棋、それもその筋酒四とは特に接触関係が深かつたと云う趣味は囲碁、将棋、それもその筋酒四

広告一筋の道



榎野政治郎氏（田辺製薬）

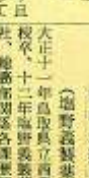
氏は大正十一年三月、当時の田辺五兵衛商店に入社以来、明和十五年から二十二年まで医務部で勤務したほかは、宣伝、広告部を歩いていたが、現在は薬品を売出せば経営が安定しているとの評判、それもその筋酒四とは特に接触関係が深かつたと云う趣味は囲碁、将棋、それもその筋酒四

誠意を基本に

原田鶴次郎氏（藤沢薬工）

大正十一年藤沢薬品に入社、倉庫から販売、倉庫の仕事まですべて一通りは経験したが、昭和二年から三年までの一年間は東京支店の方で販売課に勤務、以後は大阪で仕事に精出しているうち、昭和十三年に統制のため設立された関西薬品株式会社の藤沢代表として出向、十九年に解散後は藤沢の資材課長、資材部次長を経て二十三年再度上京、東京支店次長となり二十五年補佐、営業部次長の要職でいよ〜〜活躍中、というのが経歴の大要

三代に仕える



田中久美氏（塩野義製薬）

大正十一年鳥取県立西農学校卒、十二年塩野義製薬入社、総務部関係各課歴任、二十一年庶務課長、二十八年二月社長秘書、二十九年監査役、三十二年現在の地位に至る…が趣味はスポーツなら野球、剣道、玉突き、テニス等万能選手、小唄、常磐津、囲碁、写真も大正モノ、八年から始めたもので、今でも古いライカ持参で楽しんでいる、昔は田辺ニュースの表紙を自分で写していたそうだ、晩酌は五勺

祝創刊35周年

Scherinly

シエーリング

女性美を創る....

ドイツの女性ホルモン

プロギノン軟膏

プロギノン軟膏は1g中にエストラジオール0,1mgを含有する天然女性ホルモン製剤で、性週期を乱すことなく安心して局所に使用することが出来ます。特に乳房発育不全、思春期のにきび、更年期の皮膚疾患、末梢性血行障碍、外陰部瘙痒症には効果的です。

20瓦チューブ入 240円

輸入発売元 日独薬品株式会社

通常国会に提出用意あり

焦点…開局権と距離制限

薬事法改正 森本局長記者会見

森本薬務局長は十六日の記者会見で、薬事法改正及びその審議会では一日本の薬医薬品の直接供給等薬務行政の当面する問題につき大要次のとおり語った

薬事法改正案は次期通常国会に厚生省から提出する予定で、時期等には一言も触れなかった、また、薬務当局でもその方針で問題点の研究を行っているが、未だ最終的態度を決めるまでには至っていない、法改正の最大の問題点は⑤開局権の問題であるが、これは薬剤師に限ること開局から半年も経過しない今日制限を行って適正な薬剤師の配置を代表して、厚生大臣に陳情したのを度切り、同じく広島の後藤吟蔵氏が、翌十六日には宮崎県の鈴木時太郎氏が夫々次のような陳情を行った

▽**宮城県薬事からの陳情書**

一、現行薬事法を速かに改正すること

二、最近特に薬局の都市集中傾向に鑑み薬局登録申請者に対しては、人口密度と距離とを勘案の上行政指導措置を採ること

（理由）薬医業制度、社会保険医療制度の拡充によりわが国の医薬制度は根本的に改革されたが、この情勢の変革に伴い現行薬事法も当然改正されるものと期待していた、ところが薬務分業実施以来既に一年有余を経過したにも拘らず、未だ改正を見ていないのは国民の保健衛生の見地からも誠遺憾に堪えない、従って厚生当局は速かに日本薬剤師会の開局制限、開局権等根本問題で法制局が薬務局の案を認めなかったことにあつたのが事実のようだ、それ以来、薬務局は日薬からの強い要望を行って適正な薬剤師の配置を代表して、厚生大臣に陳情したのを度切り、同じく広島の後藤吟蔵氏が、翌十六日には宮崎県の鈴木時太郎氏が夫々次のような陳情を行った

▽**宮城県薬事からの陳情書**

一、現行薬事法を速かに改正すること

二、最近特に薬局の都市集中傾向に鑑み薬局登録申請者に対しては、人口密度と距離とを勘案の上行政指導措置を採ること

（理由）薬医業制度、社会保険医療制度の拡充によりわが国の医薬制度は根本的に改革されたが、この情勢の変革に伴い現行薬事法も当然改正されるものと期待していた、ところが薬務分業実施以来既に一年有余を経過したにも拘らず、未だ改正を見ていないのは国民の保健衛生の見地からも誠遺憾に堪えない、従って厚生当局は速かに日本薬剤師会の開局制限、開局権等根本問題で法制局が薬務局の案を認めなかったことにあつたのが事実のようだ、それ以来、薬務局は日薬からの強い要望を基に、来るべき通常国会に薬事法改正案を提出されたい、⑤近来薬局開設の都市集中化は日とともに激増の一途を辿つている、この結果は将来医薬分業完全実施上に重大な支障を来すおそれが多分にあると思われるので、法改正による解決を希望しているが、それまでの暫定措置として、薬局登録申請書に対しては人口密度と距離とを勘案の上、行政上の指導措置を地方庁に通達されたい

▽**愛知県薬事からの陳情書**

（要旨）三大政策の一である社会保障制度の確立の重要部門として、政府は三十五年度を目標に国民皆保険の実現に邁進しているしかしその前提条件として必然的に改正されるべき薬事法の問題がある、各医療部門の無秩序、乱状態を放任しておくことは人命を預る医薬高業者としてはかりでなく、国民福祉を阻る政府としても等閑しえない問題である、昨年来、薬務完全遂行の上から立ち上った薬剤師会の提唱に応え、必挙げての熱意に応え、必ず来るべき通常国会に薬事法改正案を提出されたい

愛知、宮城、広島から陳情書

法改正促進

ビラ問題棚上げ

医療協議会 21日から本論審議へ

十六日午前十時から厚生省保険局長室で開かれた中央社会保険医療協議会運営委員会では、ビラ問題で紛糾を続けてきた見五会長が、遂に辞を投げてしまったため、来る二十一日に総会を開催し、これまでの経緯過程を報告することをきめた

これでながびいたビラ問題は、医師会対保険者団体と医療協議会では棚上げとし、審議を本筋に戻す気運が濃厚となって来た

十六日開かれた運営協議会には、医師会側から丸茂委員の代りに蒲田委員が出席したが、加藤委員は、医師会対保険者団体の問題で、「医師会は、保険者の側言で、山口県の三、六%増が最低となっている

〔公益側〕が「問題は千葉県の一三・七%増が最高で、一般病院では人・四%増、一般診療所では

血液銀行 周知週間

来月四日から 大衆啓蒙運動実施

厚生省では十一月四日～十日を一週間の血液銀行の一般周知週間として、日本赤十字社、日本医師会、日本病院協会、日本医師会、日本赤十字社、日本病院協会、日本医師会、日本赤十字社、日本病院協会、日本医師会、日本赤十字社

学校薬剤師 必置制打出す

学校保健法制定で実現へ

第七回全国学校薬剤師大会 館山で盛大に開く

第七回全国学校薬剤師大会は十六日午後一時半から館山市の教育会館で開催された。出席者は約二百名に及んで会館を埋め、大橋千葉県薬会長の開会の辞に大会は進められ、直ちに日本学校薬剤師会の挨拶に入る、可児日本学校薬剤師会会長は「学校保健法制定の機が熟し、文部省は明春の次期通常国会に同法を提案する予定であり、これが予算措置を伴うものなので、これが難関に努力している、今のところでは、同法の制定に反対する空気はみえないが、関係は予算化の問題でふろう、学校保健法の制定により、学校薬剤師の地位も明確化されるので、全員一致、これが実現に努力したい」旨の挨拶を行った。学校保健法制定、これによる学校薬剤師の必置制、これを強く打ち出すことが本大会の眼目であった。

全国学校薬剤師大会会場

松本千葉県会議長、田村館山市長、沖全剤連会長、柴田千葉県知事代理等の来賓挨拶に続き、高野日薬会長は約一時間に亘り特別講演を行って、外遊の報告をかね、学校薬剤師の一層の活躍を望み、また薬事法の早期改正実現を期して進みたい、旨を強調した。

これを続いて、学校薬剤師大会の議長に入り、神、細見、芋林、後藤、早川の五名の座長により、二十数題に及ぶ協議事項を終始熱心に傾聴審議し、最後に、愛十七日の全国学校保健大会全体協議会に提出すべき議案を選択、次の二項目を提案することを決めた。

一、学校薬剤師（学校歯科医）の公務災害補償に関する件（愛知、青森提案）

今春、学校医に対する公務災害補償が議員立法により制定され、公務災害補償を受けることとなったが、医師には「直かなければならない」と明文を受けた、同氏の受諾に進められるよう、この線を強力に進めることとする。

また、学校薬剤師としても毒劇物の取扱い、麻薬薬一、学校保健法に学校薬剤師を必置制とするよう要望する（東京都、大阪府、滋賀県、鹿児島県、宮崎県、青森県提案）

学校保健法の制定に賛成であることは勿論であり、これの実現に努力するが、若し同法の中に学校薬剤師の必置が謳われていなければ無意味であるから、さきの制度化により「置くことができる」とされたのである。

にしたい

学校保健法の制定に賛成

服部盛次氏を表彰

第七回学校保健大会において、兵庫県立伊丹高等学校の学校薬剤師として永年尽力して来た服部盛次氏は、四十数名の学校保健関係者とともに受賞した。

（写真は服部盛次氏）

本町お祭り一色に

薬祖神祭賑う

〝保険の集い〟大盛況

三十三年度薬祖神祭は十六日の前日祭に続いて十七日、特別講演を行って、外遊の報告をかね、学校薬剤師の一層の活躍を望み、また薬事法の早期改正実現を期して進みたい、旨を強調した。

これを続いて、学校薬剤師大会の議長に入り、神、細見、芋林、後藤、早川の五名の座長により、二十数題に及ぶ協議事項を終始熱心に傾聴審議し、最後に、愛十七日の全国学校保健大会全体協議会に提出すべき議案を選択、次の二項目を提案することを決めた。

一、学校薬剤師（学校歯科医）の公務災害補償に関する件（愛知、青森提案）

今春、学校医に対する公務災害補償が議員立法により制定され、公務災害補償を受けることとなった。

薬剤師会館正面を埋める祝線灯（上）と、薬況の繁栄保証保険の〝保険の集い〟

大木氏ら20氏褒賞

都の薬事衛生功労者

東京都では十五日、薬事衛生功労者二十名の褒賞者を発表した、受賞者は個人が学校薬剤師の関係四名、家庭薬業組関係三名、薬剤二名、薬組一名、開局者九名、生薬関係一名で、十八日板橋公会堂で開かれた都民のつどいの日に表彰式が行われた。

▽薬品組関係　大木卓（大木製薬）

▽東薬工関係　上野十蔵（小外）、歌橋遵一（日緑）、内藤豊次（エーザイ）、杉山長雄（横報製薬）、太田信義（太田胃散）、白井正男（ポスエム）、内伊太郎（浅田飴）

▽家庭薬工業協組関係　太郎永文博、森下仁丹薬品課長、薬剤師会　藤川芳郎（藤川商店）、杉野芳次（東京辺）

▽優良生薬商業協会　茂雄（紀国屋）

▽開局者　泉可夫、都薬喜蔵、松本恒一、亭尾勇、島田常作、吉田亀次、酒井三男三、明衛治三郎、久保正憲

▽製薬関係　藤川芳郎（藤川商店）、杉野芳次（東京辺）

▽薬剤師会　茂雄（紀国屋）

▽開局者　泉可夫、都薬喜蔵、松本恒一、亭尾勇、島田常作、吉田亀次、酒井三男三、明衛治三郎、久保正憲

都二号試験合格発表

合格率71%

都薬務部は十七日、本年度指定医薬品を除く医薬品販売業者（二号業者）資格認定試験合格者を発表した。今回の受験者数は二九名で、このうち合格者は一五四名、合格率は七一%であった。

小城氏中共へ

株式会社小城忠治商店専務小城武次氏は同社貿易課消息通人士によって作られていた。登山会連盟にも加入して東京近郊その歩跡の至らざるところなかったほどさかんにテクつた会である、大滝文庫には、その会報、大正十五年三月の創刊号から昭和五年十二月の三十八号まで揃本されており、当時の若い人たちの健全な遊びと親睦がよく読み取れる、今の人たちには真似の出来ない根気と明るさ、これも結局、よき時代の産物であろうか。

テクリ会々報

この五冊の本は英KK社長大滝賢一氏の蔵書「大滝文庫」の中にあるテクリ会々報「歩跡」の保存本である、テクリ会というのは大正末、本町創業さん各店従業員四好の士によって作られていた。

抗生学会臨床部会

日本抗生物質学術協議会第一〇一回臨床部会は二十四日午後三時から慶大医学部生理解剖学教室講堂で開催される。

祝創刊35周年

かぜには ぜひ！ コルゲンコーワ

東京・日本橋本町 興和新薬株式会社

新発売 かぜの予防に… コルゲンコーワうがいぐすり

強力な殺菌・消毒作用を持つ新開発EGO-51を配合した本格的なうがいぐすりです　使用後はまわめてさわやかな清涼感が得られます

初期のかぜに… 青箱コルゲンコーワ

進んだかぜに… 赤箱コルゲンコーワS

ひび・しもやけ・あかぎれ・角皮症に

ヒスタメント'B'

宝製薬株式会社

今年も
風邪には ムルチン・S
をおすゝめ下さい

ムルチンSは、アスピリン・フエナセチン・カフェイン・エフエドリンの他に、メジコン ピレチア・プロフィリンの3つの新薬を配合した、新処方の綜合感冒錠です。

●メジコンは…コデインよりも強力で副作用のない鎮咳剤

●ピレチアは…効きめの強い新型の抗ヒスタミン剤です

●プロフィリンは…全身の血行をよくし、病気の回復を早める強心剤です

15錠 150円・30錠 250円

塩野義製薬株式会社 シオノギ

BANYU

感冒の悪性化に備え

新発賣

バイシリンS錠

〔バイシリンと高級サルファ剤3種の合剤〕

感冒は年々悪性化の傾向が強く、二次感染症の併発が極めて多いので、臨床家もその「治療と予防」に広く経口バイシリンの先行を推奨しています。

製造発売元

〔包装〕5錠入 ¥250

東京都中央区日本橋本町2—7 萬有製薬株式会社 大阪、岡崎、札幌、福岡

ウロコ印
武田薬品

新処方の

—綜合新感冒錠—

ベンザ

★各成分の働きと1錠中の含量

アレルギー症状の改善 —— 塩酸トリプロレナミン (5mg)

鼻炎・咽喉炎等の抑制 —— メチルヘスペリジン (5mg)

祛痰 —— カリウムサイトラート (7mg)

解熱・鎮痛 —— アセトサリチル酸 (300mg)
スルピリン (40mg)
ナトリウムシュウ酸 (25mg)

鎮咳 —— 塩酸ヒドロコドン (1.2mg)
塩酸メチルエフェドリン (12mg)

感冒感染防止 抵抗力強化 —— ビタミンB1セチル硫酸塩 (1mg)
ビタミンB2 (0.5mg)
ビタミンC-トリウム塩 (15mg)

25錠（150円）　55錠（300円）

新しいベンザは「かぜ」のいろいろな症状に対する綜合効果を一段と強化するため、新処方を採用し、また糖衣も白色からオレンジ色に変更しました。

★新しくなった点

① メチルヘスペリジンの追加
漏出性の症状（鼻炎・咽頭炎などで粘膜より漏出液の認められるもの）の原因となる毛細血管の透過性を抑制します。

② ビタミンC・ビタミンB2の追加
新陳代謝を促し、抵抗力を強めます。

③ 塩酸メチルエフェドリンに変更
従来の塩酸エフェドリンに見られがちな心悸亢進などの副作用がありません。

④ エトキシベンツアミドに変更
従来のサリチル酸系薬剤より毒性が低く、強力なそして速効性の鎮痛効果を現わします。

大阪市道修町　武田薬品工業株式会社　（支店…東京・札幌・福岡）

痔

新発売

新局所麻酔薬キシロカインの効果で、激しい痛みをすみやかに止め、更に特殊な成分が配合されていますから、効力が長時間持続し、又すぐれた止血効果を現わします。

（包装・価格）坐　剤　5個…200円・50個…1,600円

すみやかな　鎮痛・止血効果

ヘルミチン

HELMITIN

フジサワ

大阪市東区道修町（東京・福岡・札幌・名古屋）　藤沢薬品工業株式会社